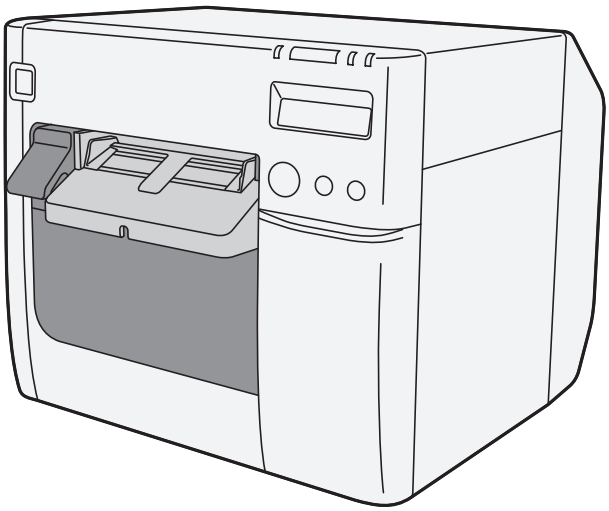
EPSON
EXCEED YOUR VISION

TM-C3500

詳細取扱説明書



製品概要

製品の特徴および仕様について説明します。

セット アップ

製品および周辺機器の設置・設定作業について説明します。

製品の取り扱い

製品の基本的な取り扱い方法について説明します。

アプリケーショ ン開発情報

本プリンタの制御方法と、アプリケーションを開発する際に必要な情報について説明します。

M00066701
Rev.B

ご注意

- **本書の内容の一部または全部を無断で転載、複写、複製、改ざんすることは固く お断りします。**
- **本書の内容については、予告なしに変更することがあります。最新の情報はお問い合わせく ださい。**
- **本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡く ださい。**
- **運用した結果の影響については、上項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承く ださい。**
- **本製品がお客様により不適切に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたことなどに起因して生じた損害などにつきましては、責任を負いかねますのでご了承く ださい。**
- **エプソン純正品およびエプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承く ださい。**

商標について

EPSON®、ESC/POS® はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。

MS-DOS®、Microsoft®、Win32®、Windows®、Windows Vista®、Windows Server® は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

著作権について

本製品には、カリフォルニア大学バークレイ校とその貢献者によって開発されたソフトウェアが含まれています。

© セイコーエプソン株式会社 2013

安全のために

記号の意味

本書では以下の記号が使われています。それぞれの記号の意味をよく理解してから製品を取り扱ってください。

⚠ **警告**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ **注意**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、次のような被害が想定される内容を示しています。 • 人が傷害を負う可能性 • 物的損害を起こす可能性 • データなどの情報損失を起こす可能性
注意	ご使用上、必ずお守りいただきたいことを記載しています。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や動作不良の原因になる可能性があります。
参考	補足説明や知っておいていただきたいことを記載しています。

警告事項

⚠ 警告

- **煙が出たり、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用しないでください。**
  感電・火災のおそれがあります。異常が発生したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンの修理窓口にご相談ください。
- **異物や水などの液体が内部に入ったときは、そのまま使用しないでください。**
  感電・火災のおそれがあります。すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンの修理窓口にご相談ください。
- **マニュアルで指示されている箇所以外の分解は行わないでください。**
- **お客様による修理は、危険ですから絶対にしないでください。**
- **可燃ガスおよび爆発性ガス等が大気中に存在するおそれのある場所では使用しないでください。また、本製品の内部や周囲で可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。**
  引火による火災のおそれがあります。
- **各種ケーブルは、マニュアルで指示されている以外の配線をしないでください。**
  発火による火災のおそれがあります。また、接続した他の機器にも損傷を与えるおそれがあります。
- **製品内部の、マニュアルで指示されている箇所以外には触れないでください。**
  感電や火傷のおそれがあります。
- **開口部から内部に、金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしないでください。**
  感電・火災のおそれがあります。
- **必ず指定されている電源 AC Adapter, K（型番:M248A）をお使いください。**
  他の電源を使うと、火災のおそれがあります。
- **電源ケーブルは安全規格取得品で電源システム接地(PE)端子の付いたものを使用し、接地を確実に実施してください。**
  感電のおそれがあります。
- **電源プラグは、ホコリなどの異物が付着した状態で使用しないでください。**
  感電・火災のおそれがあります。
- **電源プラグは刃の根元まで確実に差し込んで使用してください。**
  感電・火災のおそれがあります。
- **破損した電源コードを使用しないでください。**
  感電・火災のおそれがあります。
- **電源コードが破損したときは、エプソンの修理窓口にご相談ください。**
  また、電源コードを破損させないために、以下の点を守ってください。
  * 電源コードを加工しない
  * 電源コードに重いものを載せない
  * 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
  * 熱器具の近くに配線しない
- **濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。**
  感電のおそれがあります。
- **電源プラグは定期的にコンセントから抜いて、刃の根元、および刃と刃の間を清掃してください。**
  電源プラグを長期間コンセントに差したままにしておくと、電源プラグの刃の根元にホコリが付着し、ショートして火災になるおそれがあります。
- **AC アダプターを取り扱う際は、以下の点を守ってください。感電・火災のおそれがあります。**
  * 雨や水のかかる場所で使用しない
  * 電源コードで吊り下げない
  * コネクターにクリップなどの金属性のものを接触させない
  * 布団などで覆わない

注意事項

⚠ 注意

- **各種ケーブルやオプションを取り付ける際は、取り付ける向きや手順を間違えないでください。**
  火災やけがのおそれがあります。
- **マニュアルの指示に従って、正しく取り付けてください。**
- **本製品を移動する際は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、全ての配線を外したことを確認してから行ってください。**
  コードが傷つくなどにより、感電・火災のおそれがあります。
- **本製品を保管・輸送するときは、傾けたり、立てたり、逆さまにしないでください。**
  インクカートリッジが漏れるおそれがあります。
- **カバーを開閉するときは、手や指を挟まないように注意してください。**
  けがをするおそれがあります。
- **不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いた所など）に置かないでください。**
  落ちたり、倒れたりして、けがをするおそれがあります。
- **湿気やほこりの多い場所に置かないでください。**
  故障や火災のおそれがあります。
- **本製品の上に乗ったり、重いものを置かないでください。**
  倒れたり、こわれたりしてけがをするおそれがあります。
- **本製品を保存、または輸送するときは、本製品からインクカートリッジを取り外さないでください。**
- **長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。**
- **インクカートリッジを取り扱う際は、以下の点を守ってください。**
  * インクカートリッジのICチップには触らないでください。正常に動作・印刷できなくなるおそれがあります。
  * 充てん中（電源ランプの点滅中）は、電源をオフにしたり、インクカートリッジカバーを開けたりしないでください。カバーを開けると、閉じたときにインクが再度充てんされ、さらにインクが消費されます。また、正常に印刷できなくなるおそれがあります。
  * インクカートリッジを分解しないでください。分解するとインクが目に入ったり皮膚に付着するおそれがあります。
  * インクカートリッジを分解または改造しないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。
  * インクカートリッジは、子どもの手の届かない場所に保管してください。
- **インクが皮膚に付いてしまったり、目や口に入ってしまったときは以下の処置をしてください。**
  * 皮膚に付着したときは、すぐに水や石けんで洗い流してください。
  * 目に入ったときはすぐに水で洗い流してください。そのまま放置すると目の充血や軽い炎症をおこすおそれがあります。異常がある場合は、速やかに医師にご相談ください。
  * 口に入ったときは、すぐに吐き出し、速やかに医師に相談してください。
- **メンテナンスボックスを取り扱う際は、以下の点を守ってください。**
  * メンテナンスボックスは分解しないでください。
  * ICチップには触らないでください。
  * 子どもの手の届かないところに保管してください。また付着した液体は飲まないでください。
  * 使用可能なメンテナンスボックスを取り外して長期放置を行った場合、再使用はしないでください。

使用制限

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を起こすことがあります。本マニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。

本書について

本書の目的

本書は、システムの開発、設計、設置、またはプリンターアプリケーションの開発、設計に必要なすべての情報を開発技術者に提供することを、その目的としています。

本書の構成

本書は次のように構成されています。

第 1 章　製品概要

第 2 章　セット アップ

第 3 章　製品の取り扱い

第 4 章　アプリ ケーショ ン開発情報

もくじ

■ 安全のために 3
記号の意味 3
警告事項 4
注意事項 5
■ 使用制限 6
■ 電波障害自主規制について 6
■ 本書について 6
本書の目的 6
本書の構成 6
■ もくじ 7

製品概要 9

■ 特徴 9
■ 各部の名称と働き 11
電源スイッチ 13
紙送りボタン 13
カット ボタン 13
クリーニングボタン 14
ステータスシート ボタン 14
LCD コント ラスト 調整ボタン 14
コネクター 15
■ ステータスと エラー 16
インジケーター 16
インクカート リッジ、メンテ ナンスボックスの状態 18
ブザー 19
■ 自動ノ ズルチェックシステ ム 20
■ ソフト ウェ ア 22
■ 製品仕様 23
動作環境 24
印刷仕様 24
用紙仕様 25
印刷位置とカット 位置 35
排紙ト レ イ 55
インクカート リッジ 56
電気的仕様 56
環境仕様 57
外形寸法 58
■ 制限事項 59

セット アップ 61

■ 作業フロー 61
■ 同梱品の確認 62
■ プリンターの設置 63
設置上の注意 63
■ 電源スイッチカバーの取り付け 64
■ プリンターのセット アップ 65
用紙レ イアウト 作成 67
■ 用紙の排出経路 70
■ プリンタードライバーの表示方法 71
■ 用紙レ イアウト の登録 72
■ 排紙ト レ イのセット 73
■ ディップスイッチの設定 75
設定手順 75
ディップスイッチの機能 76
■ プリンタードライバーの設定 77
バンディング低減 77
TM-C3500 PrinterSetting 79
EPSON プリンタウィンドウ!3 の設定 80

製品の取り扱い 85

■ インクカート リッジの交換 85
■ メンテ ナンスボックスの交換 88
■ ロール紙からフ ァンフォー ルド紙に交換 90
■ フ ァンフォー ルド紙からロー ル紙に交換 98
■ プリンタードライバーの設定 104
お気に入り 104
ユーザー定義情報 106
プリンタードライバー設定の書き出し / 取り込み 106
バーコード印刷 108
2 次元シンボ ル印刷 118
.NET 環境でバーコード /2 次元シンボ ル印刷 124
印刷プレ ビュー 126
通知設定 127
パネ ルボタンの設定 128
センサーの調整 129

■ プリンターの設定 130
用紙位置検出設定.....130
印刷動作モードの設定.....130
印刷後用紙動作設定.....132
用紙頭出し動作設定.....133
ブザー.....136
■ ネットワークインターフェイス.....138
工場出荷時設定.....138
工場出荷時設定への初期化.....138
■トラブルシューティング.....139
エラー時の対処方法.....139
ドライバーのヘルプ.....141
■ 印刷テスト 142
セルフテスト 142
ステータスシートの印刷.....144
■ プリンターのリセット 145
■ プリンターのクリーニング.....146
プラテンのクリーニング.....146
オートカッターのクリーニング.....148
■ 用紙加工 149
給紙時に 1 枚目から印刷するための用紙加工..149
最後の用紙に印刷するための用紙加工 151

アプリケーション開発情報 153

■ 概要 153
■ プリンタードライバー 154
■ サンプルプログラム.....155
■ EpsonNet SDK.....157
EpsonNet SDK の環境設定.....157
■ ユーティリティーとマニュアル.....158
ダウンロード.....160
■ お問い合わせ確認 161

製品概要

本章では、製品の特徴および仕様について説明しています。

特徴

TM-C3500 は、オンデマンドラベル印刷に求められる処理速度、操作性、信頼性を備える 4 色カラーインクジェットラベルプリンターです。

印刷

- 高速印刷
  - ＊ 103 mm/s (印刷幅 56 mm、360 dpi × 360 dpi、双方向印刷)
  - ＊ 52 mm/s (印刷幅 56 mm、720 dpi × 360 dpi、双方向印刷)

> **参考**　印刷速度は、解像度、印刷幅によって変わります。

- カラー印刷
  - ＊ KCMY 4 色インクカラー印刷
  - ＊ 解像度：普通紙、普通紙ラベル 360 dpi × 360 dpi
    ：その他 360 dpi × 360 dpi、720 dpi × 360 dpi
    (dpi：25.4 mm あたりのドット数 (dots per inch))
- 多種多様な用紙に対応
  - ＊ ロール紙、ファンフォールド紙
  - ＊ 連続紙、ブラックマーク連続紙、全面ラベル、透明台紙全面ラベル、ダイカットラベル、透明台紙ダイカットラベルに対応（ラベルギャップ、ブラックマーク位置検出に対応）
  - ＊ 普通紙、マット紙、普通紙ラベル、マット紙ラベル、合成紙ラベル、光沢紙ラベルに対応
  - ＊ リストバンド (オプションのリストバンド専用アタッチメントが必要です。)
- ダイカットラベルの台紙などの印字領域外に、インクが付着しにくいシステム
- ドット抜けによる誤読、誤色の印刷物が発生しにくいシステム

操作性

- プリンター前面部の操作だけでロール紙交換、インクカートリッジ交換が可能
- 排紙トレイに印刷物を複数枚保持できます。ロール紙の場合、複数枚保持できません。

信頼性

- 耐光性、耐水性に優れた顔料インクを使用
- 自動ノズルチェックシステムを搭載し、ドット抜け印刷の発生しにくい高信頼性システム

ソフトウェア

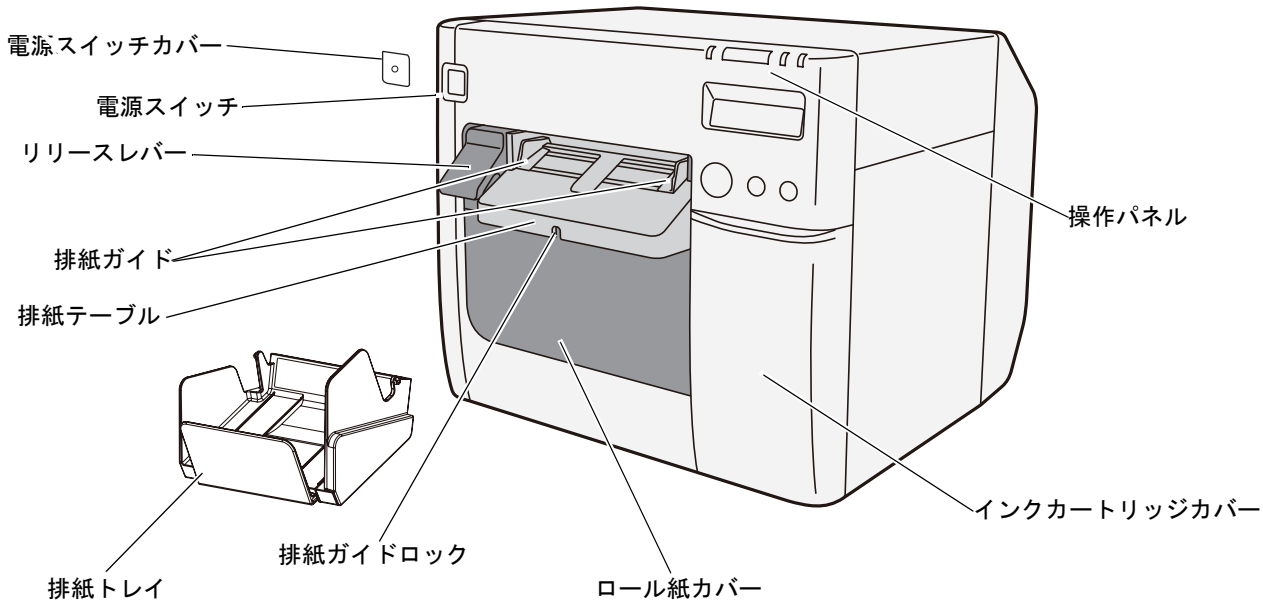
- Windows® ドライバーでの印刷
- プリンタードライバーにバーコードフォントを内蔵、.NET 環境のアプリケーションからも使用可能
- EpsonNet SDK for Windows (以降 EpsonNet SDK) により、ネットワーク環境でのプリンター状態を取得可能 (EpsonNet SDK は API であり、プリンターの状態を取得するアプリケーションを作成できます)
- 専用サンプルプログラム (言語：VB.NET、C++、C#)
- EPDI (EPSON Printer Driver Interface) for TM-C3500 により、アプリケーションからプリンタードライバーを設定することもできます。

その他

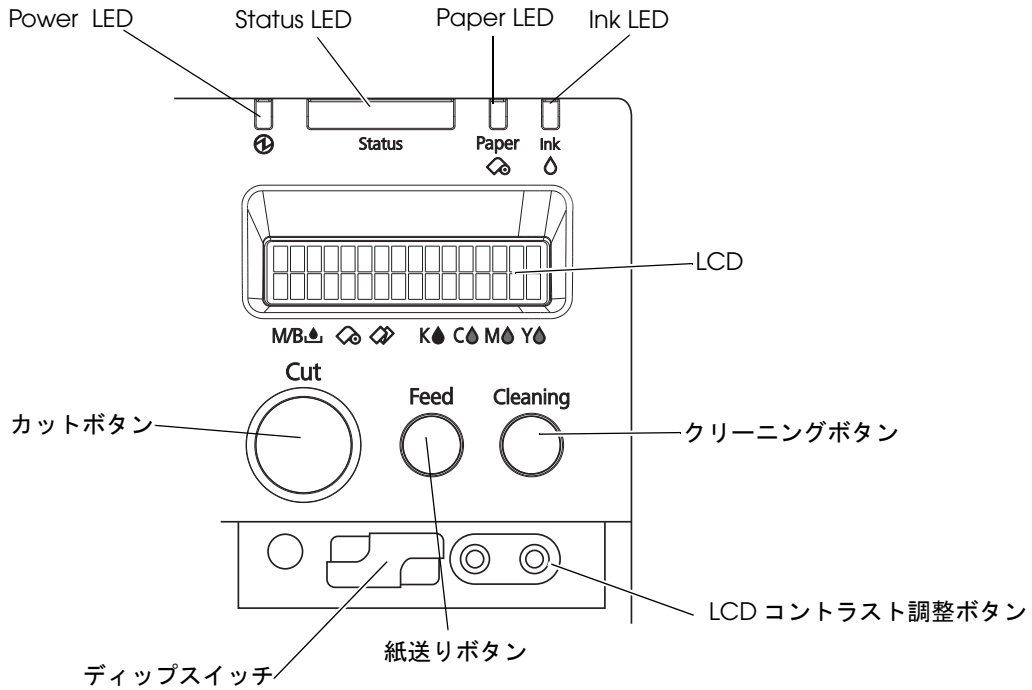
- オートカッタを標準装備
- ブザーを標準装備

各部の名称と働き

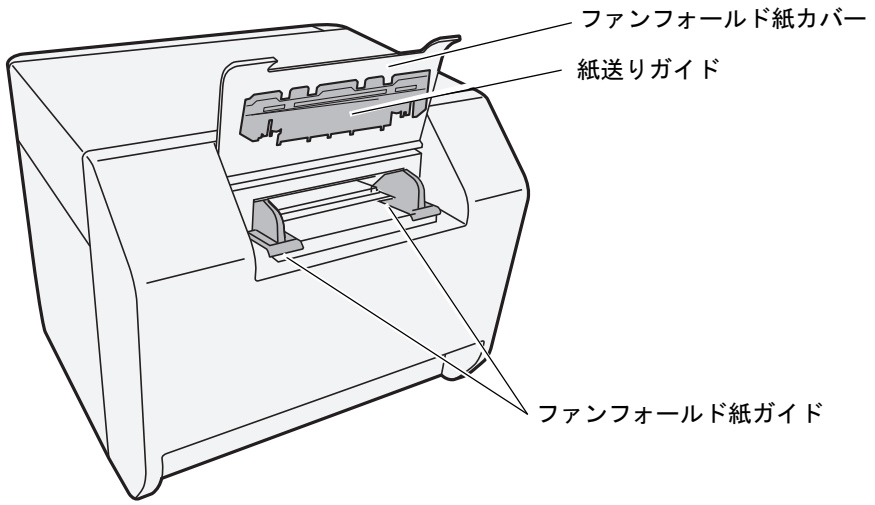
製品前面



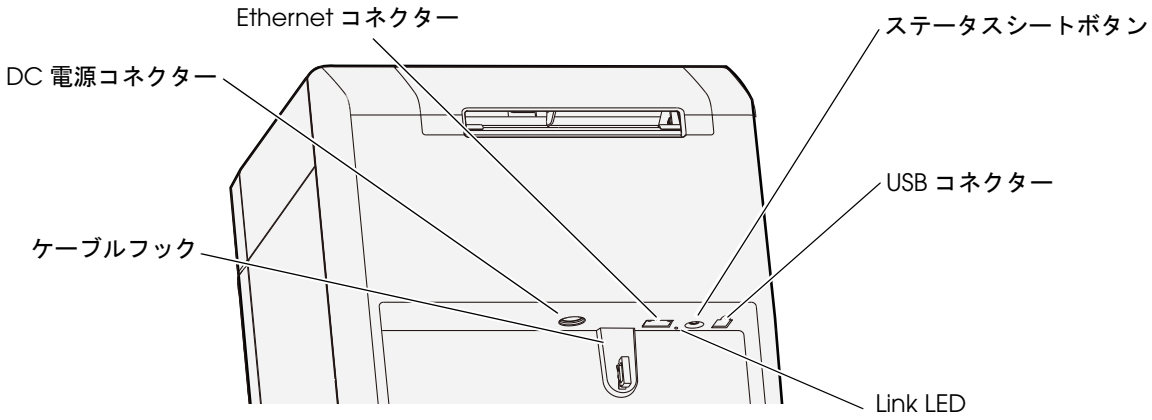
操作パネル



製品背面



コネクター部 (背面下部)



電源スイッチ

注意　**プリンターの電源は、AC アダプターの電源が接続されていることを確認してから ON にしてください。**

- ディップスイッチ 1 がオフの場合
  - 電源オフ状態で電源スイッチを押すと、電源を ON します。
  - 電源オン状態で電源スイッチを 0.5 秒以上押すと、電源を OFF します。
- ディップスイッチ 1 がオンの場合
  - 電源スイッチを 0.5 秒以上押すと、プリンターをリセットします。

参考　ディップスイッチの設定については、75 ページ「ディップスイッチの設定」を参照してください。

紙送りボタン

- 用紙位置検出設定が〝全面ラベル / 連続紙 / 透明台紙全面ラベル〟の場合、連続して用紙を送ります。
  - ボタンを 1 度押すと、用紙が 15 mm 送られます。
  - ボタンを押し続けると、ボタンを離すまで用紙が送られます。（最大約 6 秒）
- 用紙位置検出設定が〝ダイカットラベル(BM基準)〟、〝ブラックマーク連続紙〟、または〝ダイカットラベル(ギャップ基準)/ 透明台紙ダイカットラベル〟の場合、次ページ先頭のオートカット位置まで用紙を送ってカットします。

参考　吸引ファンが停止した省電力状態にある場合、吸引ファンが起動し回転が安定するまでに時間がかかるため、紙送りボタンが押されてから紙送りが実行されるまで約 2 秒かかります。

カットボタン

- 用紙位置検出設定が〝全面ラベル / 連続紙 / 透明台紙ラベル〟の場合、次ページ先頭のオートカット位置まで用紙を送ってカットします。
- 用紙位置検出設定が〝ダイカットラベル(BM基準)〟、〝ブラックマーク連続紙〟、または〝ダイカットラベル(ギャップ基準)/ 透明台紙全面ラベル〟の場合、ブラックマーク、もしくはラベル間ギャップによるオートカット位置まで用紙を送ってカットします。

参考
- 紙片発生による不具合を防ぐため、一度カットが実行された位置で再度カットボタンを押しても、用紙カットはされません。
- 吸引ファンが停止した省電力状態にある場合、吸引ファンが軌道しか移転が安定するまでに時間がかかるため、紙送りボタンが押されてから紙送りが実行されるまで約 2 秒かかります。

クリーニングボタン

クリーニングボタンを３秒以上押すと、ヘッドクリーニングを実行します。
ヘッドクリーニング動作設定は、ドライバーで行います。設定の詳細は以下のとおりです。

No.	待機時	印字時
1	無効	無効
2	ヘッドクリーニング実行	無効
3	ヘッドクリーニング実行	印字中断→ヘッドクリーニング実行→印字再開

ステータスシートボタン

ステータスシートボタンを押すと、ステータスシートを印刷します。
ステータスシートボタンを押したまま電源をオンし、そのまま 10 秒以上押し続ける事で、Ethernet インターフェイスの設定を工場出荷時の状態に戻します。

LCD コントラスト調整ボタン

LCD のコントラスト調整をします。

参考

- LCD コント ラスト 調整ボタンは、インクカート リッジカバー内にあります。
- LCD コント ラスト の調整値は不揮発性メ モリーに保存され、電源再投入後も保存された前回の調整値が反映されます。

コネクター

ケーブルはすべて、プリンター背面下部に接続します。

- 電源コネクター：　AC アダプターのケーブルを接続します。
- USB/Ethernet コネクター：　各インタフェースにより、ホストコンピューターとプリンターを接続します。
- Link LED：　プリンターのネットワーク状態を表示します。

プリンター状態	Link LED
電源オフ	消灯
ネット ワーク不通	消灯
ネット ワーク確立	点灯
データ受信時	点滅

ステータスとエラー

インジケーター

参考

- LCD の言語はディップスイッチで切り替えることができます。75 ページ「ディップスイッチの設定」を参照してください。
- エラーの対処方法は 139 ページ「トラブルシューティング」または、ドライバーのヘルプを参照してください。（ドライバーのヘルプの表示方法は 141 ページ「ドライバーのヘルプ」を参照）

LED の点灯 / 点滅と LCD 表示の組み合わせによって、プリンターの状態が表示されます。
エラー発生時には、LED と LCD 表示からエラー原因と対処方法を知ることができます。

■ / ■：点灯　■ / ■：点滅　□：消灯　—：変化なし　##：エラーコード

LED				LCD 表示	プリンター状態
Status	Power	Paper	Ink		
■	■	—	—	ｲﾝｻﾂｶﾉｳ	印刷可能状態
■	■	—	—	ｷﾄﾞｳﾁｭｳ	起動中
■	■（高速）	—	—	ﾊﾟﾜｰｵﾌﾁｭｳ	電源オフ中
■	■	—	—	ｲﾝｻﾂﾁｭｳ	印刷中
■	■	—	—	ｲﾝｸｼﾞｭｳﾃﾝﾁｭｳ	インク充填中
■	■	—	—	ﾄﾞｳｻﾁｭｳ	動作中
■	■	—	—	ﾍｯﾄﾞﾒﾝﾃﾅﾝｽﾁｭｳ	プリントヘッドメンテナンス中
■	—	■	—	ﾖｳｼｹｲﾀｲｴﾗｰ	用紙形態エラー (*)
■	—	■	—	ﾖｳｼｻｲｽﾞｴﾗｰ	用紙サイズエラー (*)
■	—	■	—	ﾖｳｼﾂﾏﾘｴﾗｰ ##	用紙詰まりエラー (*)
■	—	■	—	ﾖｳｼｼﾞｮｷｮｴﾗｰ	用紙除去エラー (*)
—	—	■	—	ﾖｳｼﾅｼ	用紙無し (*)
■	—	■	—	ﾖｳｼﾅｼｴﾗｰ	用紙無しエラー (*)
■	—	■	—	ﾛｰﾙｼｶﾊﾞｰｵｰﾌﾟﾝ	ロール紙カバーオープン (*)
■	—	—	■	ｲﾝｸｶﾊﾞｰｵｰﾌﾟﾝ	インクカートリッジカバーオープン (*)
■	—	—	■	ｲﾝｸｶｰﾄﾘｯｼﾞﾅｼ	インクカートリッジ無し (*)
■	—	—	■	ｲﾝｸｶｰﾄﾘｯｼﾞｴﾗｰ	インクカートリッジ読み取りエラー (*)
■	—	—	■	ﾒﾝﾃﾅﾝｽｶﾊﾞｰｵｰﾌﾟﾝ	メンテナンスボックスカバーオープン (*)

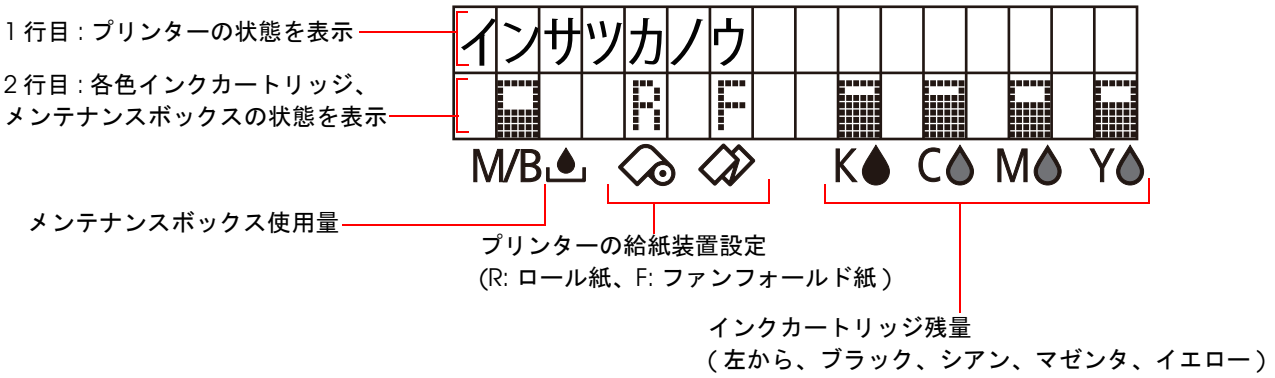
■ / ■：点灯　■ / ■：点滅　□：消灯　—：変化なし　##：エラーコード

LED				LCD 表示	プリンター状態
Status	Power	Paper	Ink		
■	—	—	■	ﾒﾝﾃﾅﾝｽﾎﾞｯｸｽﾅｼ	メンテナンスボックス無し (*)
■	—	—	■	ﾒﾝﾃﾅﾝｽﾎﾞｯｸｽｴﾗｰ	メンテナンスボックス読み取りエラー (*)
—	—	—	■	ｲﾝｸｺｳｶﾝﾏﾁﾞｶ	インクカートリッジ交換間近
■	—	—	■	ｲﾝｸｶｰﾄﾘｯｼﾞｺｳｶﾝ	インクカートリッジ交換要 (*)
—	—	—	■	ﾒﾝﾃﾅﾝｽ Bｺｳｶﾝﾏﾁﾞｶ	メンテナンスボックス交換間近
■	—	—	■	ﾒﾝﾃﾅﾝｽﾎﾞｯｸｽｺｳｶﾝ	メンテナンスボックス交換要 (*)
—	—	—	—	ﾉｽﾞﾙﾂﾏﾘｱﾘ	プリント ヘッドノズル詰まりあり (*)
—	—	—	—	ｶｯﾄﾄﾞｳｻﾌｶｼﾞｮｳﾀｲ	用紙カット 不可状態 (*)
—	—	—	—	ｻｰﾋﾞｽｺｰﾙﾏﾁﾞｶ ##	サービス時期間近 (*)
■	■	■	■	ﾌﾟﾘﾝﾀｰｴﾗｰ ##	プリンターエラー (*)
■	■	■	■	ｻｰﾋﾞｽｺｰﾙ ##	サービス要求 (*)
■ / ■	■	■ / ■	□ / ■	ｱｯﾌﾟﾃﾞｰﾄﾁｭｳ	ファームウェアアップデート 中 (*)
■ / ■	■	■	■	ｱｯﾌﾟﾃﾞｰﾄﾁｭｳ	ファームウェアアップデート 完了 (*)
■ / ■	■	■	■	ｱｯﾌﾟﾃﾞｰﾄﾁｭｳ	ファームウェアアップデート 失敗 (*)

＊対処方法が 139 ページ「トラブルシューティング」に記載されています。

インクカートリッジ、メンテナンスボックスの状態

プリンター、各色インクカートリッジ、メンテナンスボックスの状態は LCD で確認できます。



インクカートリッジ、メンテナンスボックスのステータス確認

各色インクカートリッジ、メンテナンスボックスの状態をアイコンで表示します。

アイコン表示	状態
	• インクカートリッジ残量 • メンテナンスボックス残り使用量
	• インクカートリッジ交換間近 • メンテナンスボックス交換間近
	• インクカートリッジ交換要 • メンテナンスボックス交換要
	• インクカートリッジ無し • インクカートリッジ読み取りエラー • メンテナンスボックス無し • メンテナンスボックス読み取りエラー

ブザー

エラー発生時にブザーが鳴動します。すべてのエラー要因が解除されるまで、ブザー鳴動は継続します。
「印刷終了ブザー設定」が有効の場合、「非エラー時のブザー鳴動」をします。

- 周波数：　約 2.5kHz 固定
- 音量制御：ハードウェアによる 2 段階調節

鳴動時間	消音時間	繰り返し	パターン時間	パターン回数	名称
500ms	300ms	3	5 秒	エラー要因が解除されるまで	エラー時のブザー鳴動 • サービス要求 • プリンターエラー • ロール紙カバーオープン • インクカートリッジカバーオープン • インクカートリッジ交換要 • インクカートリッジなし • インクカートリッジ読み取りエラー • メンテナンスボックスカバーオープン • メンテナンスボックス交換要 • メンテナンスボックスなし • メンテナンスボックス読み取りエラー • 用紙形態エラー • 用紙サイズエラー • 用紙詰まりエラー • 用紙除去エラー • 用紙なしエラー
300ms	-	なし	-	1	非エラー時のブザー鳴動 • ページごと • 最終ページのみ

参考

- 音量の設定はディップスイッチで行います。75 ページ「ディップスイッチの設定」を参照してください。
- 印字データのない「用紙なし」状態はブザー鳴動を行いません。

自動ノズルチェックシステム

本プリンターはドット抜けを検出する自動ノズルチェックシステムを搭載しています。4 つのモードがありますので、必要とされる印刷品質と動作の中から選択してください。

各ノズルチェックモード（印刷動作モード）の自動ノズルチェックのタイミングは、以下のとおりです。

自動ノズルチェックタイミング	ドット抜け防止モード	誤読防止モード（デフォルト）	誤色防止モード	ドット抜け検出なしモード
電源投入時	あり	あり	あり	無し
休止時	あり	あり	あり	無し
ページ印刷終了後	無し	無し	無し	無し
連続印刷時の定期チェック	あり	あり	あり	無し
ヘッドクリーニング後	あり	あり	あり	無し
ロール紙カバークローズ時	あり	あり	あり	無し
インクカートリッジカバークローズ時	あり	あり	あり	無し
メンテナンスボックスカバークローズ時	あり	あり	あり	無し
衝撃検出後	あり	あり	あり	無し

各ノズルチェックモードの許容ドット抜けと自動クリーニング条件は、以下のとおりです。

条件	ドット抜け防止モード	誤読防止モード（デフォルト）	誤色防止モード	ドット抜け検出なしモード
許容ドット抜け	無きこと	1 ドット抜け以下	連続 2 ドット抜け無きこと かつ 9 ドット抜け未満	-
自動クリーニング条件	1 ドット抜け以上	2 ドット抜け以上	連続 3 ドット抜け以上 または 10 ドット抜け以上	-

- **ドット抜け防止モード**
  各タイミングで自動ノズルチェックを行います。必要な際には自動ヘッドクリーニングをし、ドット抜けを防止します。

参考	• 連続印刷時には定期的にノズルチェックを行うため、印刷が約8秒間中断する場合があります。 • 1ドット 以上の抜けが検出された場合、ドット 抜けを解消するために自動ヘッドクリーニングを行います。

- **誤読防止モード**
  各タイミングで自動ノズルチェックを行います。必要な際には自動ヘッドクリーニングをし、ドット抜けによる誤読を防止します。

参考	• 連続印刷時には定期的にノズルチェックを行うため、印刷が約8秒間中断する場合があります。 • 2ドット 以上の抜けが検出された場合、ドット 抜けを解消するために自動ヘッドクリーニングを行います。

- **誤色防止モード**
  各タイミングで自動ノズルチェックを行います。必要な際には自動ヘッドクリーニングをし、ドット抜けによる誤色を防止します。

参考	• 連続印刷時には定期的にノズルチェックを行うため、印刷が約8秒間中断する場合があります。 • 連続3ドット 以上、または10ドット 以上の抜けが検出された場合、ドット 抜けを解消するために自動ヘッドクリーニングを行います。

- **ドット抜け検出なしモード**
  自動ノズルチェック、および自動ヘッドクリーニングを行いません。

注意	• 本機能は、100%ドット 抜け防止を保障するものではありません。 • 極めて高い信頼性･安全性が要求される場合、ドット 抜け、インク滴の曲がりによる誤読を防止するため、「ドット 抜け防止モード」、「誤読防止モード」において縦 3 ドット 構成以上のフォント を使用してください。 • ドット 抜け検出後の自動クリーニングで復帰不可能なノズル詰まりが発生した場合、以下の動作を行います。 ＊ 自動クリーニングを繰り返してもドット 抜けを自動クリーニング条件未満にできない場合、「プリント ヘッドノズル詰まり有り」ワーニング状態になります。 ＊「プリント ヘッドノズル詰まり有り」ワーニング状態での自動クリーニング条件は、新規にドット 抜けが発生した場合のみです。 •「プリント ヘッドノズル詰まり有り」ワーニング状態の時のプリンター動作 ＊ 許容ドット 抜け以下の場合、継続して印刷できます。LCD には「ﾉｽﾞﾙﾂﾏﾘｱﾘ」と表示されます。 ＊ 許容ドット 抜けを超えるノズル詰まりが発生した場合、プリンターエラーとなり印刷できません。
参考	• ドット 抜け検出に微量のインクを使用します。 • クリーニング実行時にインクが消費されます。 •「ドット 抜け防止モード」、「誤読防止モード」、「誤色防止モード」の場合、一定の間隔で自動ノズルチェックを行うため、印刷中にも自動ノズルチェックが行われる場合があります。

ソフトウェア

システム管理者、アプリケーション開発者向けに、各種ユーティリティーを用意しています。
ソフトウェアの入手方法の詳細は、160 ページ「ダウンロード」を参照してください。

用途	ユーティリティー	内容
設置・導入	Install Navi	主に 1 台のホスト コンピューターに対し、本製品の設置・導入を行うためのユーティリティーです。 ウィザード形式でホスト コンピューター、および本製品のセット アップを行えます。 同梱 CD-ROM に入っています。
運用・管理	プリンタードライバー	プリンターの設定、印刷設定、プリンターステータスの確認など行えます。
	EpsonNet Config	ネット ワークプリンターの設定 / 確認ができます。 一度に複数のプリンターの設定ができます。 同梱 CD-ROM に入っています。
修理・保守	USB プリンタークラス デバイス置き換えサービス	コンピューターに常駐させるサービスです。 TM-C3500 を修理などのために置き換えた場合、プリンター接続を検知してプリンタードライバーの出力するプリンターを自動的に変更します。 アプリケーション側の設定を変更しないでもプリンターを置き換えられます。(アプリケーションの出力先をポートに指定している場合は置き換えられません。 プリンタードライバーを指定している場合に置き換えられます。) TM-C3500のUSBシリアルナンバーを事前に書き換える必要がありません。 同梱 CD-ROM に入っています。
開発	EpsonNet SDK	ユーザーアプリケーションからTM-C3500のステータスを取得するための API です。
	サンプルプログラム	TM-C3500を活用するためのサンプルプログラム集です。(全プログラムを VB.NET、C++ で用意。一部のプログラムは C# でも用意しています。)
	EPDI サンプルプログラム	ユーザーアプリケーションからプリンタードライバーの印刷設定を変更するための API です。

製品仕様

印刷方式		シリアルインクジェット ドット マトリクス 4 色カラー印刷
紙送り方式		フリクション フィードによる正逆方向送り
オート カッター	カット 方式	刃分離型 ハサミ方式
	カット 形態	フルカット（完全切り離し）
画像解像度		360 dpi × 360 dpi, 720 dpi × 360 dpi
印字速度		• 103 mm/s（印刷幅 56 mm、360 dpi × 360 dpi） • 96 mm/s（印刷幅 72 mm、360 dpi × 360 dpi） 印刷速度は、解像度、印刷幅によって変わります。
用紙 （詳細は 25 ページ「用紙仕様」を参照）	用紙種類	普通紙、普通紙ラベル、マット 紙、マット 紙ラベル、 合成紙ラベル、光沢紙ラベル、リスト バンド
	用紙形態	連続紙、ブラックマーク連続紙、全面ラベル、 透明台紙ダイカット ラベル、ダイカット ラベル（ギャップ基準）、ダイカット ラベル（BM 基準）
	給紙装置	ロール紙、ファンフォールド紙
インクカート リッジ （詳細は 56 ページ「インクカート リッジ」を参照）		4 色インク別体型専用インクカート リッジ
インタフェース		Ethernet（100 Base-TX/10 Base-T） USB 2.0 ハイスピード
バーコード / 2 次元コード印刷	バーコード	UPC-A、UPC-E、JAN 8（EAN 8）、JAN 13（EAN 13）、Code 39、 ITF、Codabar、Code 93、Code 128、GS1-128、 GS1 DataBar Omnidirectional、GS1 DataBar Truncated、 GS1 DataBar Limited、GS1 DataBar Expanded
	2 次元コード	PDF417、QR Code、MaxiCode、GS1 DataBar Stacked、 GS1 DataBar Stacked Omnidirectional、 GS1 DataBar Expanded Stacked、DataMatrix、AztecCode
電源		AC100 ～ 240V（専用 AC アダプター ,K による電源供給）
温度・湿度 （詳細は 57 ページ「環境仕様」を参照）	印刷時	10 ～ 35 ℃、20 ～ 80%RH 非結露
	保管時	出荷梱包状態：-20～60℃、5～85%RH 非結露（インク非充てん） -20 ℃または 60 ℃の場合：120H 以内 インク充てん状態：-20 ～ 40 ℃ -20 ℃の場合：120H 以内 0 ～ 30 ℃の場合：6ヶ月以内 40 ℃の場合：1ヶ月以内
外形寸法（H × W × D）		310 × 283 × 261 mm（突起部を除く）
質量		約 12.0 kg （インクカート リッジ、メンテナンスボックス、AC アダプター、 ロール紙は含みません。）

動作環境

OS	Microsoft Windows 8 (32 bit/ 64 bit) Microsoft Windows 7 SP1 (32 bit/ 64 bit) Microsoft Windows Vista SP2 (32 bit/ 64 bit) Microsoft Windows XP SP3 (32 bit) Microsoft Windows XP SP2 (64 bit) Microsoft Windows Server 2012 Microsoft Windows Server 2008 R2 SP1 Microsoft Windows Server 2008 SP2 (32 bit/ 64 bit) Microsoft Windows Server 2003 R2 SP2 (32 bit/ 64 bit)
コンピューター	上記 OS が動作する以下のコンピューターを サポート していること。 • PC/AT 互換機
CPU	OS の動作環境に準ずる
Memory	OS の動作環境に準ずる
HDD	OS の動作環境に準ずる

注意

ネット ワークのプリンターは最大 64 台までサポート しています。その場合、上記システムの最低条件では、プリンターの機能を十分発揮できないことがあります。

印刷仕様

印刷領域	ロー ル紙	連続紙：最小幅 30 mm、最大幅 108 mm 全面ラベ ル紙 (台紙)、ダイカット ラベ ル紙 (台紙) : 最小幅 30 mm、最大幅 112 mm
	フ ァンフォー ルド紙	連続紙： 最小幅 50 mm、最大幅 108 mm ダイカット ラベ ル紙 (台紙) : 最小幅 50 mm、最大幅 112 mm
印刷速度	360 × 360 dpi (横× 縦)	印刷幅 56 mm : 103 mm/s、72 mm : 96 mm/s、104 mm : 85 mm/s
	720 × 360 dpi (横× 縦)	印刷幅 56 mm : 52 mm/s、72 mm : 48 mm/s、104 mm : 42 mm/s

dpi：1 インチ (24.4 mm) あたりのドット数 (dots per inch)

用紙仕様

本プリンターで使用可能な用紙は以下のとおりです。

注意

- 指定紙以外の用紙を使用する場合、紙送り精度 ／バーコード認識率 ／印刷品質の低下、紙ジャムが発生することがあります。
- 合成紙ラベルと紙台紙の温度や湿度による伸縮率が異なるため用紙のカールが発生します。カールした用紙を使用すると、印刷ヘッドとの擦れによる汚れ、紙ジャムが発生する場合があります。
- テープなどで繋いで延長した用紙を使用しないでください。用紙の継ぎ目による誤検出、印刷ヘッドとの擦れによる汚れ、紙ジャムが発生する事があります。

用紙形態	用紙種類	給紙装置	幅
連続紙	普通紙 マット 紙	ロール紙	30 ～ 108 mm （用紙幅）
ブラックマーク連続紙	普通紙 マット 紙	ロール紙	30 ～ 108 mm （用紙幅）
ブラックマーク連続紙	普通紙 マット 紙	ファンフォールド紙	50 ～ 108 mm （用紙幅）
全面ラベル 透明台紙全面ラベル	普通紙ラベル マット 紙ラベル 合成紙ラベル 光沢紙ラベル	ロール紙	25.4 ～ 108 mm （ラベル幅）
ダイカット ラベル(ギャップ基準) 透明台紙ダイカット ラベル	普通紙ラベル マット 紙ラベル 合成紙ラベル 光沢紙ラベル	ロール紙	25.4 ～ 108 mm （ラベル幅）
ダイカット ラベル (BM 基準)	普通紙ラベル マット 紙ラベル 光沢紙ラベル	ロール紙	25.4 ～ 108 mm （ラベル幅）
ダイカット ラベル (BM 基準)	普通紙ラベル マット 紙ラベル	ファンフォールド紙	46 ～ 108 mm （ラベル幅）
ブラックマーク連続紙	リスト バンド	ロール紙	30 mm （用紙幅）

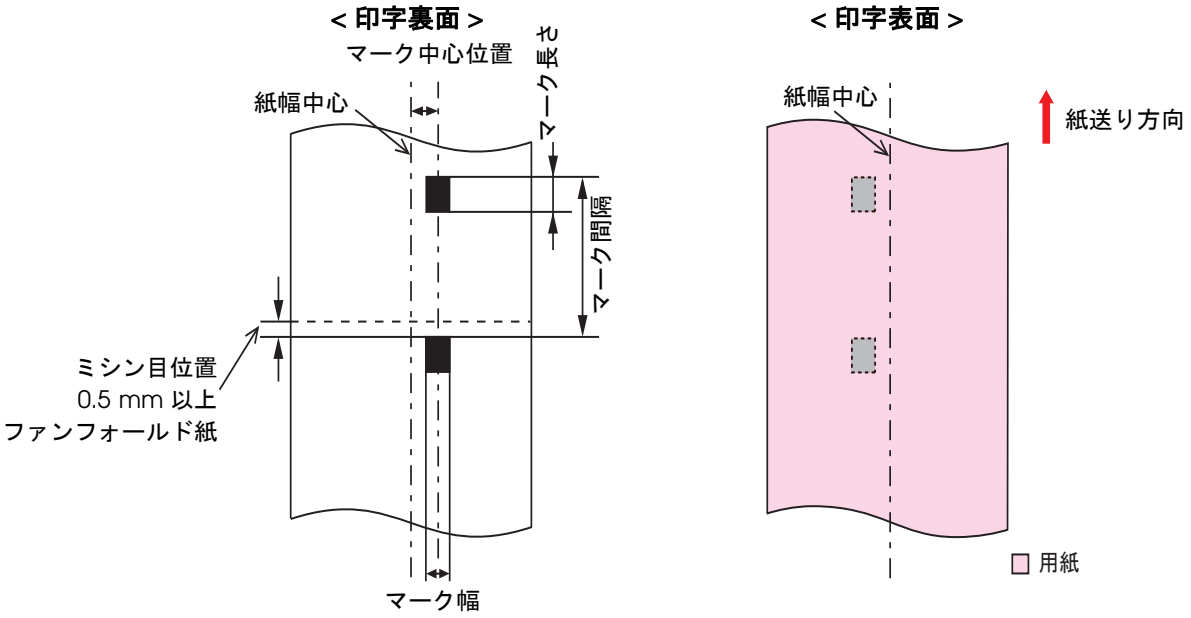
連続紙

用紙種類	普通紙 / マット 紙
形状	ロー ル紙
紙幅	30 ～ 108 mm
紙厚	0.084 ～ 0.124 mm
巻芯	外径：44.1 mm 以上
外径	最大 101.6 mm
巻き方向	印字面が外側

注意

穴、切り欠きのある用紙は使用できません。

ブラックマーク連続紙



用紙種類	普通紙 / マット 紙
形状	ロー ル紙
紙幅	30 ～ 108 mm
ブラックマーク幅	13 mm 以上
ラベ ル長さ	15 ～ 1117.6 mm
ブラックマーク長さ	5 mm 以上
ブラックマーク中心位置	8.5 ± 1 mm
ブラックマーク間隔	15 mm ～ 1117.6 mm
紙厚	0.084 ～ 0.124 mm
巻芯	外径：44.1 mm 以上
外径	最大 101.6 mm
巻き方向	印字面が外側

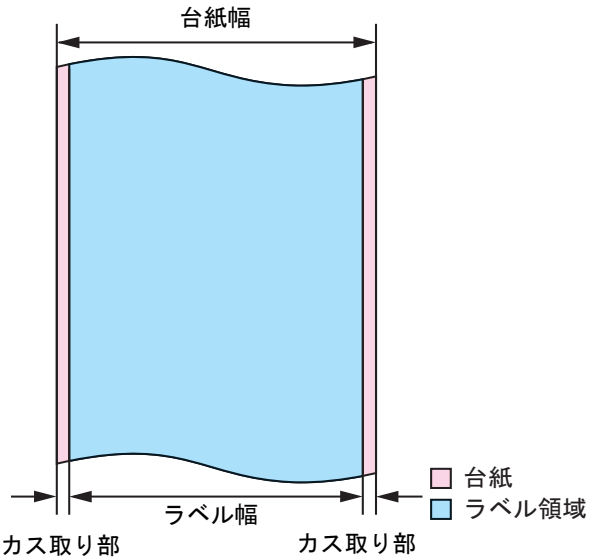
注意　穴、切り欠きのある用紙は使用できません。

用紙種類	普通紙 / マット 紙
形状	フ ァンフォー ルド紙
紙幅	50 ～ 108 mm
ブラックマーク幅	13 mm 以上
ブラックマーク長さ	5 mm 以上
ブラックマーク中心位置	8.5 ± 1 mm
ブラックマーク間隔	15 mm ～ 304.8 mm
紙厚	0.124 ～ 0.128 mm
ミシン目間隔	203.2 ～ 304.8 mm
ミシン目形状	普通紙ラベ ル　　: 1 mm アンカット 、5 mm カット マット 紙　　: 1 mm アンカット 、5 mm カット
折り数	500 折り以下

注意

- 穴、切り欠きのあ る用紙は使用できません。
- フ ァンフォー ルド紙は、ブラックマークがミシン目から 0.5mm 以上離れてい るものを使用して く ださい。
- フ ァンフォー ルド紙のオート カット 位置は、ミシン目の後ろ側から 0.5 ～ 1mm 離れた位置に設定し てく ださい。
- 用紙両端のミシン目はアンカット のものを使用し てく ださい。
- 用紙を 逆方向から挿入し ても 使用でき るように するには、どちらの方向から挿入し ても、ブラックマークがミシン目に対し て同じ位置にく るように（ブラックマークセンサで検出でき る位置に）し てく ださい。

全面ラベル

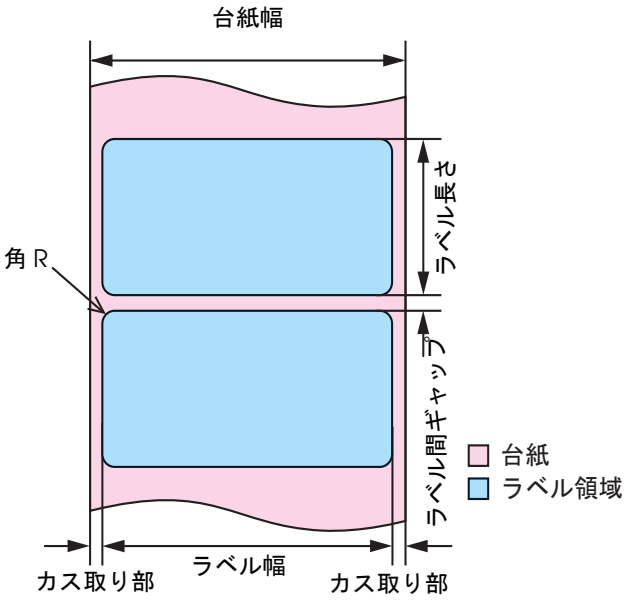


用紙種類	普通紙ラベル/ マット 紙ラベル/ 合成紙ラベル/ 光沢紙ラベル
形状	ロール紙
台紙幅	30 ～ 112 mm
ラベル幅	25.4 ～ 108 mm
左右カス取り部	2 ± 0.5 mm
紙厚	普通紙ラベル/ マット 紙ラベル/ 合成紙ラベル: 0.129 ～ 0.195 mm 光沢紙ラベル: 0.184 mm
巻芯	普通紙ラベル/ マット 紙ラベル/ 合成紙ラベル: 外径：44.1 mm 以上 光沢紙ラベル: 外径：56.8 mm 以上
外径	最大 101.6 mm
巻き方向	印字面が外側

注意

- 穴、切り欠きのある用紙は使用できません。
- ロール紙供給部への粘着財の付着を防止するため、左右端をカス取りしたラベルを使用してください。

ダイカットラベル（ギャップ基準）



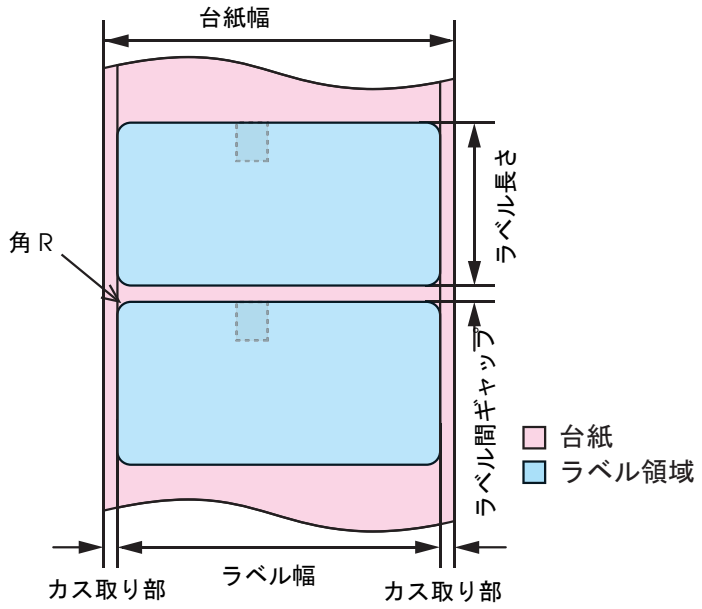
用紙種類	普通紙ラベル/ マット 紙ラベル/ 合成紙ラベル/ 光沢紙ラベル
形状	ロール紙
台紙幅	30 ～ 112 mm
ラベル幅	25.4 ～ 108 mm
ラベル長さ	15 ～ 1117.6 mm
ラベル間ギャップ	3 ～ 6 mm
左右カス取り部	2 ± 0.5 mm
ラベル角 R	1.5 mm 以下
紙厚	普通紙ラベル/ マット 紙ラベル/ 合成紙ラベル: 0.129 ～ 0.195 mm 光沢紙ラベル 0.184 mm
巻芯	普通紙ラベル/ 合成紙ラベル: 外径：44.1 mm 以上 マット 紙ラベル/ 光沢紙ラベル: 外径：56.8 mm 以上
外径	最大 101.6 mm
巻き方向	印字面が外側

注意

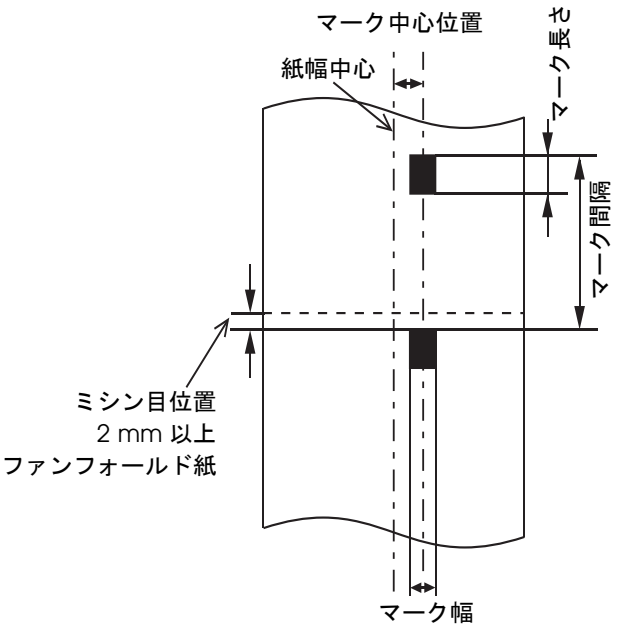
- 穴、切り欠きのある用紙は使用できません。
- 台紙が合成紙やフィルムの場合、ミシン目があっても手切りしにくいため、その際にはミシン目を使用しないでください。

ダイカットラベル(BM 基準)

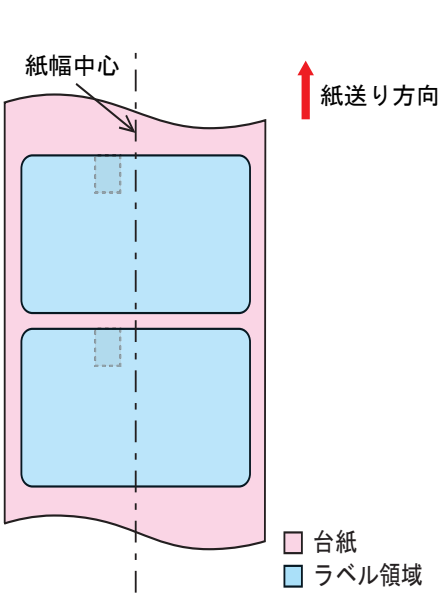
カス取りされている用紙



< 印字裏面 >



< 印字表面 >



用紙種類	普通紙ラベル/ マット 紙ラベル/ 光沢紙ラベル
形状	ロール紙
台紙幅	30 ～ 112 mm
ラベル幅	25.4 ～ 108 mm
ラベル長さ	15 ～ 1117.6 mm
ラベル間ギャップ	3 ～ 6 mm
左右カス取り部	2 ± 0.5 mm
ラベル角 R	1.5 mm 以下
ブラックマーク幅	13 mm 以上
ブラックマーク長さ	5 mm 以上
ブラックマーク中心位置	8.5 ± 1 mm
ブラックマーク間隔	18 mm ～ 1123.6 mm
紙厚	普通紙ラベル/ マット 紙ラベル: 0.129 ～ 0.143 mm 光沢紙ラベル: 0.184 mm
巻芯	普通紙ラベル: 外径：44.1 mm 以上 マット 紙ラベル/ 光沢紙ラベル 外径：56.8 mm 以上
外径	最大 101.6 mm
巻き方向	印字面が外側

注意

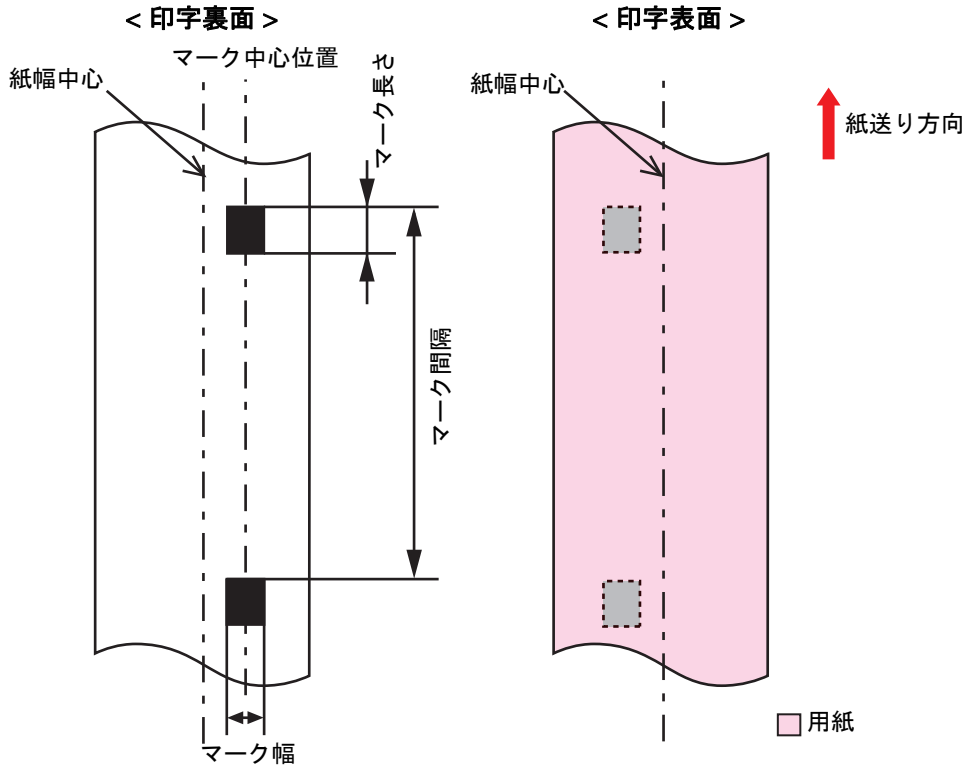
- 穴、切り欠きのある用紙は使用できません。
- ダイカット ラベルへのブラックマーク位置はラベル先端とブラックマーク先端を合わせてください。

用紙種類	普通紙ラベル/マット紙ラベル
形状	ファンフォールド紙
台紙幅	50 ～ 112 mm
ラベル幅	46 ～ 108 mm
ラベル長さ	15 ～ 301.8 mm
ラベル間ギャップ	3 ～ 6 mm
左右カス取り部	2 ± 0.5 mm
ラベル角 R	1.5 mm 以下
ブラックマーク幅	13 mm 以上
ブラックマーク長さ	5 mm 以上
ブラックマーク中心位置	8.5 ± 1 mm
ブラックマーク間隔	18 mm ～ 304.8 mm
紙厚	0.161 ～ 0.164 mm
ミシン目間隔	203.2 ～ 304.8 mm
ミシン目形状	普通紙ラベル　　: 1 mm アンカット、5 mm カット マット紙ラベル　: 1 mm アンカット、5 mm カット
折り数	500 折り以下

注意

- 穴、切り欠きのある用紙は使用できません。
- ミシン目の上をオートカットすると小さな紙片が発生し、不具合が生じる場合があります。また、ミシン目の前側をオートカットすると紙送り時に不具合を生じる可能性があります。このため、ミシン目の後ろ側を 0.5 ～ 1 mm 離してオートカットしてください。
- ブラックマーク位置はミシン目より 2 mm 以上離してください。
- ダイカットラベル紙へのブラックマーク位置はラベル先端とブラックマーク先端を合わせてください。
- 用紙両端のミシン目はアンカットとしてください。

リストバンド



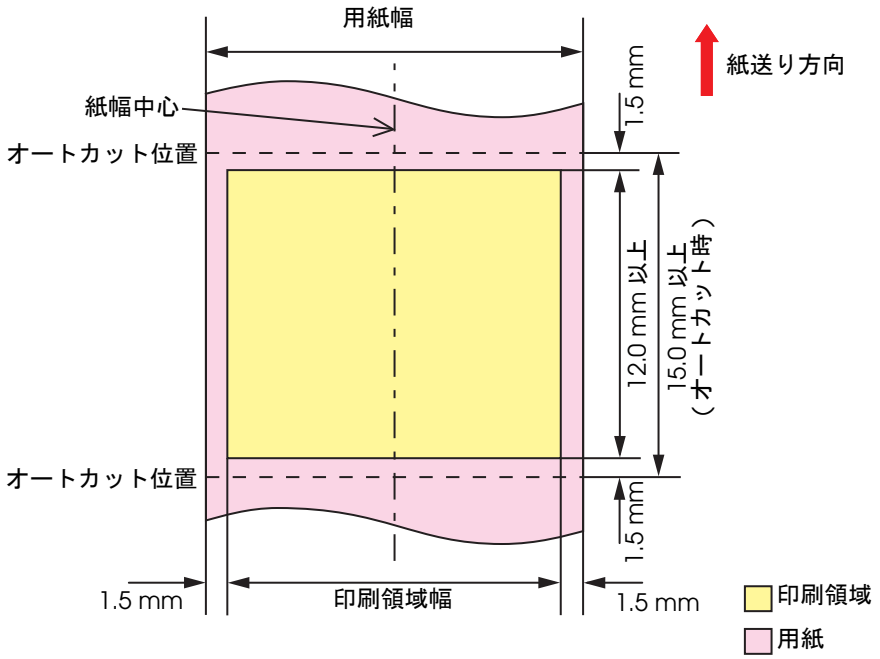
用紙種類		リ スト バンド
指定専用紙		WB-S シリーズ、WB-M シリーズ、WB-L シリーズ
形状		ロー ル紙
紙幅		36 mm
ブラックマーク幅		13 mm 以上
ブラックマーク長さ		5 mm 以上
ブラックマーク中心位置		8.5 ± 1 mm
ブラックマーク間隔	WB-S シリーズ	184.1 mm
	WB-M シリーズ	292.1 mm
	WB-L シリーズ	292.1 mm
紙厚		0.225 mm
巻芯		外径：56.8 mm 以上
外径		最大 101.6 mm
巻き方向		印字面が外側
穴、切り欠き		穴径：2.5 mm 以下

印刷位置とカット位置

連続紙・ロール紙

「印刷領域拡大」無効時

上下左右余白：1.5 mm（中心値）

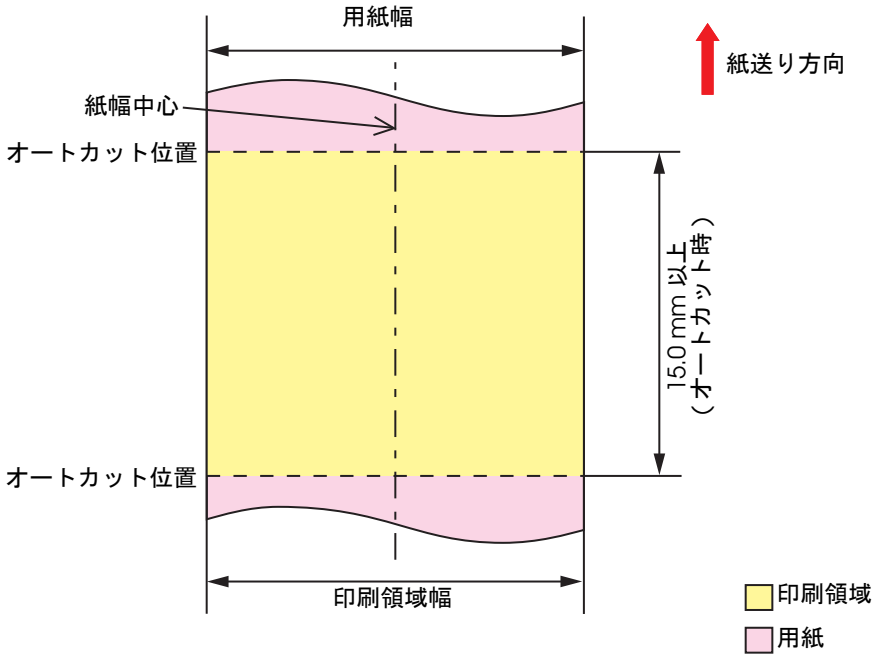


注意

ロール紙オプションが長尺モードの場合、印刷ジョブの最初のページに上余白が設けられますが、ページ間には余白は存在しません。印刷ジョブの最終ページに下余白が設けられます。

「印刷領域拡大」有効時

上下左右余白：0 mm（中心値）



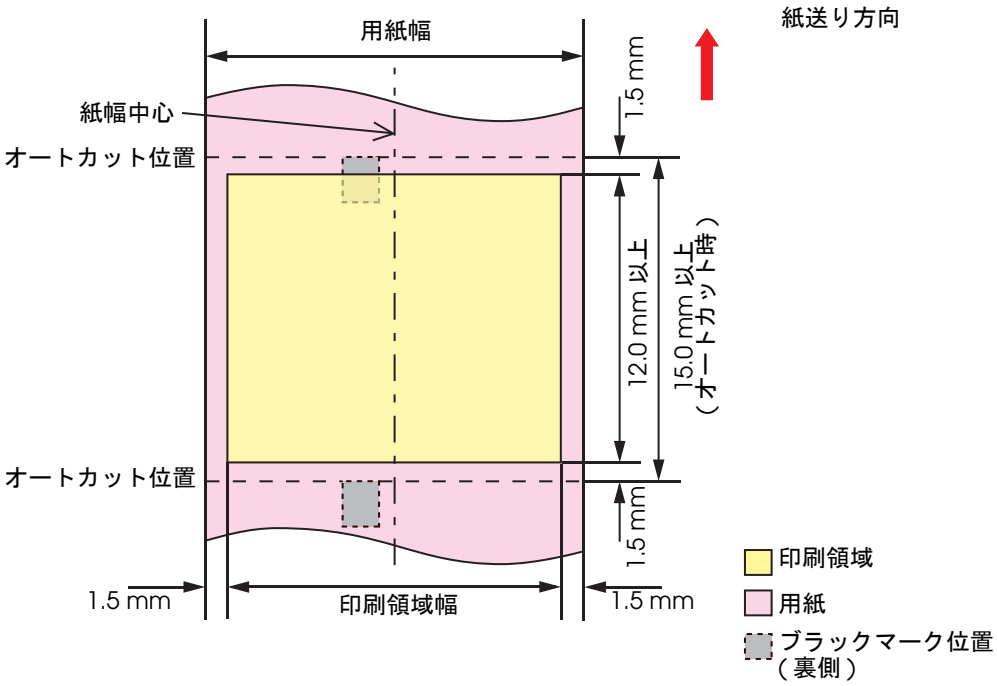
参考

- 「印刷領域拡大」を有効に設定した場合、実印刷位置と用紙のセット位置によっては印刷がはみ出す可能性があります。印刷がはみ出ないようにするために、印刷データ内に 1.5mm 以上の余白を確保してください。
- 「印刷領域拡大」を有効に設定した場合でも、印字領域幅の最大値は 104mm です。

ブラックマーク連続紙・ロール紙

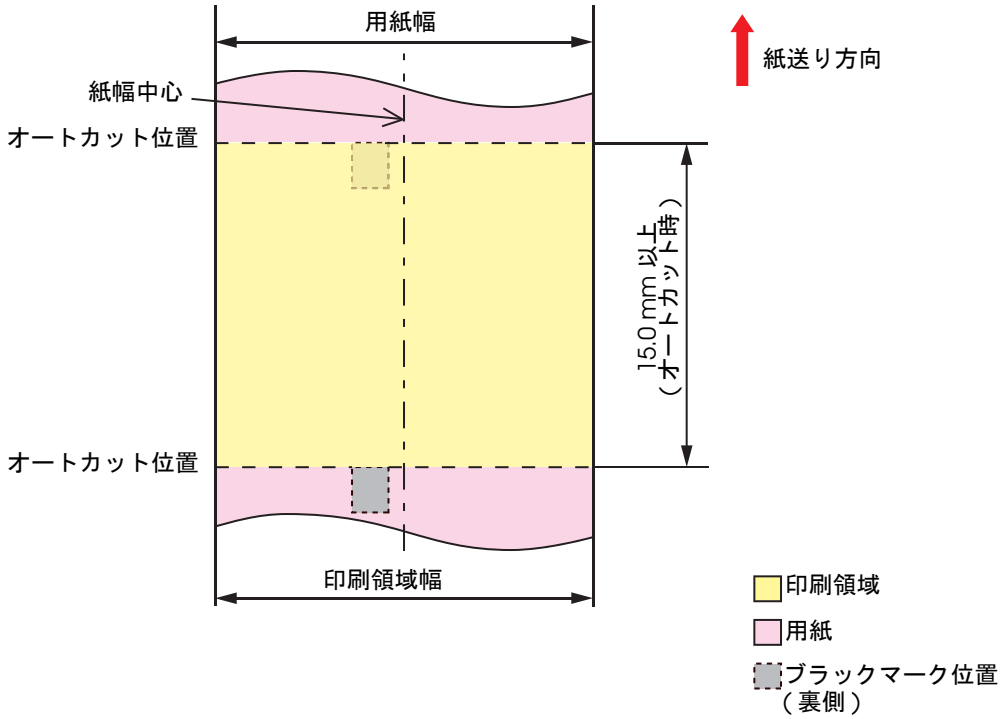
「印刷領域拡大」無効時

上下左右余白：1.5 mm（中心値）



「印刷領域拡大」有効時

上下左右余白：0 mm（中心値）

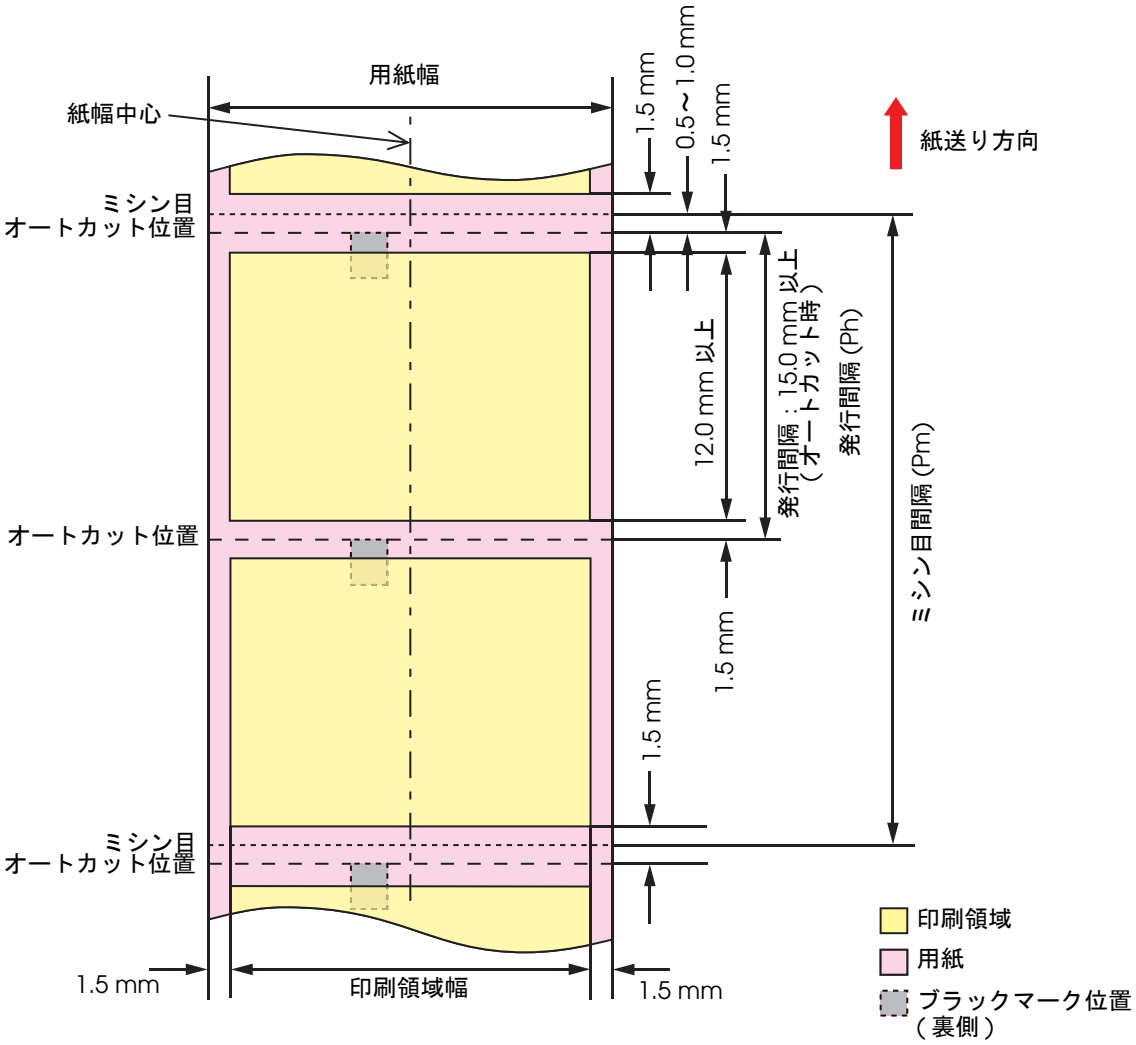


注意	「印刷領域拡大」を有効に設定した場合、実印刷位置と用紙のセット位置によっては印刷がはみ出す可能性があります。印刷がはみ出ないようにするためには、印刷データ内に 1.5mm 以上の余白を確保してください。
参考	「印刷領域拡大」を有効に設定した場合でも、印字領域幅の最大値は 104mm です。

ブラックマーク連続紙･ファンフォールド紙

「印刷領域拡大」無効時

上下左右余白：1.5 mm（中心値）



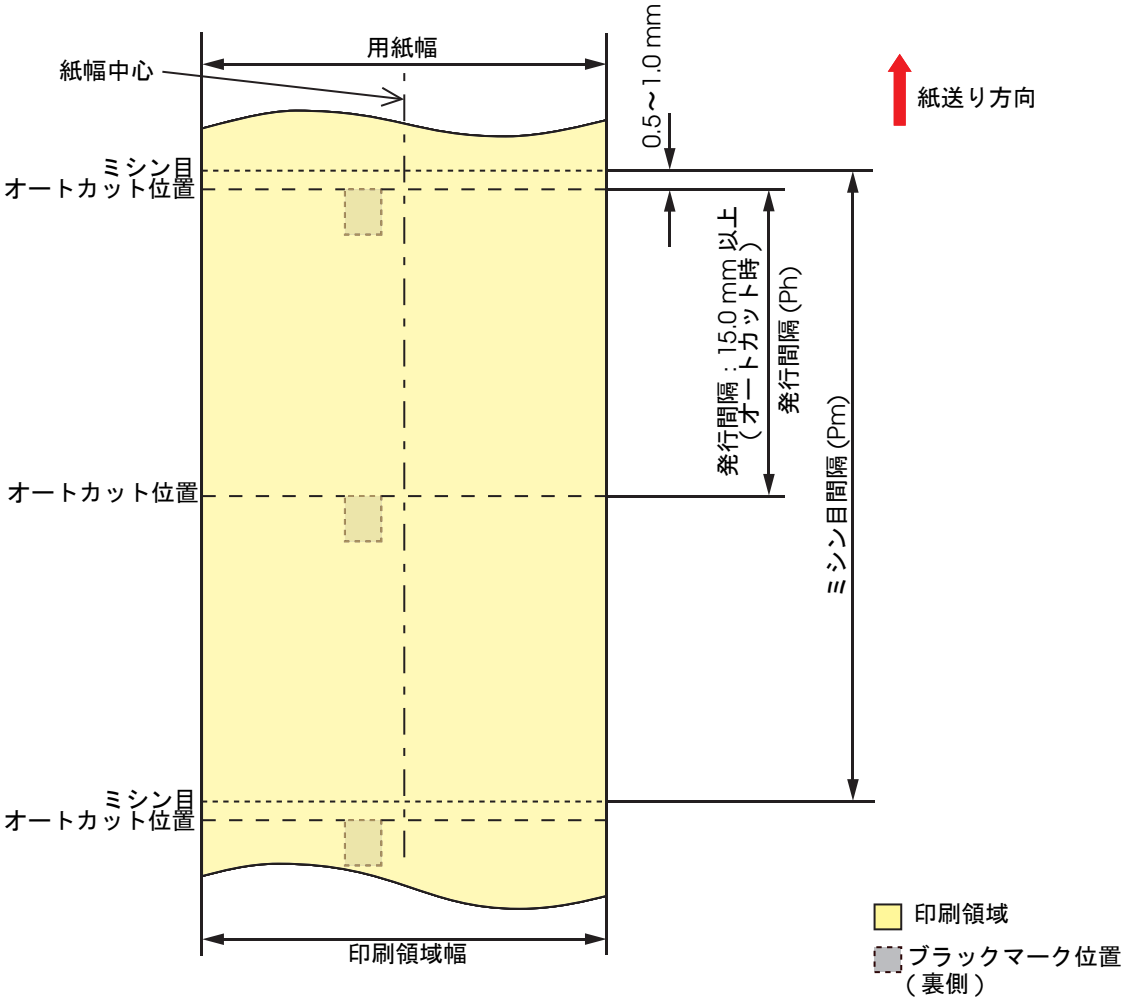
注意

発行間隔 (Pm) とミシン目間隔 (Ph) が以下の関係になるよう調整してください。

Pm=Ph ×整数倍

「印刷領域拡大」有効時

上下左右余白：0 mm（中心値）



注意

- ミシン目間隔は、発行間隔の整数倍になるようにしてください。
- 「印刷領域拡大」を有効に設定した場合、実印刷位置と用紙のセット位置によっては印刷がはみ出す可能性があります。印刷がはみ出ないようにするためには、印刷データ内に 1.5mm 以上の余白を確保してください。

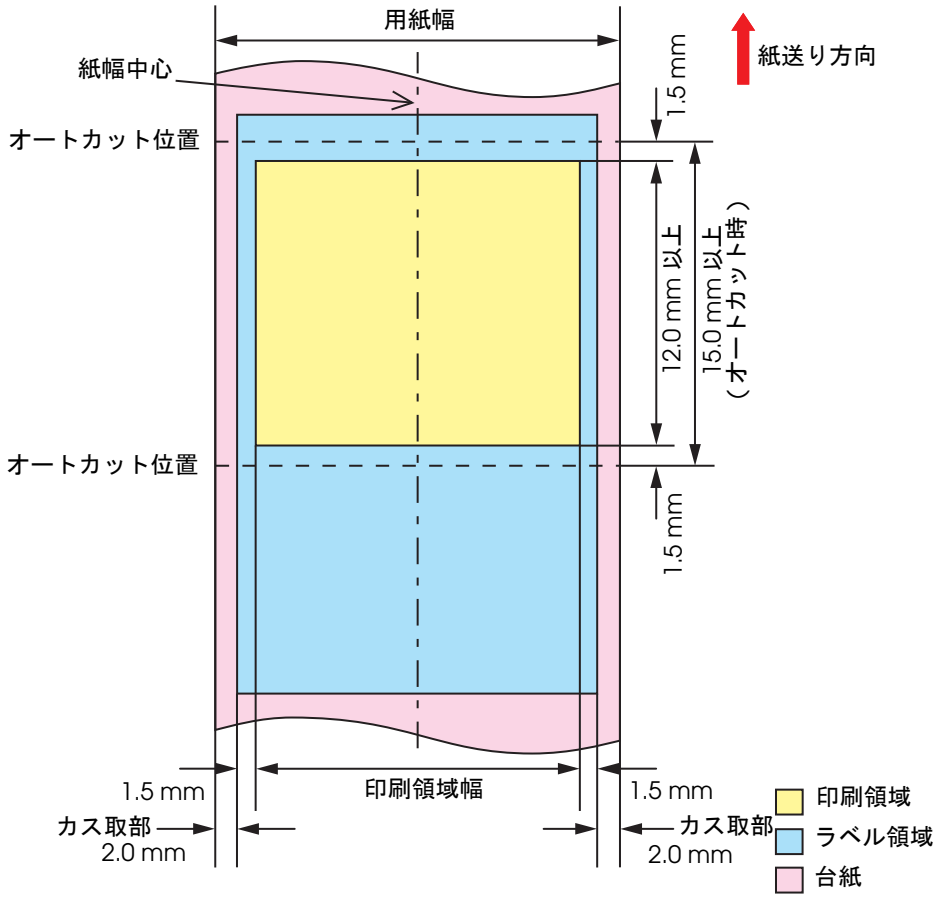
参考

「印刷領域拡大」を有効に設定した場合でも、印字領域幅の最大値は 104mm です。

全面ラベル・ロール紙

「印刷領域拡大」無効時

上下左右余白（ラベル内）：1.5 mm（中心値）

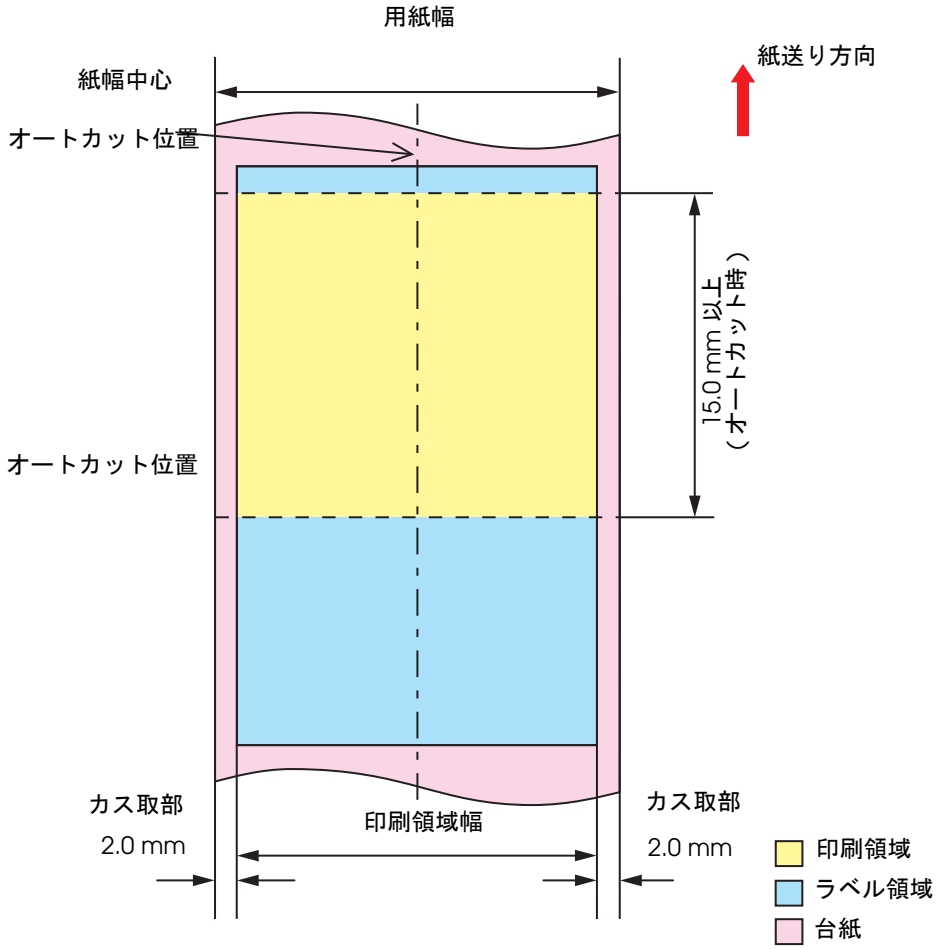


注意

ロー ル紙オプショ ンが長尺 モードの場合、印刷ジョ ブの最初のページに上余白が設けら れま すが、ページ間には余白は存在し ません。印刷ジョ ブの最終ページに下余白が設けら れま す。

「印刷領域拡大」有効時

上下左右余白（ラベル内）：0 mm（中心値）

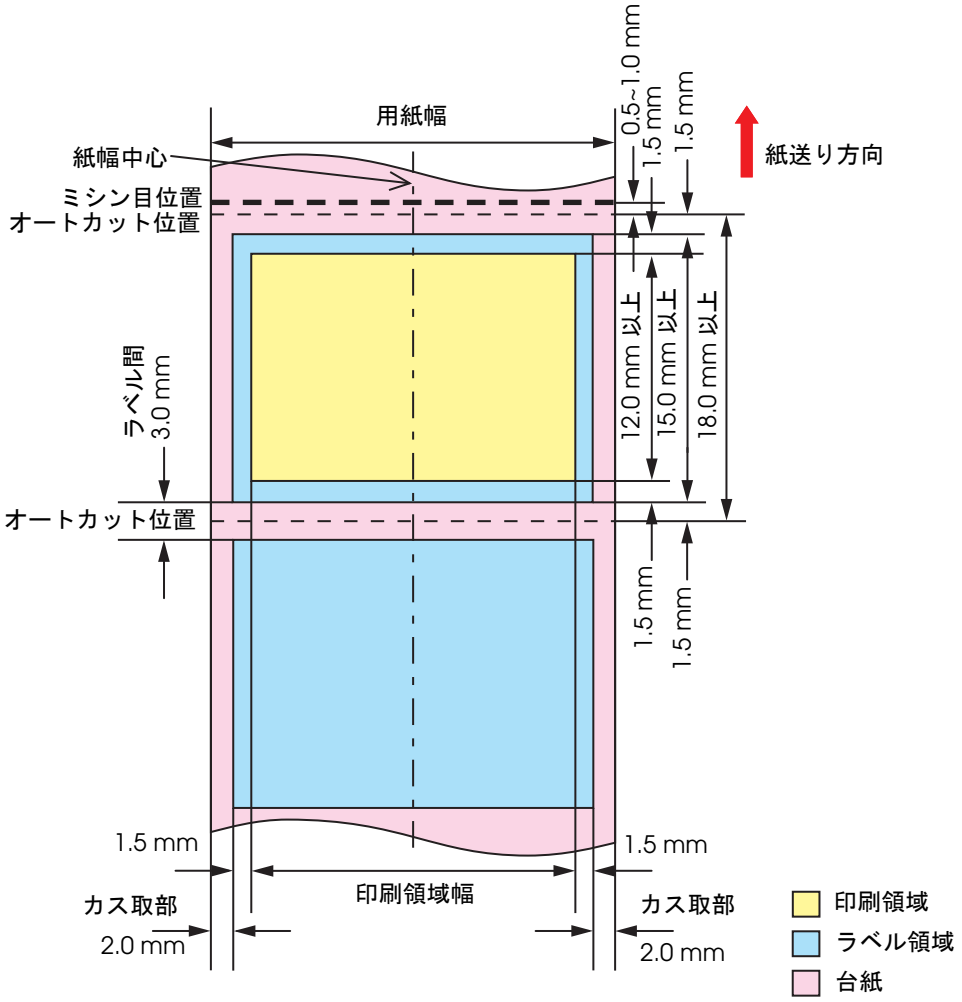


注意	「印刷領域拡大」を有効に設定した場合、実印刷位置とラベルのセット位置によっては印刷がはみ出す可能性があります。印刷がはみ出ないようにするためには、印刷データ内に 1.5mm 以上の余白を確保してください。
参考	「印刷領域拡大」を有効に設定した場合でも、印字領域幅の最大値は 104mm です。

ダイカットラベル(ギャップ基準)・ロール紙

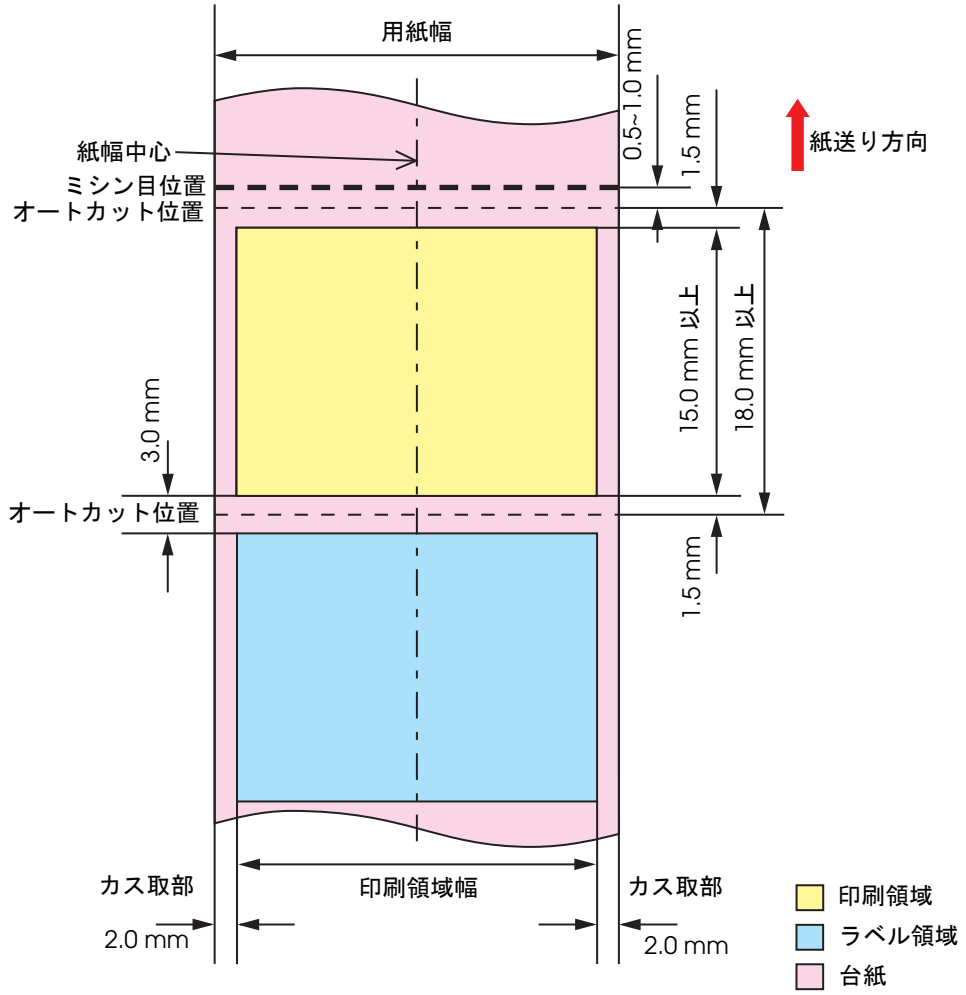
「印刷領域拡大」無効時

上下左右余白 (ラベル内) : 1.5 mm (中心値)



「印刷領域拡大」有効時

上下左右余白（ラベル内）：0 mm（中心値）

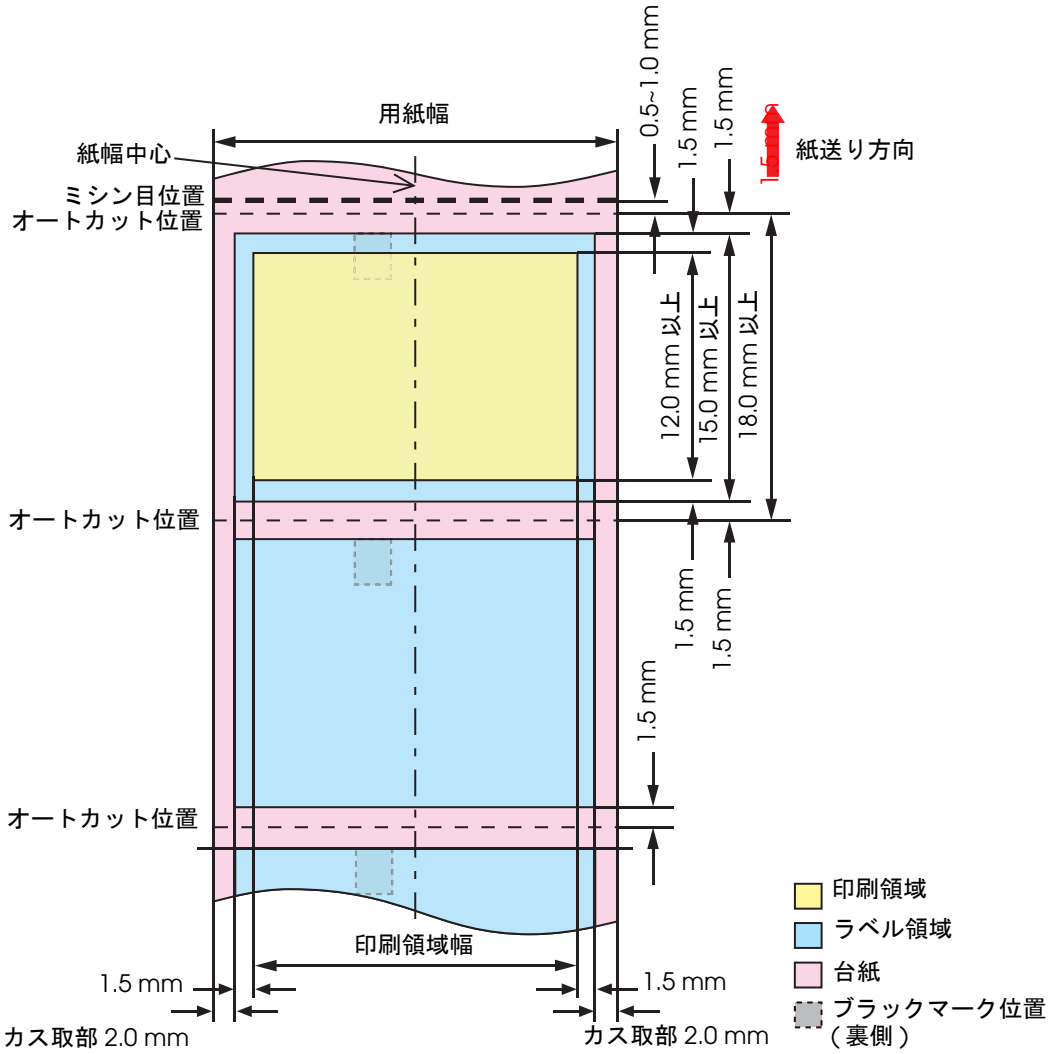


注意	「印刷領域拡大」を有効に設定した場合、実印刷位置とラベルのセット位置によっては印刷がはみ出す可能性があります。印刷がはみ出ないようにするためには、印刷データ内に 1.5mm 以上の余白を確保してください。
参考	「印刷領域拡大」を有効に設定した場合でも、印字領域幅の最大値は 104mm です。

ダイカットラベル(BM 基準)・ロール紙

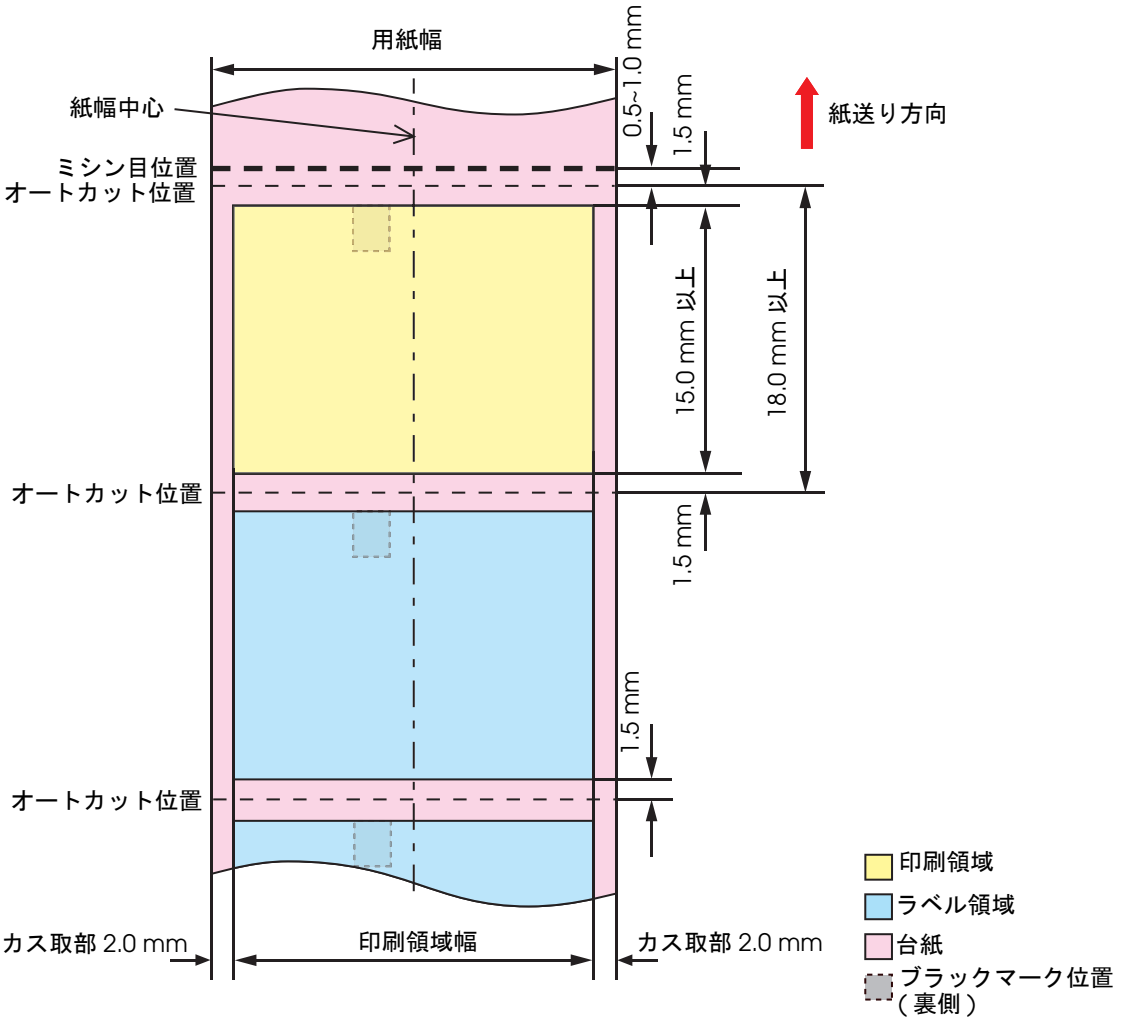
「印刷領域拡大」無効時

上下左右余白 (ラベル内) : 1.5 mm (中心値)



「印刷領域拡大」有効時

上下左右余白（ラベル内）：0 mm（中心値）

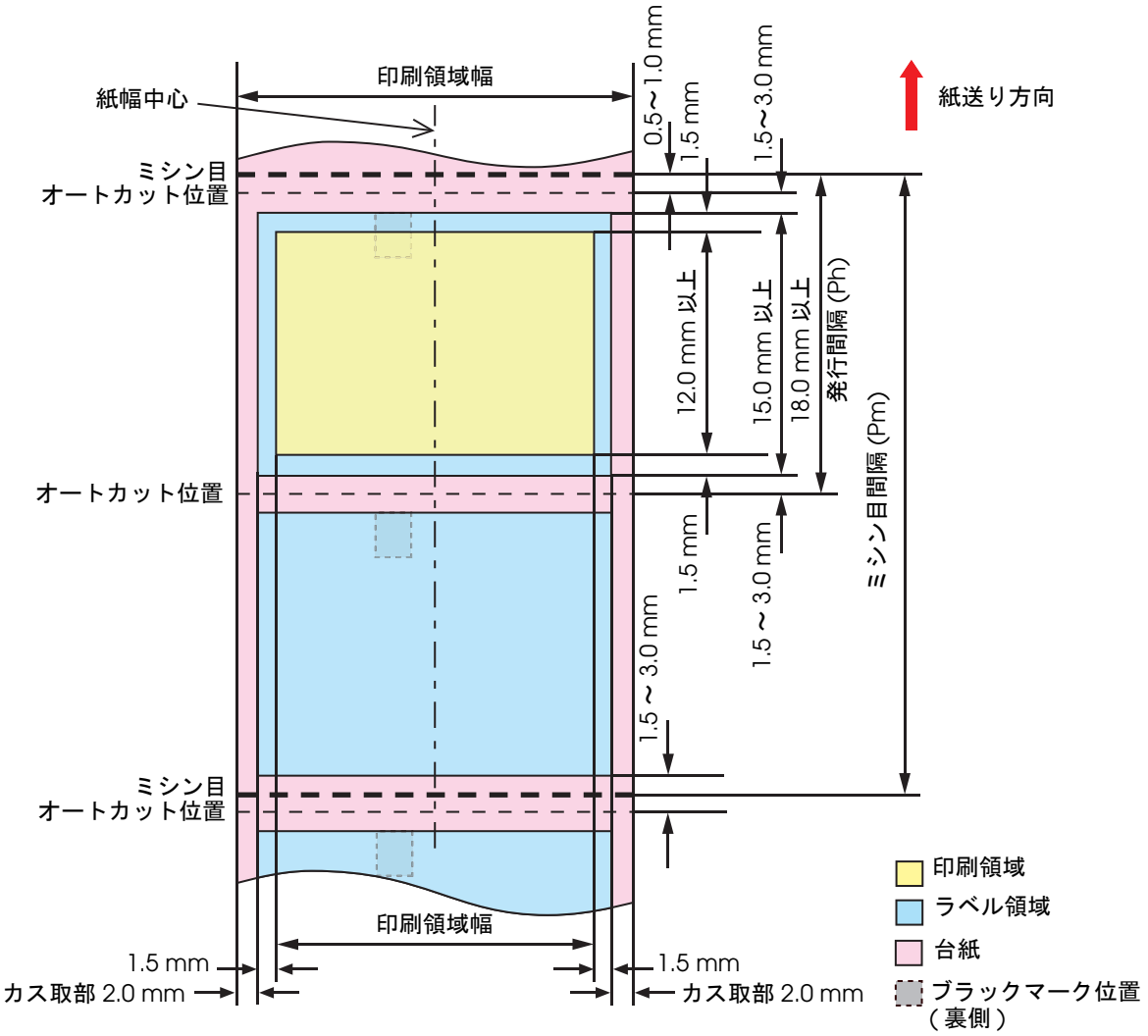


注意	「印刷領域拡大」を有効に設定した場合、実印刷位置とラベルのセット位置によっては印刷がはみ出す可能性があります。印刷がはみ出ないようにするためには、印刷データ内に 1.5mm 以上の余白を確保してください。
参考	「印刷領域拡大」を有効に設定した場合でも、印字領域幅の最大値は 104mm です。

ダイカットラベル(BM 基準)・ファンフォールド紙

「印刷領域拡大」無効時

上下左右余白 (ラベル内) : 1.5 mm (中心値)

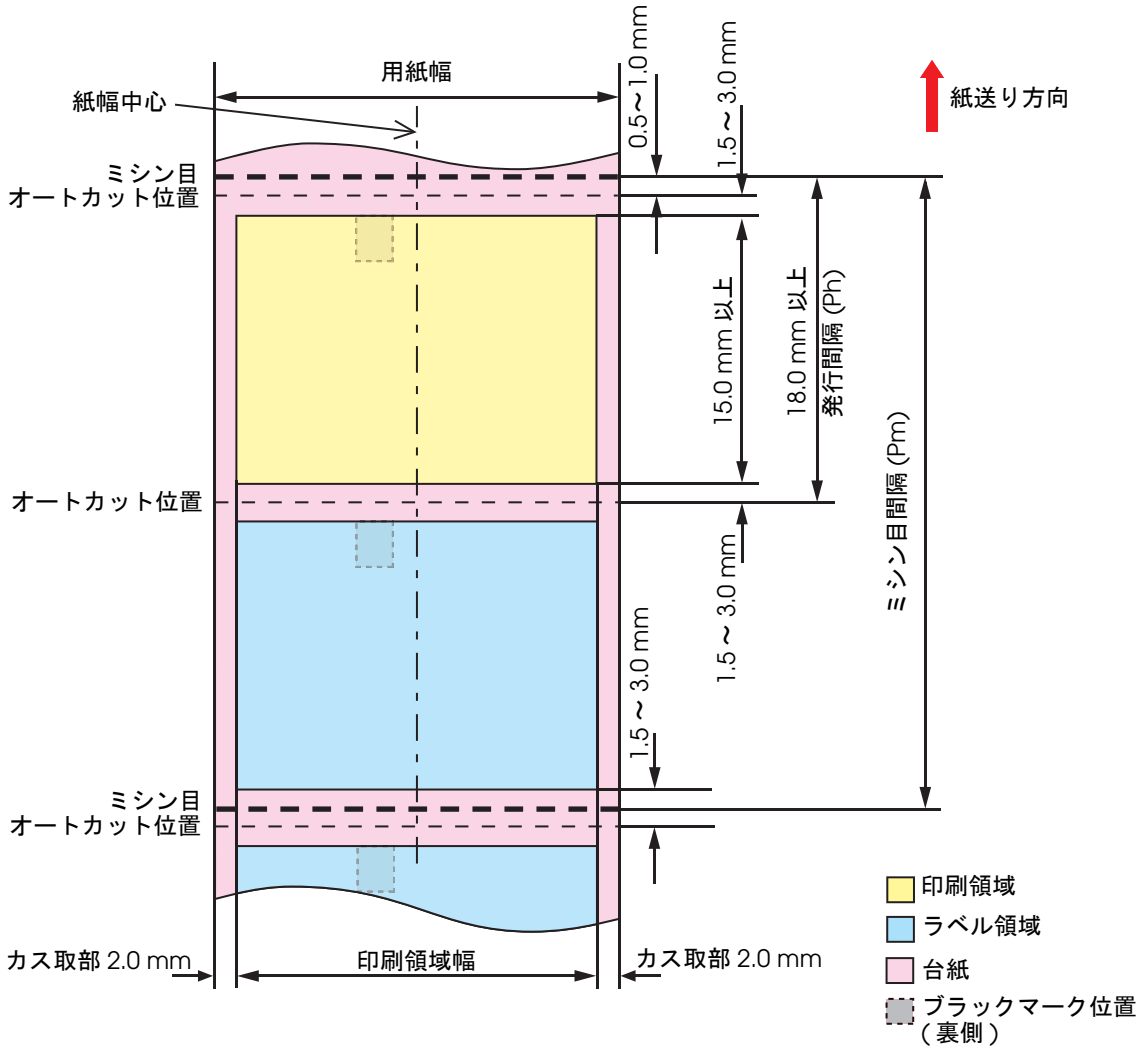


注意

- ミシン目間隔は、発行間隔の整数倍になるようにしてください。
- ミシン目と印字領域の重なりによる印字の乱れ、またはミシン目とオート カッタ位置の重なりによるカッタ寿命の低下を防ぐため、裏面にブラックマークのある用紙を使用し、用紙の位置合わせを行ってください。

「印刷領域拡大」有効時

上下左右余白（ラベル内）：0 mm（中心値）



注意

- ミシン目間隔は、発行間隔の整数倍になるようにしてください。
- ミシン目と印字領域の重なりによる印字の乱れ、またはミシン目とオートカッタ位置の重なりによるカッタ寿命の低下を防ぐため、裏面にブラックマークのある用紙を使用し、用紙の位置合わせを行ってください。
- 「印刷領域拡大」を有効に設定した場合、実印刷位置とラベルのセット位置によっては印刷がはみ出す可能性があります。印刷がはみ出ないようにするためには、印刷データ内に 1.5mm 以上の余白を確保してください。

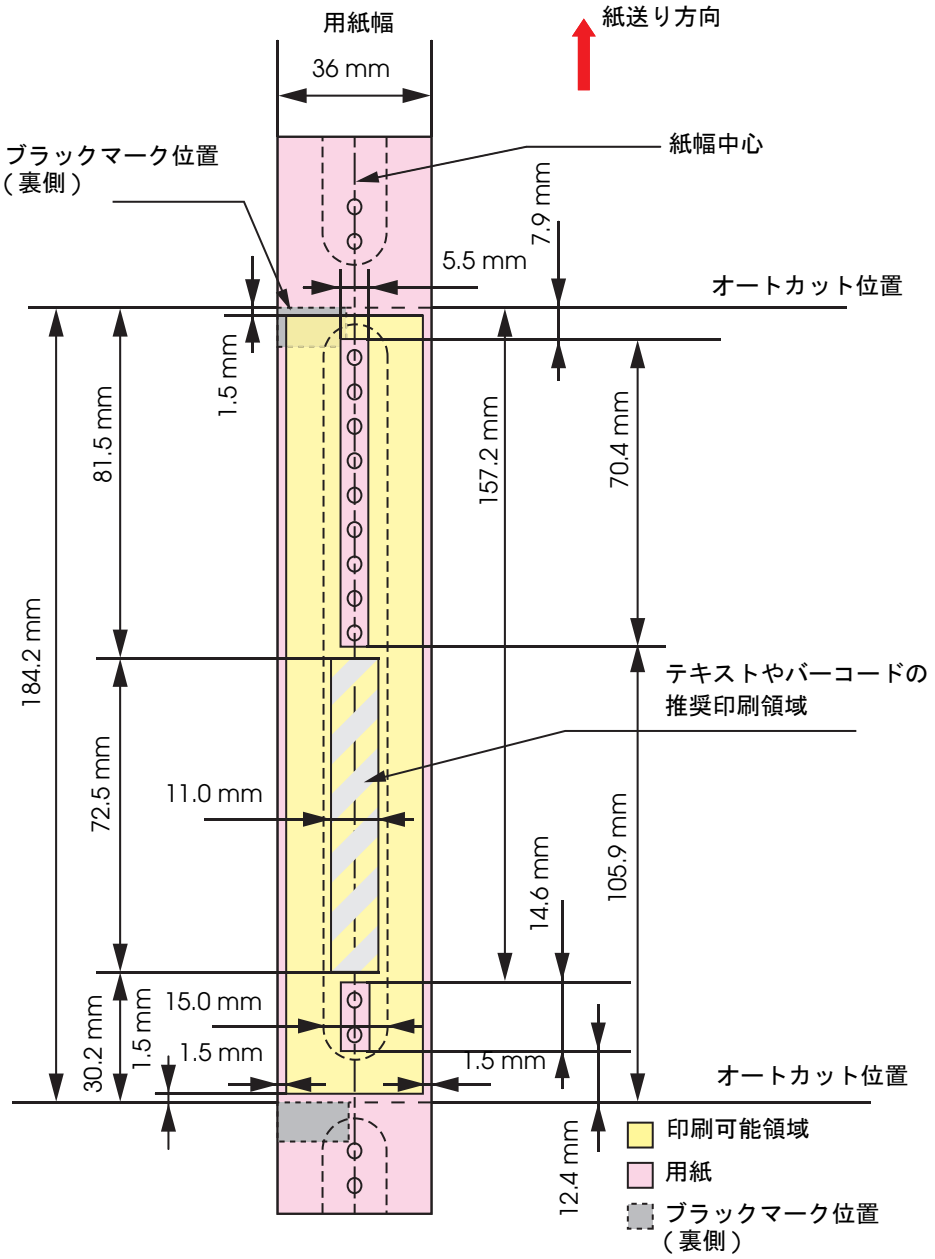
参考

「印刷領域拡大」を有効に設定した場合でも、印字領域幅の最大値は 104mm です。

リストバンド・ロール紙（WB-S シリーズ）

「印刷領域拡大」無効時

上下左右余白：1.5 mm（中心値）

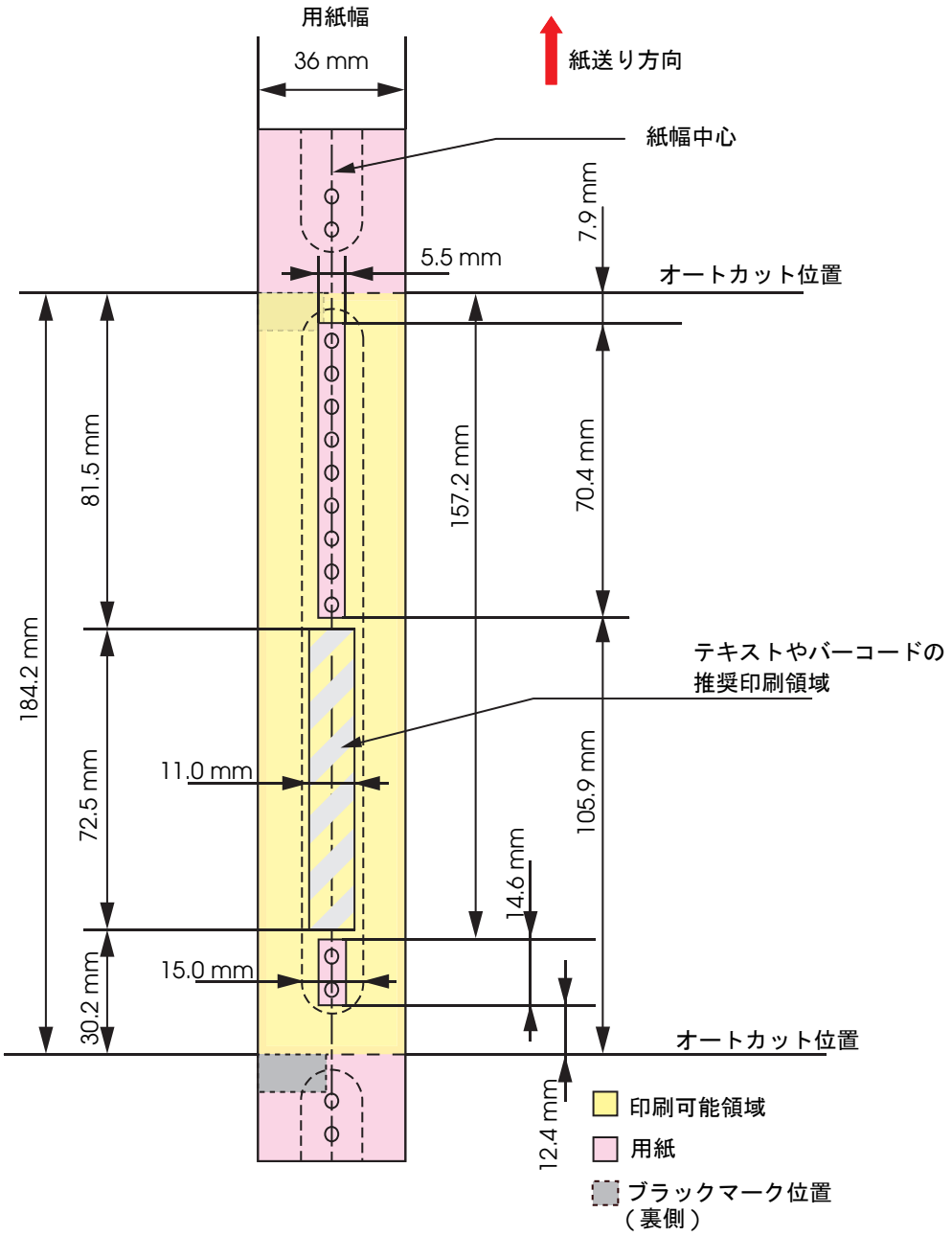


注意

- スナップ取り付け用の穴の上と、穴の近傍 2 mm は印刷しないでください。
- WB-S/M/L シリーズを使用する場合、アタッチメント（OT-WA34）を使用してください。

「印刷領域拡大」有効時

上下左右余白：0 mm（中心値）



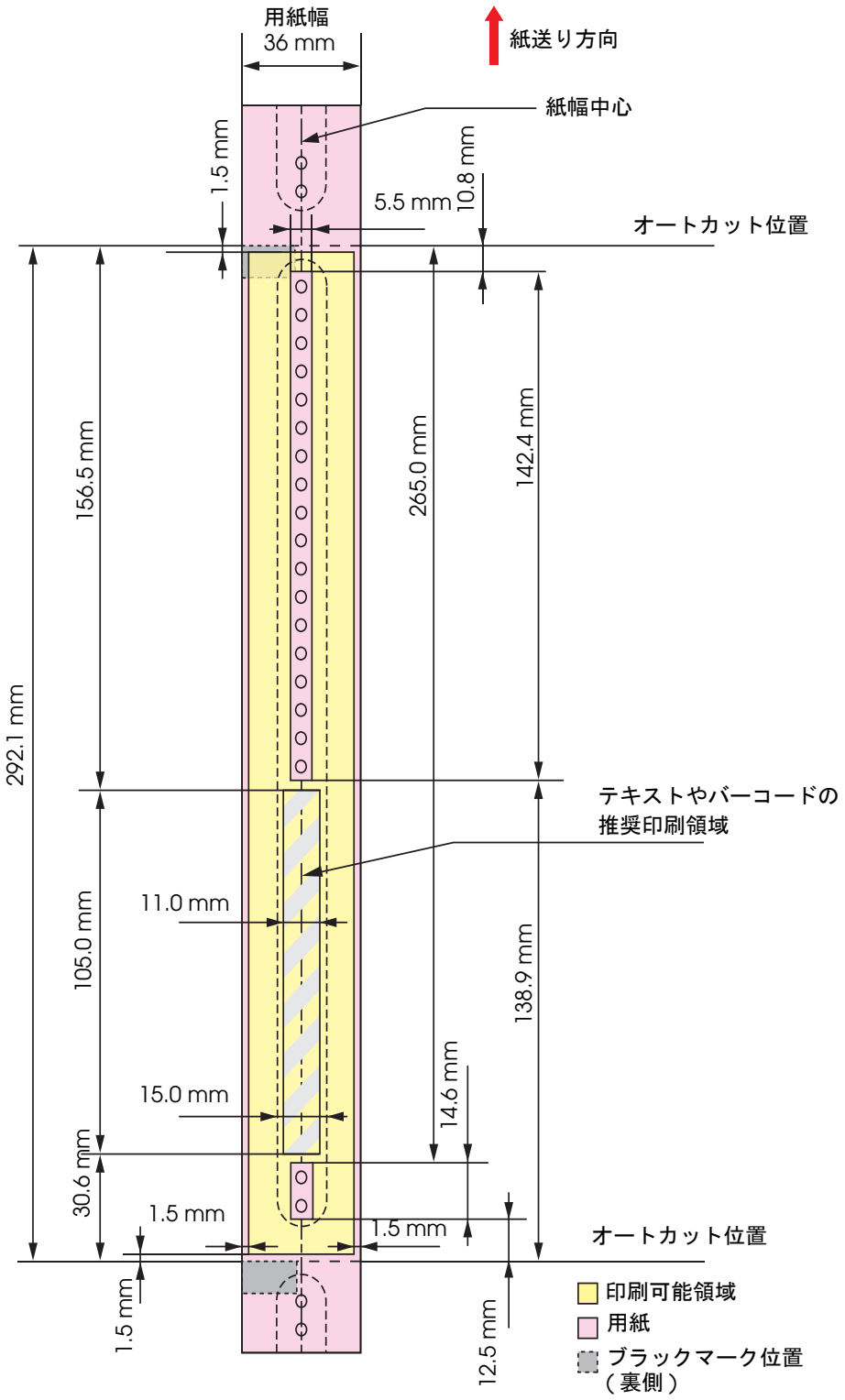
注意

- スナップ取り付け用の穴の上と、穴の近傍 2 mm は印刷しないでください。
- WB-S/M/L シリーズを使用する場合、アタッチメント（OT-WA34）を使用してください。
- 「印刷領域拡大」を有効に設定した場合、実印刷位置とラベルのセット位置によっては印刷がはみ出す可能性があります。印刷がはみ出ないようにするためには、印刷データ内に 1.5mm 以上の余白を確保してください。

リストバンド・ロール紙（WB-M シリーズ）

「印刷領域拡大」無効時

上下左右余白：1.5 mm（中心値）

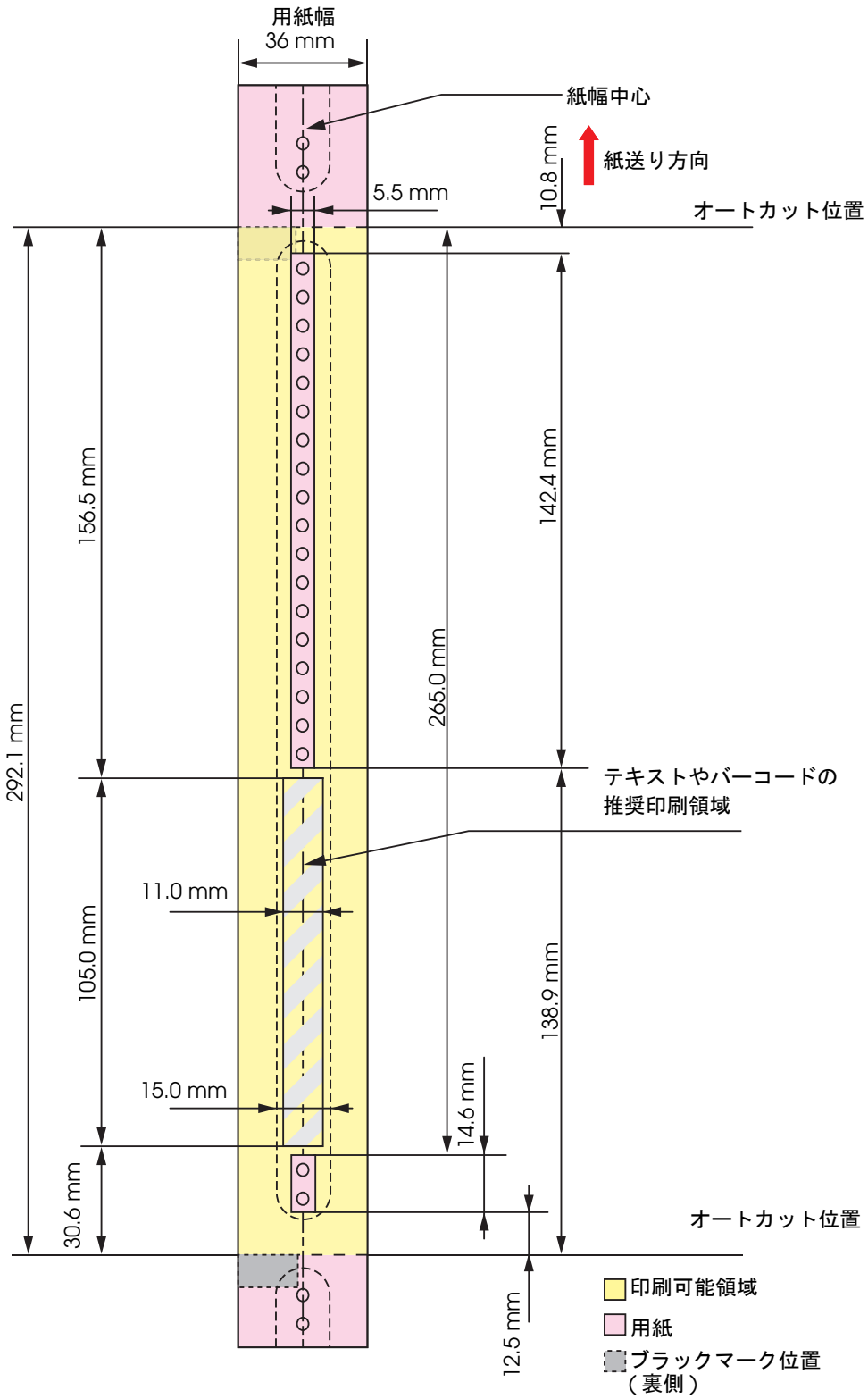


注意

- スナップ取り付け用の穴の上と、穴の近傍 2 mm は印刷しないでください。
- WB-S/M/L シリーズを使用する場合、アタッチメント（OT-WA34）を使用してください。

「印刷領域拡大」有効時

上下左右余白：0 mm（中心値）



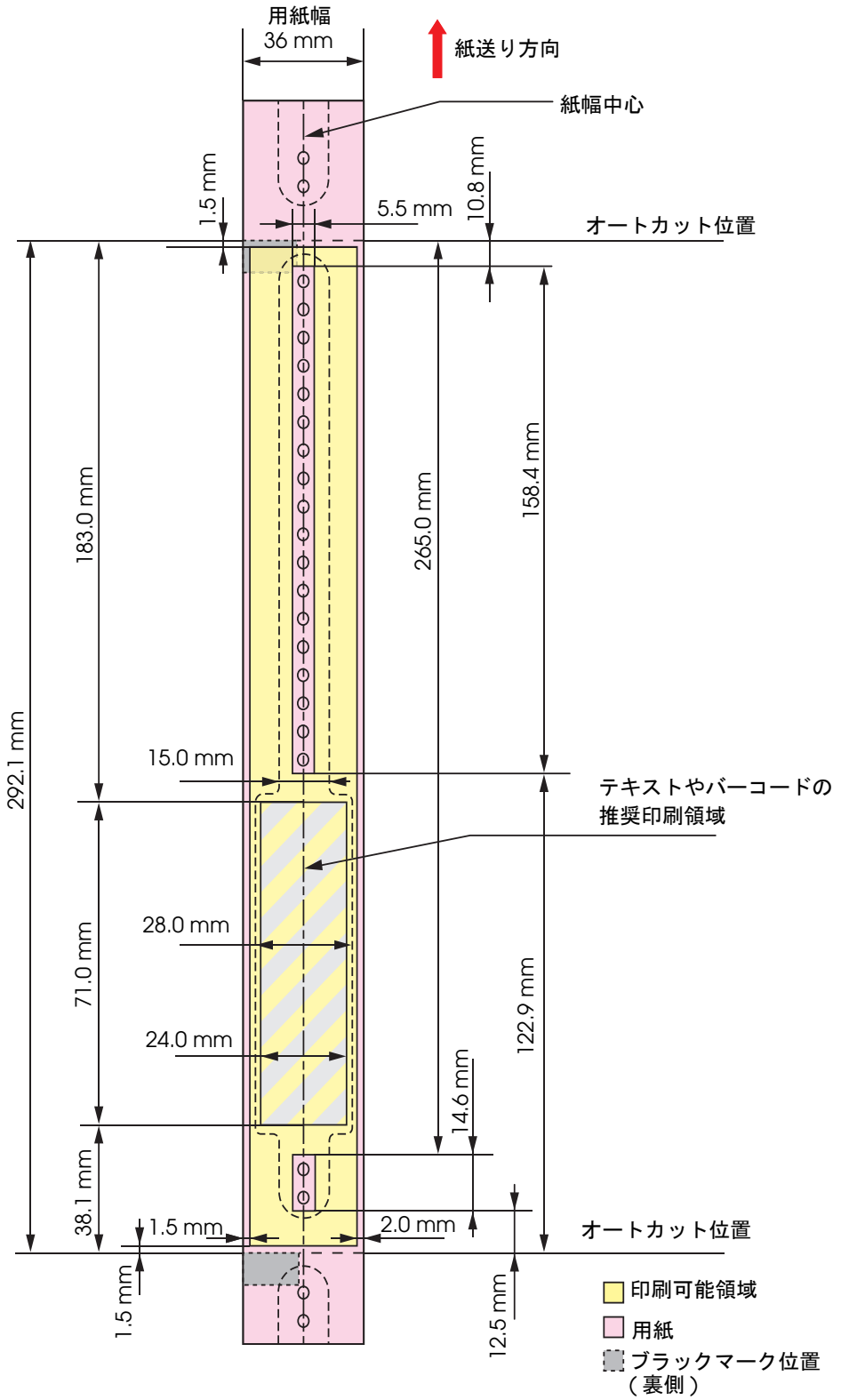
注意

- スナップ取り付け用の穴の上と、穴の近傍 2 mm は印刷しないでください。
- WB-S/M/L シリーズを使用する場合、アタッチメント（OT-WA34）を使用してください。
- 「印刷領域拡大」を有効に設定した場合、実印刷位置と用紙のセット位置によっては印刷がはみ出す可能性があります。印刷がはみ出ないようにするためには、印刷データ内に 1.5mm 以上の余白を確保してください。

リストバンド・ロール紙（WB-L シリーズ）

「印刷領域拡大」無効時

上下左右余白：1.5 mm（中心値）

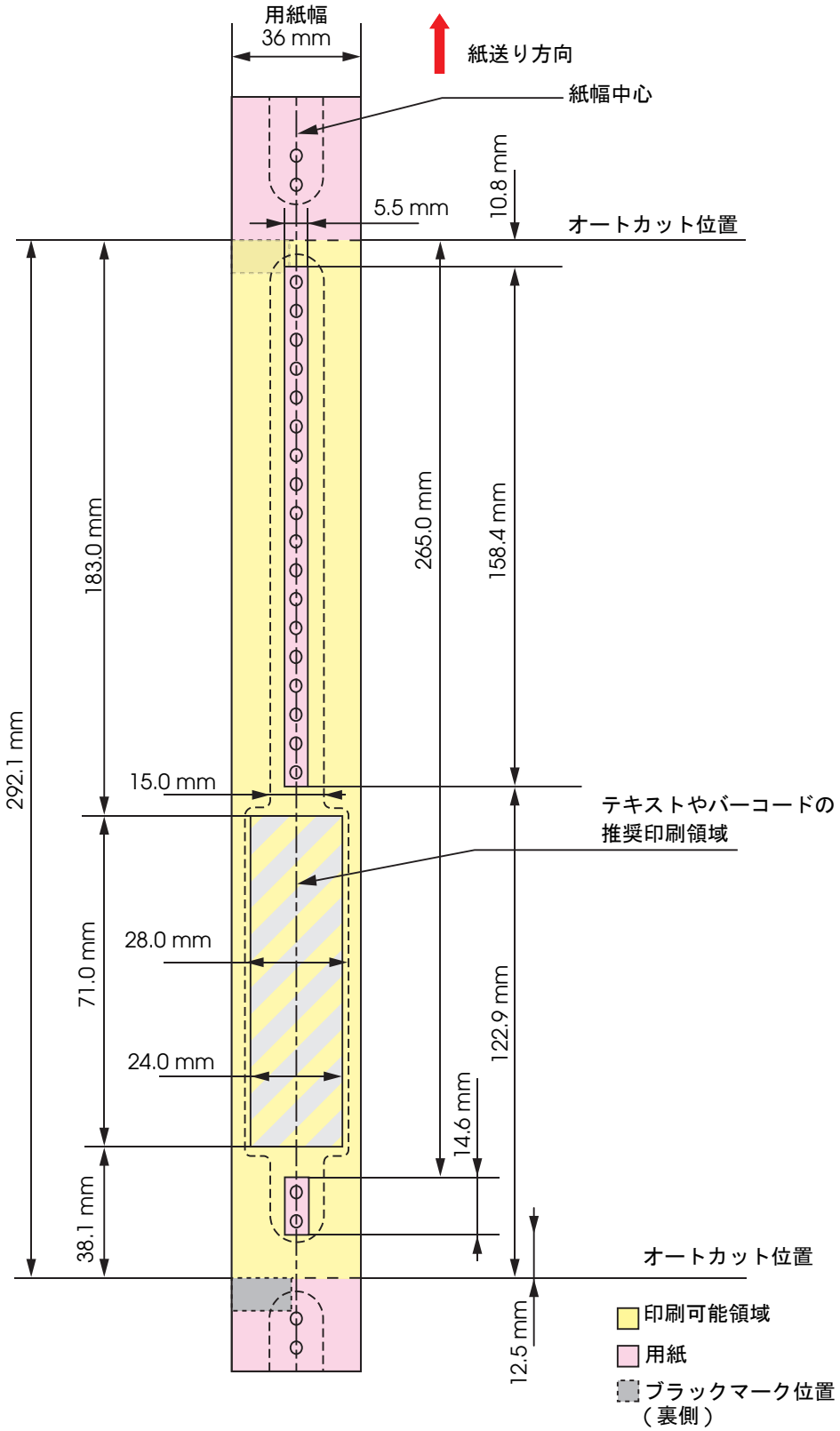


注意

- スナップ取り付け用の穴の上と、穴の近傍 2 mm は印刷しないでください。
- WB-S/M/L シリーズを使用する場合、アタッチメント（OT-WA34）を使用してください。

「印刷領域拡大」有効時

上下左右余白：0 mm（中心値）



注意

- スナップ取り付け用の穴の上と、穴の近傍 2 mm は印刷しないでください。
- WB-S/M/L シリーズを使用する場合、アタッチメント（OT-WA34）を使用してください。
- 「印刷領域拡大」を有効に設定した場合、実印刷位置と用紙のセット位置によっては印刷がはみ出す可能性があります。印刷がはみ出ないようにするためには、印刷データ内に 1.5mm 以上の余白を確保してください。

排紙トレイ

排紙トレイを取り付けると、印刷された用紙を排紙トレイに一時的にためておくことができます。

参考

排紙トレイの取り付けの詳細は、73 ページ「排紙トレイのセット」を参照してください。

ブラックマーク連続紙	用紙種類	普通紙、マット紙
	用紙形状	ファンフォールド紙
	最大用紙サイズ	幅 105 mm ×長さ 148 mm
	推奨最小用紙サイズ	幅 76 mm ×長さ 54 mm
	紙厚	0.124 ～ 0.128 mm
ダイカットラベル（BM 基準）	用紙種類	普通紙ラベル、マット紙ラベル、光沢紙ラベル
	用紙形状	ファンフォールド紙
	最大用紙サイズ	幅 105 mm ×長さ 148 mm
	推奨最小用紙サイズ	幅 76 mm ×長さ 54 mm
	紙厚	0.16 ～ 0.184 mm

注意

- ロール紙の場合、複数枚保持できません。
- 用紙や印刷の状態により，完全には用紙を保持できない場合があります。

インクカートリッジ

型番		SJIC22P(K)/ SJIC22P(C)/ SJIC22P(M)/ SJIC22P(Y)
形態		4 色インク別体型専用インクカート リッジ
インク色		ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー
インク種		顔料インク
有効期限		プリンター装着後 6ヶ月、使用期間を含め製造日から 2 年
保存温度	個体輸送時	-20 ～ 60 ℃ (60 ℃の場合、5 日以内)
	個装保存時	-20 ～ 40 ℃ (40 ℃の場合、1ヶ月以内)
	本体装着時	-20 ～ 40 ℃ (40 ℃の場合、1ヶ月以内)

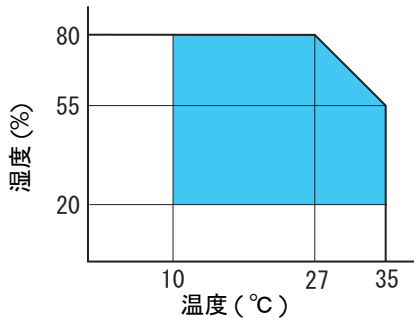
電気的仕様

電源供給		専用 AC アダプター
入力電圧 (定格)		AC 100 ～ 240V (同梱品の AC ケーブル使用時)
周波数 (定格)		50 Hz ～ 60 Hz
消費電力	動作時	平均 約 30W (ピーク時 50W)
	待機時	平均 約 2.5W
	電源 OFF 時	平均 約 0.3W

注意

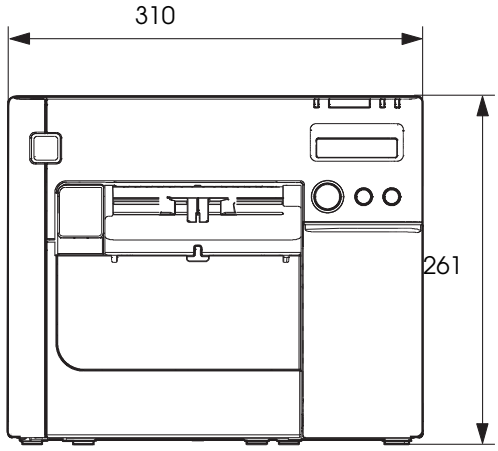
- 同梱されている専用 AC アダプターを使用してください。
- Ethernet ケーブルには、カテゴリー5 以上のシールドされているケーブルを使用してください。

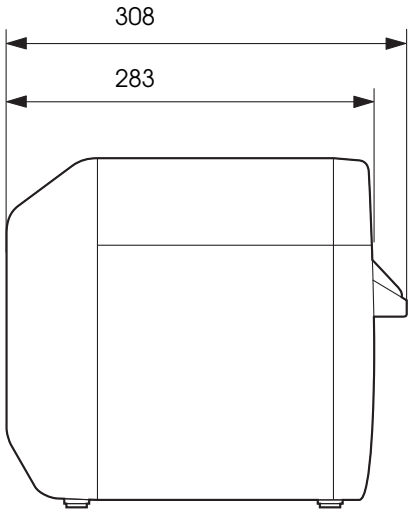
環境仕様

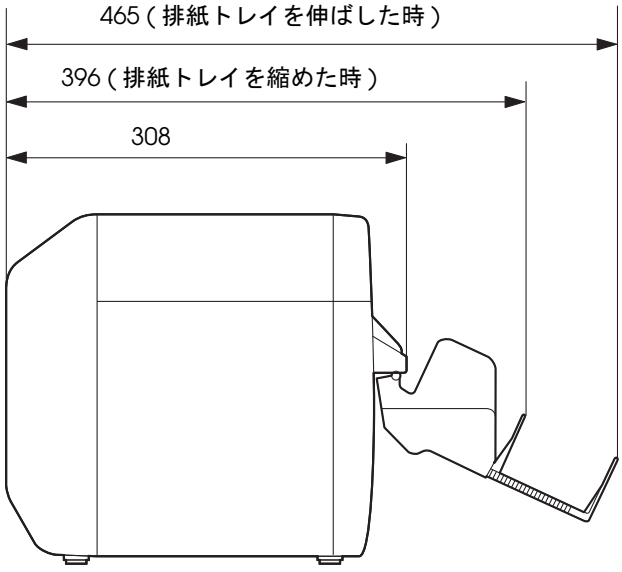
項目		仕様
温度 /湿度	印刷時	10 ～ 35°C、20 ～ 80%RH 非結露 
	バーコード印刷時	15 ～ 35°C、20 ～ 80%RH 非結露
	保管時	出荷梱包状態 (インク非充てん) : -20 ～ 60°C、5 ～ 85%RH 非結露 -20°C または 60°C の場合 120 時間以内 インク充てん状態 : -20 ～ 40°C -20°C の場合 120 時間以内 0 ～ 30°C の場合 6 ヶ月以内 40°C の場合 1 ヶ月以内
気圧 (標高)	使用時	850 ～ 1060 hPa (標高 0 ～ 1500 m 相当)
	非使用時 (輸送を含む)	850 ～ 1060 hPa (標高 0 ～ 1500 m 相当)
騒音	動作時 (オート カット 動作を含む)	約 56 dB (ANSI Bystander position) 弊社評価条件によります。

外形寸法

- 高さ： 261 mm
- 幅： 310 mm
- 奥行き： 283 mm







(単位 : mm)

制限事項

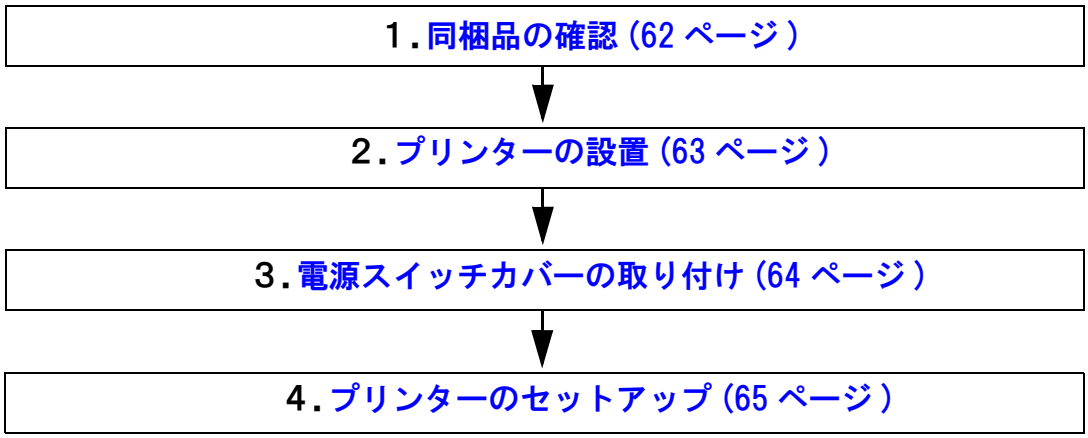
- ❏ 本体の電源ボタンで電源をオフにするとプリントヘッドは自動的にキャップ（ふた）をされ、インクの乾燥を防ぎます。インクカートリッジ取り付け後、本製品を使用しないときは、必ず本体の電源ボタンで電源をオフにしてください。電源がオンの状態のまま、電源プラグを抜いたり、ブレーカーを切ったりしないでください。
- ❏ アート紙等の表面撥水処理を施した用紙に印刷すると、インク速乾性が悪く印刷汚れを起こす場合があります。また、光沢紙に印刷した場合は、印刷面に触れると指の跡が付いたりインクが指に付着することがあります。印刷汚れを起こさない用紙を選定して、ご使用ください。

セットアップ

本章では、製品を使用する前に必要な、製品および周辺機器の設置・設定作業について説明しています。

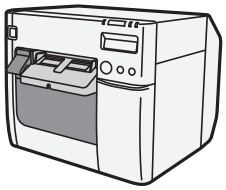
作業フロー

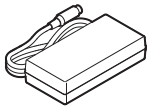
本章は、本製品および周辺機器のセットアップの流れに沿って、次のような構成となっています。



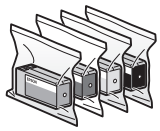
同梱品の確認

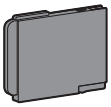
初めて使用する場合、同梱品を確認します。
同梱品は以下のとおりです。


A

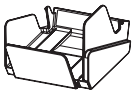

B

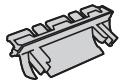
C


D

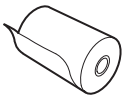

E

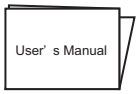
F


G


H

I


J



K

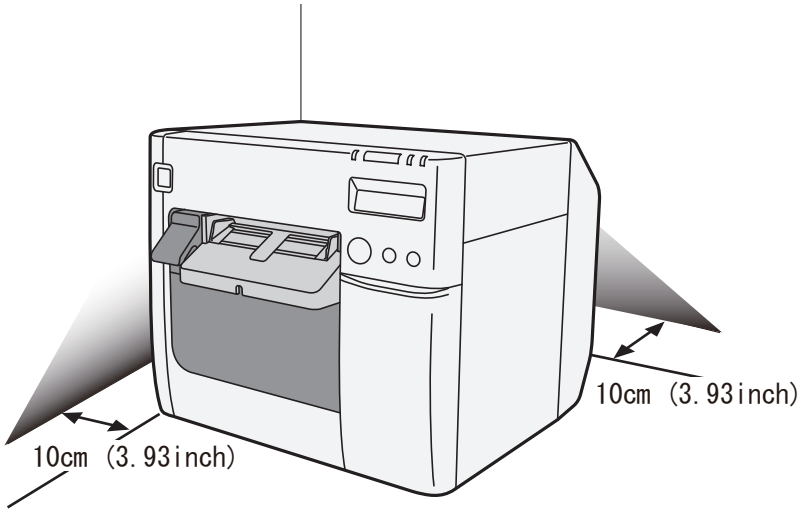
A	TM-C3500 本体	B	専用 AC アダプター	C	AC ケーブル*1	D	インクカートリッジ
E	メンテナンスボックス	F	USB ケーブル	G	排紙トレイ	H	紙送りガイド *2
I	スイッチカバー	J	同梱ラベルロール紙	K	ユーザーマニュアル		

*1 仕様によっては同梱されない場合があります。
*2 ファンフォールド紙カバー裏に取り付けられています。

プリンターの設置

設置に適した場所に十分なスペースを確保して設置します。

設置上の注意



- プリンターは水平に設置してください。
- プリンター正面に、インクカートリッジカバーとロール紙カバーを開ける十分なスペースを確保してください。
- ホコリや塵の多い場所には設置しないでください。
- 操作時に強い衝撃をプリンターに与えないでください。印字不良を起こす可能性があります。
- プリンター底面に、コードや異物などを挟み込まないでください。
- プリンターは背面から 100 mm 空けて設置してください。
- プリンターの上に重いもの (10 kg 以上) や、振動するものを載せないでください。

電源スイッチカバーの取り付け

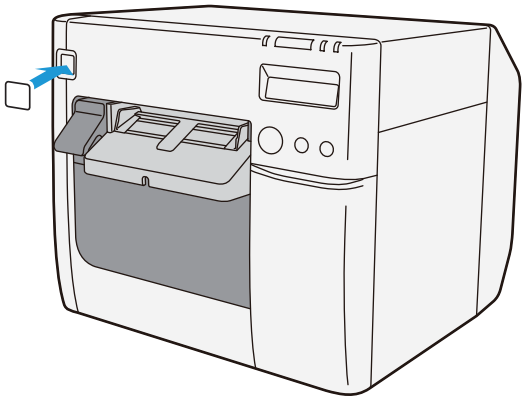
電源スイッチカバーを取り付けると、電源スイッチの誤操作を防止できます。

> **注意**
> 電源スイッチカバーを取り付ける場合、ディップスイッチ 1 の設定をオンにしてください。（詳細は、75 ページ「ディップスイッチの設定」を参照してください。）AC 入力で電源のオン / オフを行えるようになり、分電盤などで電源を制御できます。その場合、電源スイッチはリセット機能になります。

電源スイッチを操作させない場合

電源スイッチカバーをそのまま取り付けます。

1. ディップスイッチ 1 を ON してください。
2. プリンターの電源スイッチの上から、電源スイッチカバーを押し込みます。

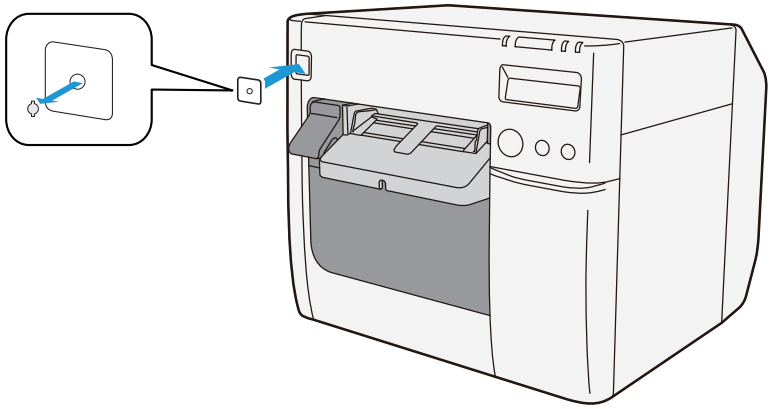


先の細いものを差し込んで、電源スイッチを操作する場合

電源スイッチカバーの穴を抜いてから取り付けます。

> **注意**
> 電源スイッチカバーをプリンターに取り付けてから、穴を開けることはできません。

1. 電源スイッチカバーの真ん中を、先の細い硬いもので突いて穴を開けます。
2. プリンターの電源スイッチの上から、電源スイッチカバーを押し込みます。



プリンターのセットアップ

Install Navi を使用して、プリンターをセットアップします。Install Navi は同梱 CD-ROM に入っています。

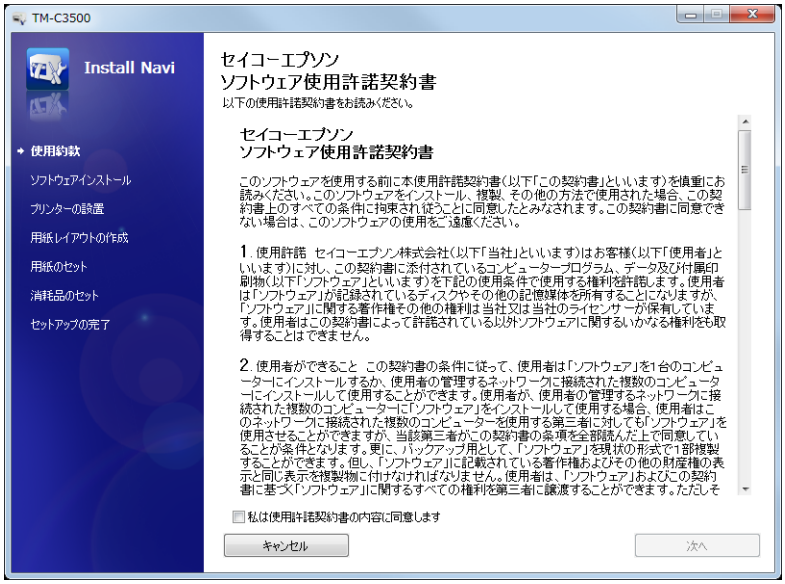
1 プリンターを接続するコンピューターの電源を ON します。

2 プリンターの電源が OFF になっていることを確認します。

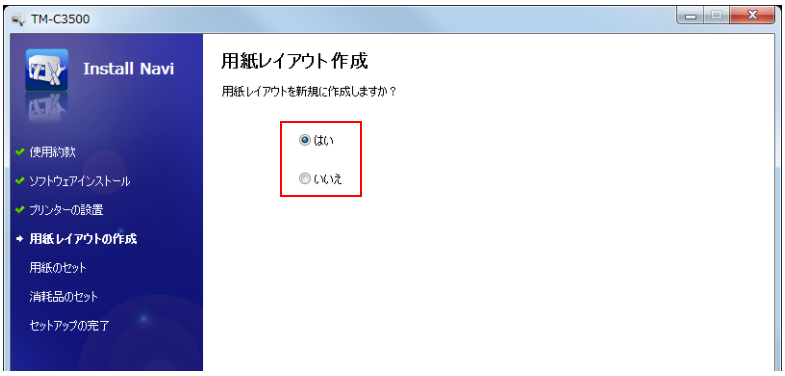
> **注意**
> プリンターの電源は、必ず OFF にしておいてください。

3 CD-ROM をコンピューターにセットすると Luncher が自動起動します。
[セットアップ] をクリックし、InstallNavi.exe を起動します。

4 Install Navi を実行すると、以下の画面が表示されます。使用許諾に同意し、[次へ] をクリックすると、ソフトウェアのインストールが開始されます。
画面の指示に従ってプリンターをセットアップします。



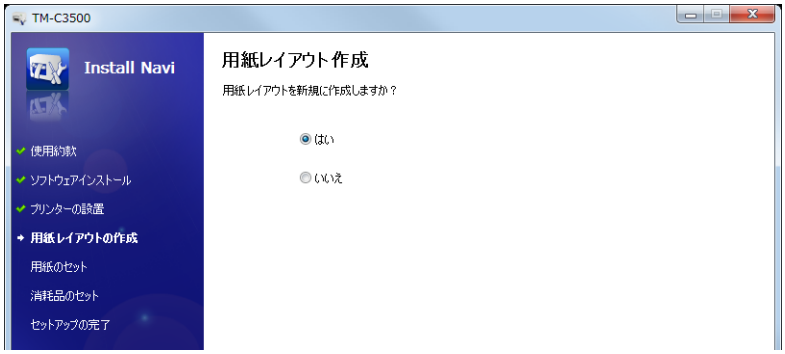
5 セットアップを進めると、〝用紙レイアウト作成〟画面が表示されます。
〝用紙レイアウト作成〟画面が表示された際に、同梱のロール紙を使用しない場合、用紙レイアウトを新規に作成する必要があります。用紙レイアウトを新規に作成する手順は、用紙レイアウト作成（67 ページ）を参照してください。
同梱のロール紙を使用する場合は、[いいえ] を選択します。



6 手順に沿ってプリンターをセットアップし、テスト印刷が成功すれば終了です。

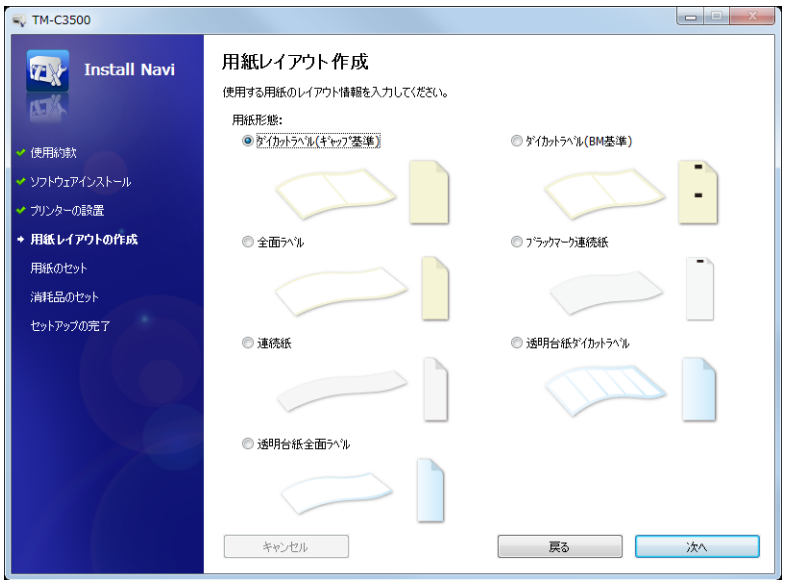
用紙レイアウト作成

1 ″用紙レイアウト作成″画面で、[はい] を選択します。[次へ] をクリックします。

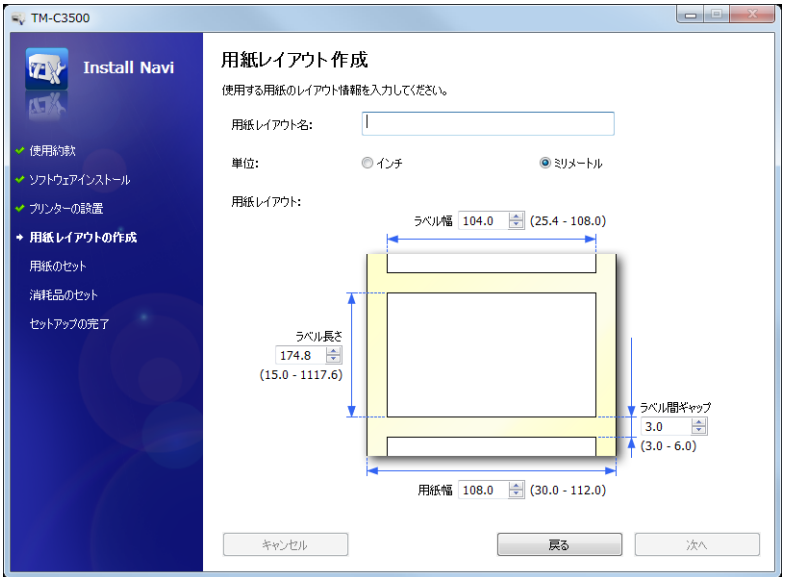


2 次の画面が表示されます。[ロール紙]/[ファンフォールド紙] のどちらかを選択し、[次へ] をクリックします。

3 次の画面が表示されます。使用する用紙を選択し、[次へ] をクリックします。
ファンフォールド紙を選択した場合、[ダイカットラベル (BM 基準)] と [ブラックマーク連続紙] のみ選択できます。

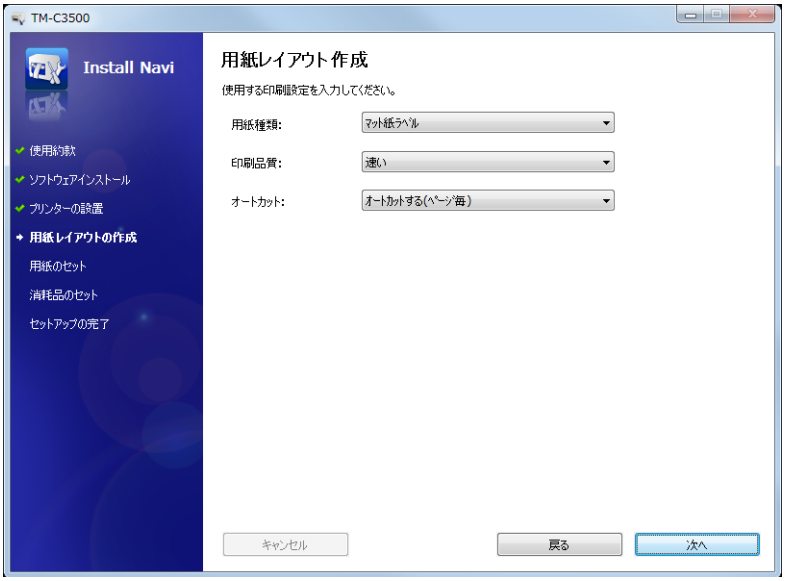


4 次の画面が表示されます。各項目を入力し、[次へ] をクリックします。



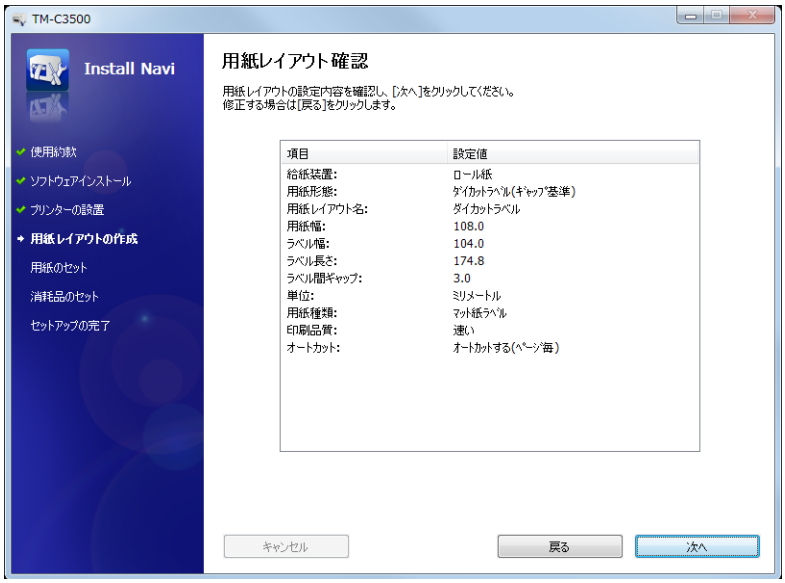
項目	説明
用紙レ イアウト 名	任意の名前を入力し ます。
単位	単位を選択し ます。
用紙レ イアウト	使用する用紙の幅や高さを入力し ます。 手順 3 で選択し た用紙の種類によって、入力する内容が変わり ます。

5 次の画面が表示されます。各項目を入力し、[次へ] をクリックします。

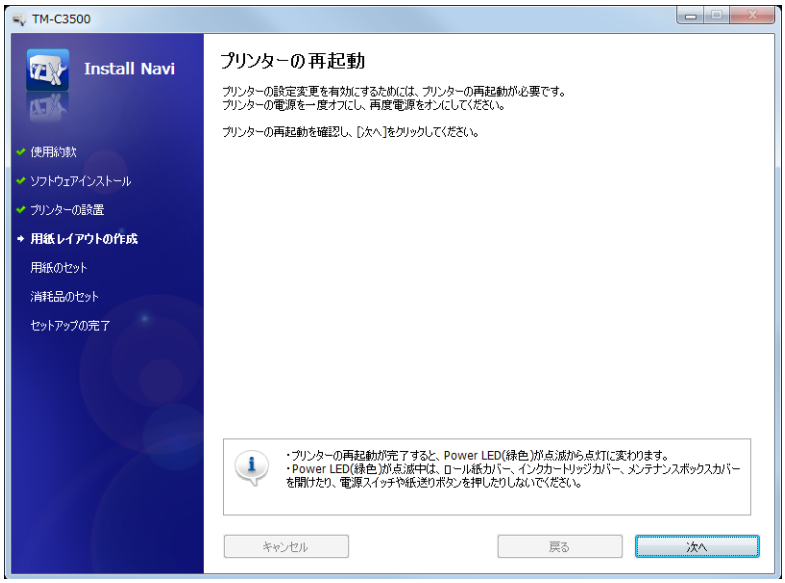


項目	説明
用紙種類	用紙の種類を選択し ます。
印刷品質	印刷品質を選択し ます。
オート カット	オート カット の有無を選択し ます。

6 ″用紙レイアウト確認″画面が表示されます。新規に設定した用紙レイアウトの内容が表示されます。内容を確認し、[次へ] をクリックします。

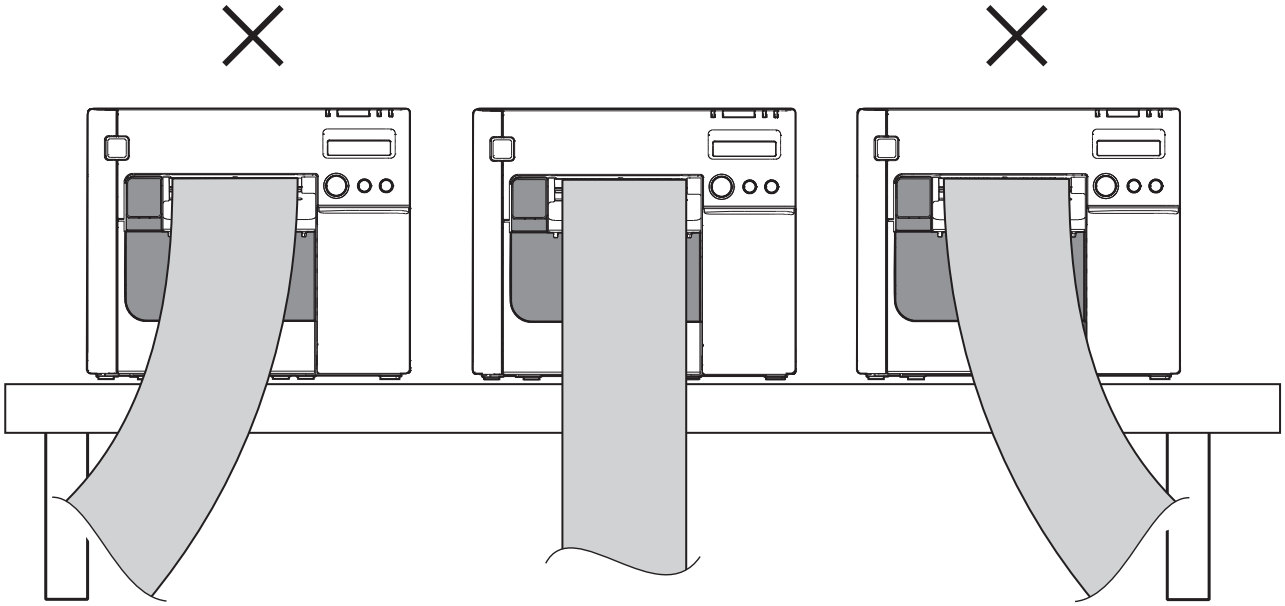


7 ″プリンターの再起動″画面が表示されます。設定を有効にするためプリンターを再起動します。



用紙の排出経路

印刷時は、下図のように排紙ガイドに沿ってまっすぐに紙を排出させてください。
障害物などにより、紙がまっすぐに排出されていない場合、印刷が乱れる可能性があります。



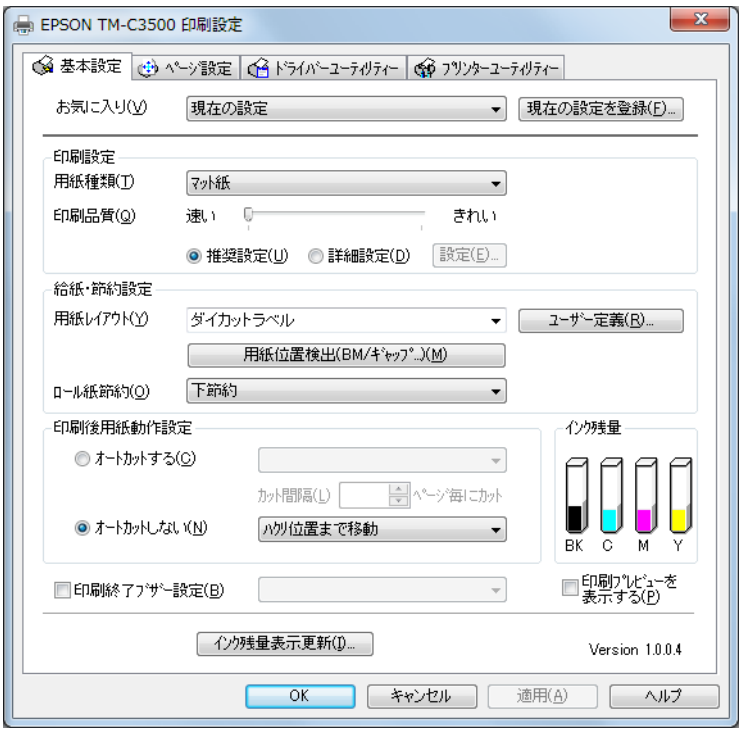
プリンタードライバーの表示方法

1 [デバイスとプリンター] を開きます。

- Windows 8の場合：
  デスクトップのサイドバー [**設定**] から [**コントロールパネル**] を選択します。[**ハードウェアとサウンド**] をクリックし、[**デバイスとプリンター**] をクリックします。
- Windows 7 の場合：
  [**スタート**] メニューの [**コントロールパネル**] で [**デバイスとプリンターの表示**] をクリックします。
- Windows Vista の場合：
  [**スタート**] メニューの [**コントロールパネル**] で [**プリンタ**] をクリックします。
- Windows XP Professional の場合：
  [**スタート**] メニューの [**プリンタと FAX**] をクリックします。
- Windows XP Home Edition の場合：
  [**スタート**] メニューの [**コントロールパネル**] をクリックし、[**プリンタと FAX**] をクリックします。
- Windows Server 2003 R2 の場合：
  [**スタート**] メニューの [**プリンタと FAX**] をクリックします。

2 [EPSON TM-C3500] を右クリックし、[**印刷設定**] をクリックします。
プリンタードライバーが表示されます。

> **参考**　プリンターの登録名が [EPSON TM-C3500] の場合の表示です。



用紙レイアウトの登録

[用紙レイアウト] に使用する用紙サイズが登録されていない場合、ユーザー定義用紙を登録します。

登録したレイアウトは、「お気に入り」に登録して、お客様のアプリケーションから使用できます。(お気に入りの登録方法は 104 ページ「お気に入り」を参照)

1 プリンタードライバーを表示させます。(プリンタードライバーの表示方法は、71 ページ「プリンタードライバーの表示方法」参照)

2 [給紙・節約設定] の [ユーザー定義] をクリックします。〝ユーザー定義用紙レイアウト〟画面が表示されます。

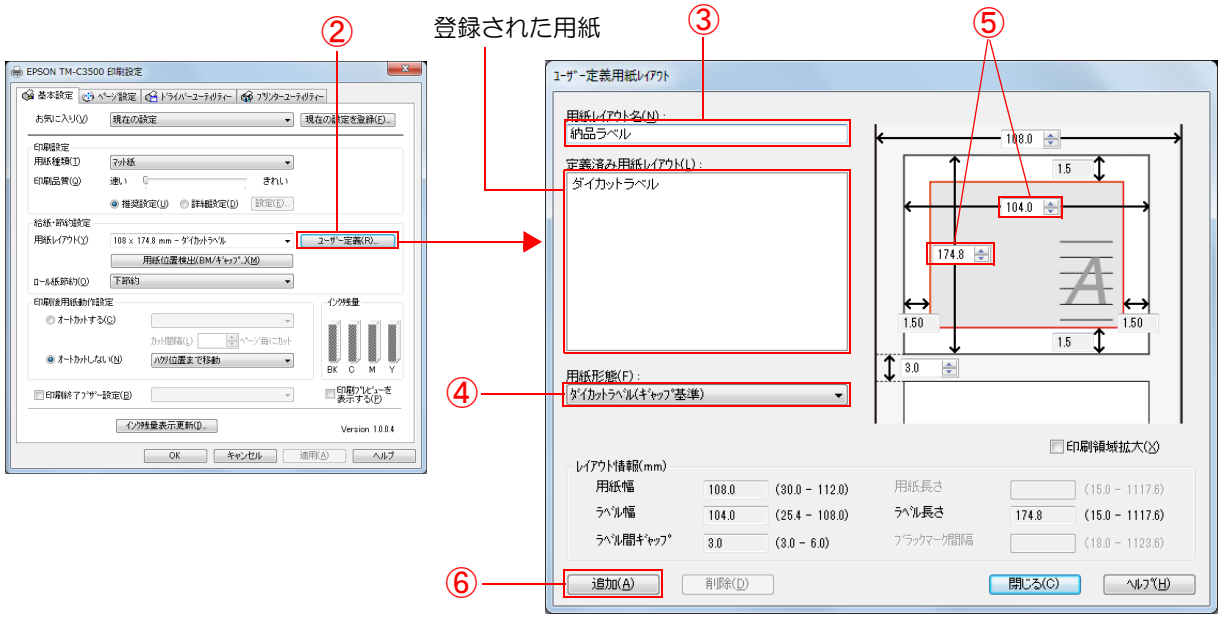
3 [用紙レイアウト名] を入力します。これがユーザー定義用紙名になります。
既に定義済み用紙レイアウトがある場合、定義済み用紙レイアウトをベースに新規作成することができます。

4 [用紙形態] を選択します。

5 用紙のサイズ (単位 :mm) を入力します。

> **参考**
> 印刷領域を拡大したい場合、[印刷領域拡大] をチェックするとマージンを無しにできます。マージンがゼロになると、印刷が用紙・ラベルからはみ出す可能性があります。用途に応じて使用してください。

6 [追加] をクリックします。ユーザー定義用紙が登録され、[定義済み用紙レイアウト] リストに表示されます。



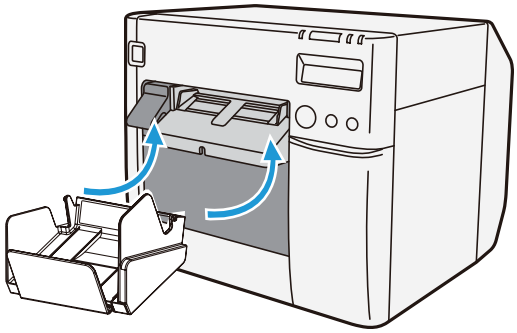
排紙トレイのセット

排紙トレイを取り付けると、印刷された用紙を排紙トレイに一時的にためておくことができます。
排紙トレイを使用する場合、以下の手順に従って排紙トレイの取り付け / 調整してください。

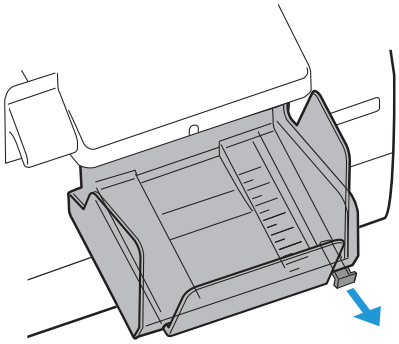
注意

- ファンフォールド紙を使用する場合、複数の用紙を排紙トレイにためておくことができます。排紙トレイへの排紙可能枚数は、55 ページ「排紙トレイ」を参照してください。
- 排紙トレイはロール紙を複数枚保持することはできません。

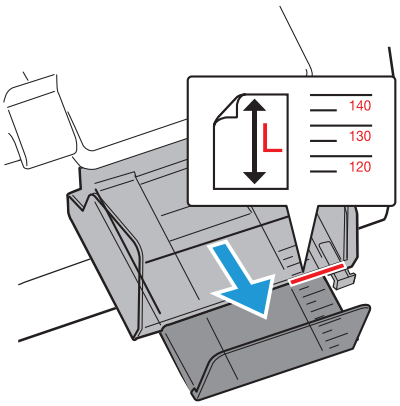
1 排紙テーブル下側のフックに、排紙トレイを取り付けます。



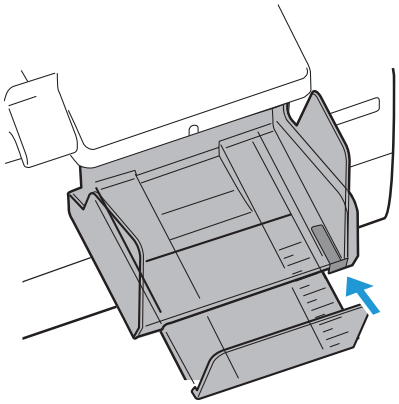
2 排紙トレイ右下のリリースレバーを引き下げて、ロックを解除します。



3 排紙トレイの手前側を引き出し、用紙の長さに合わせます。



4 排紙トレイ右下のリリースレバーを引き上げて、ロックします。



ディップスイッチの設定

以下の場合にディップスイッチを設定します。

- 電源スイッチカバーを取り付けて、電源スイッチを操作させないとき
- LCD の表示言語を変更するとき
- ブザーの音量を変更するとき

設定手順

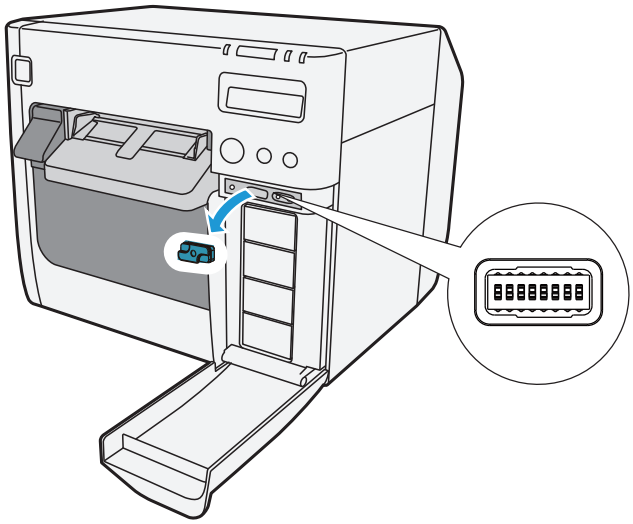
ディップスイッチの設定方法は、以下のとおりです。

> **注意**　ディップスイッチのフタを外すときは、プリンターの電源を OFF してください。
> 電源をオンにした状態で外した場合、ショートしてプリンターが故障するおそれがあります。

> **注意**　ディップスイッチの設定は、電源投入時およびインタフェースによるリセット後に有効になります。

1 プリンターの電源が OFF であることを確認します。

2 インクカートリッジカバーを開き、ディップスイッチのカバーを外します。



3 先の細いものを使って、ディップスイッチの設定をします。

4 ディップスイッチのフタを取り付け、インクカートリッジカバーを閉じます。

ディップスイッチの機能

SW	機能	ON	OFF	工場出荷時の設定
1	電源スイッチの動作	リセット	電源 ON/OFF	OFF
2	内部使用	OFF 固定（変更しないでください。）		OFF
4	内部使用	OFF 固定（変更しないでください。）		OFF
5	LCD の表示言語設定	下記表を参照		OFF
6				OFF
7				OFF
8	ブザー音量	大	小	OFF

注意 電源スイッチカバーを取り付けて電源スイッチを操作しない場合、ディップスイッチ 1 を ON してください。

LCD の表示言語設定

スイッチ番号			言語設定
5	6	7	
OFF	OFF	OFF	日本語（カナ）
OFF	OFF	ON	English
OFF	ON	OFF	French
OFF	ON	ON	Italian
ON	OFF	OFF	German
ON	OFF	ON	Spanish
ON	ON	OFF	Portuguese
ON	ON	ON	Dutch

プリンタードライバーの設定

プリンタードライバーでは、印刷設定のほかに、プリンターの設定や各種ユーティリティーの機能も利用できます。

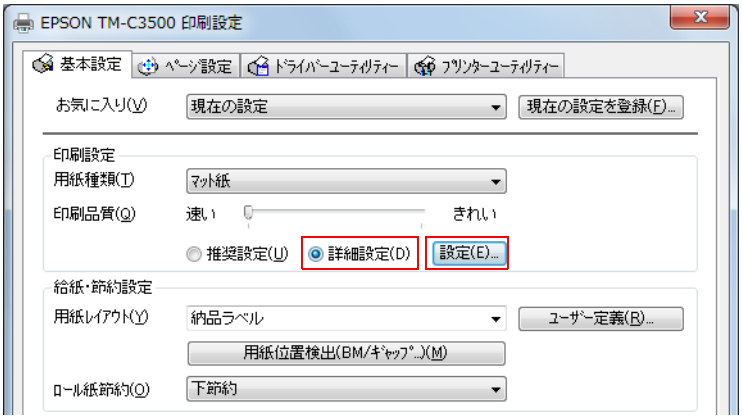
- バンディング低減
- TM-C3500 PrinterSetting
- EPSON プリンタウィンドウ !3 の設定

バンディング低減

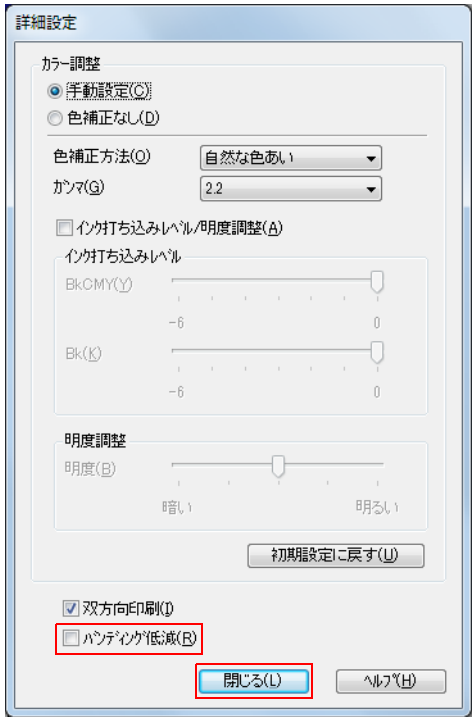
バンディング（印刷物の筋）を低減して、印刷結果をきれいにすることができます。ただし、印刷速度は低下します。以下の手順でバンディングを低減します。

1 プリンタードライバーを表示させます。(プリンタードライバーの表示方法は、71 ページ「プリンタードライバーの表示方法」参照）

2 ″基本設定″画面で、[印刷設定] の [詳細設定] を選択します。選択後、[プリンターの設定] をクリックします。



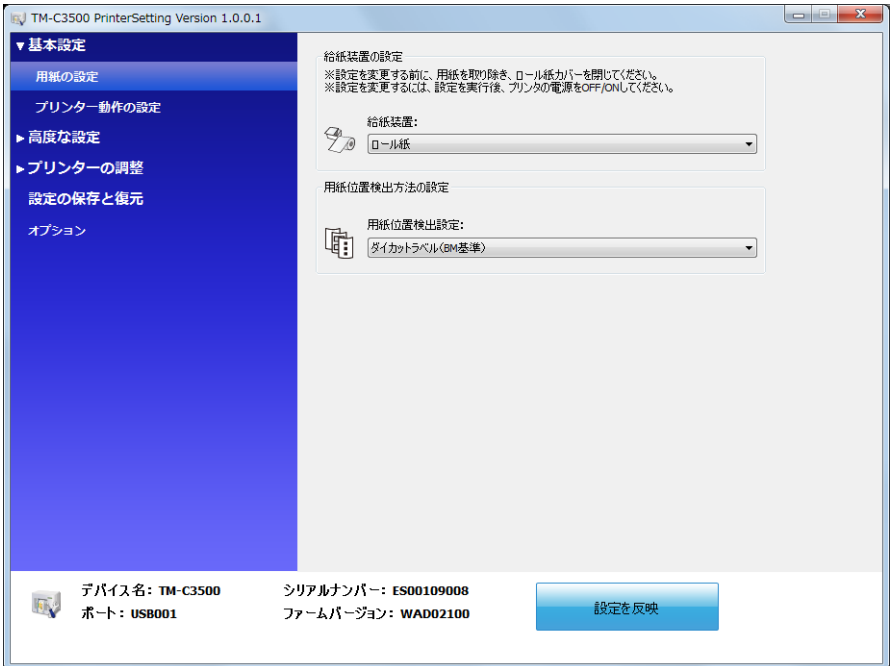
3 ″詳細設定″画面が表示されます。[バンディング低減]をチェックし、[閉じる]をクリックします。



4 ″基本設定″画面に戻ります。[OK] をクリックします。

TM-C3500 PrinterSetting

TM-C3500 PrinterSetting はプリンターの各種設定を変更するために使用します。



TM-C3500 PrinterSetting は以下のプリンターの設定を変更することができます。

項目		説明
基本設定	用紙の設定	• 給紙装置の設定 • 用紙位置検出方法の設定
	プリンター動作の設定	• 印刷動作モードの設定 • 用紙頭出し動作の設定
高度な設定	通知設定	• エラー発生時のブザー通知設定 • インク残量少 LED 通知設定 • 用紙違い通知設定
	パネルボタンの設定	• パネルボタンの設定
	動作時間の設定	• プラテン吸引動作給紙時間の設定 • データ待ち時間の設定
プリンターの調整	紙送りの調整	• 紙送りの調整
	センサーの調整	• ラベル間ギャップ検出センサーの調整 • ブラックマーク検出センサーの調整
	プリント ヘッドの調整	• 紙送りのずれの調整 • 双方向印刷のずれの調整
設定の保存と復元		• 設定の保存と復元
オプション		• 給紙装置設定オプション

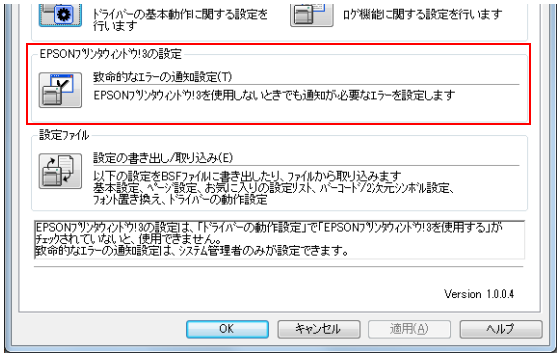
EPSON プリンタウィンドウ !3 の設定

EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用すると、印刷したときに用紙種類やインク残量をポップアップウィンドウで表示します。また、致命的なエラーが発生したときには、エラー画面を表示します。

初期設定では「使用しない」に設定されています。それでも致命的なエラーが発生したときには、エラー画面を表示させることができます。

EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用する / 使用しない

初期設定では、「EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用しない」になっています。この場合、ドライバーユーティリティーの EPSON プリンタウィンドウ !3 の設定には、「致命的なエラーの通知設定」が表示されています。



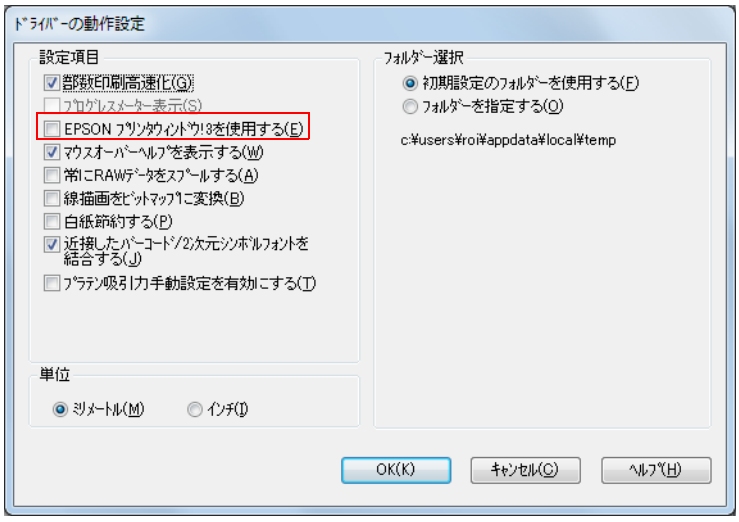
「EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用する」にする方法は以下のとおりです。

1 プリンターの電源を ON します。

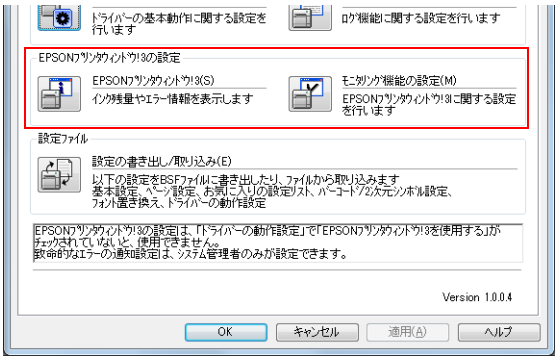
2 プリンタードライバーを表示します。
(プリンタードライバーの表示方法は、104 ページ「プリンタードライバーの設定」を参照してください)

3 [ドライバーユーティリティー] タブを選択し、[ドライバー動作設定] の [ドライバーの動作設定] をクリックします。

4 「ドライバーの動作設定」画面が表示されます。[EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用する] にチェックし、[OK] をクリックします。



5 ドライバーユーティリティー画面の「EPSON プリンタウィンドウ !3 の設定」には、「EPSON プリンタウィンドウ !3」と「モニタリング機能の設定」が表示されます。

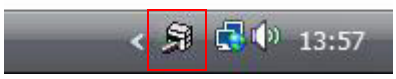


EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用する

「EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用する」に設定すると以下の動作をします。

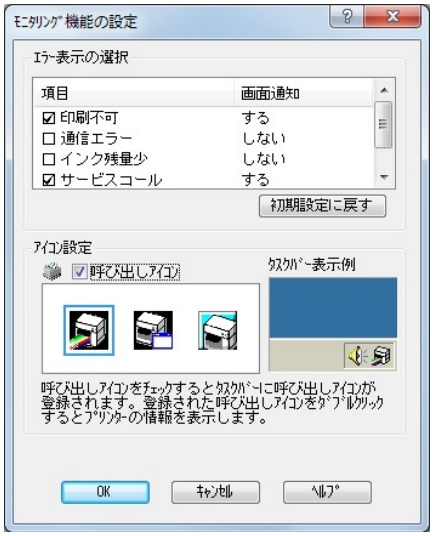
- 印刷時に自動的に画面が表示され、プリンターの状態やインク残量を確認することができます。
- 印刷中のプリンターにエラーが発生すると、エラー内容が表示されます。
  印刷していないときは、プリンターがエラーになっても、EPSON プリンタウィンドウ !3 は起動しません。
- タスクトレイの「EPSON プリンタウィンドウ !3」のアイコンをクリックすると、いつでも「EPSON プリンタウィンドウ !3」を表示させることができます。
  （アイコンの表示方法は、84 ページ「アイコンの表示」を参照してください）

EPSON プリンタウィンドウ !3 表示画面



タスクトレイのアイコン

- 「モニタリング機能の設定」では、以下の設定ができます。
  エラー表示の選択
  （82 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用しない場合のエラー通知設定」を参照してください）
  「EPSON プリンタウィンドウ !3」アイコンを、タスクバーに表示させる。
  （84 ページ「アイコンの表示」を参照してください）



EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用しない場合のエラー通知設定

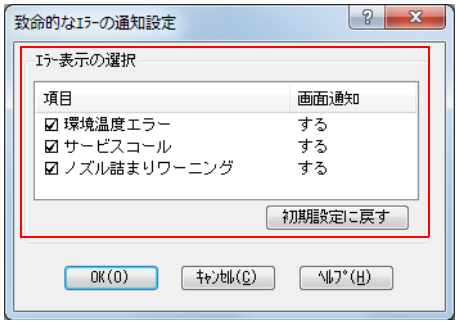
EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用しない場合の、エラー通知方法は以下のとおりです。

1 プリンターの電源を ON します。

2 プリンタードライバーを表示します。
（プリンタードライバーの表示方法は、104 ページ「プリンタードライバーの設定」を参照してください）

3 [ドライバーユーティリティー] タブを選択し、[致命的なエラーの通知設定] をクリックします。
EPSON プリンタウィンドウ !3 が有効の場合、[致命的なエラーの通知設定] は表示されません。（80 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用する / 使用しない」を参照して、EPSON プリンタウィンドウ !3 を無効にしてください。）

4 「致命的なエラーの通知設定」画面が表示されます。エラー発生時に表示させたい項目をチェックし、[OK] をクリックします。



- 環境温度エラー：　プリンター温度上昇時（初期設定：画面通知 [する]）
- サービスコール：　印刷不可やサービスコール発生時（初期設定：画面通知 [する]）
- ノズル詰まりワーニング：　ノズルが詰まり時（初期設定：画面通知 [する]）

EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用する場合のエラー通知設定

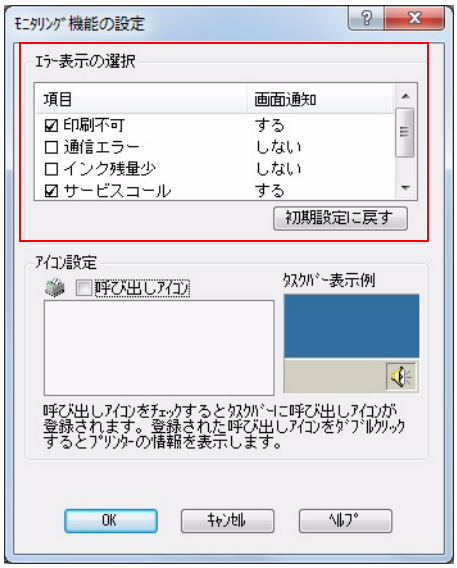
EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用する場合の、エラー通知方法は以下のとおりです。

1 プリンターの電源を ON します。

2 プリンタードライバーを表示します。
（プリンタードライバーの表示方法は、104 ページ「プリンタードライバーの設定」を参照してください）

3 [ドライバーユーティリティー] タブを選択し、[モニタリング機能の設定] をクリックします。
EPSON プリンタウィンドウ !3 が無効の場合、[モニタリング機能の設定] は表示されません。（80 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用する / 使用しない」を参照して、EPSON プリンタウィンドウ !3 を有効にしてください。）

4 ″モニタリング機能の設定″画面が表示されます。エラー発生時に表示させたい項目をチェックし、[OK] をクリックします。



- 印刷不可：　用紙 / インク交換発生時（初期設定：画面通知 [する]）
- 通信エラー：　プリンターの電源オフ時（初期設定：画面通知 [しない]）
- インク残量少：　インク残量少時（初期設定：画面通知 [しない]）
- サービスコール：　プリンターエラー発生時（初期設定：画面通知 [する]）

アイコンの表示

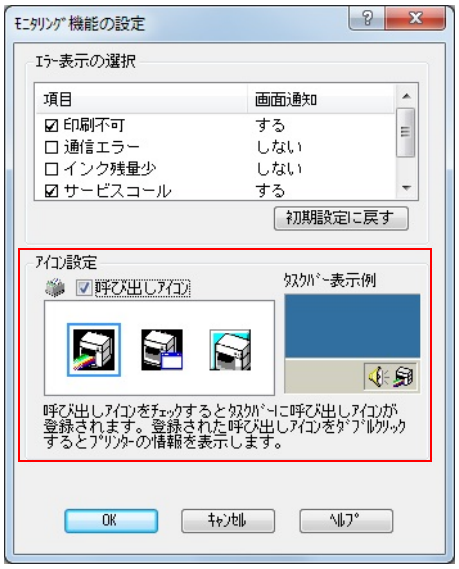
タスクトレイにアイコンを常駐させ、プリンターの状態をすぐに確認することができます。初期設定ではアイコンを表示しません。アイコンの表示方法は以下のとおりです。

1 プリンターの電源を ON します。

2 プリンタードライバーを表示します。
（プリンタードライバーの表示方法は、104 ページ「プリンタードライバーの設定」を参照してください）

3 [ドライバーユーティリティー] タブを選択し、[モニタリング機能の設定] をクリックします。

4 ″モニタリング機能の設定″画面が表示されます。[呼び出しアイコン] をチェックし、タスクバーに表示するアイコンの種類を選択します。[OK] をクリックします。



製品の取り扱い

本章では、製品の基本的な取り扱い方法について説明しています。

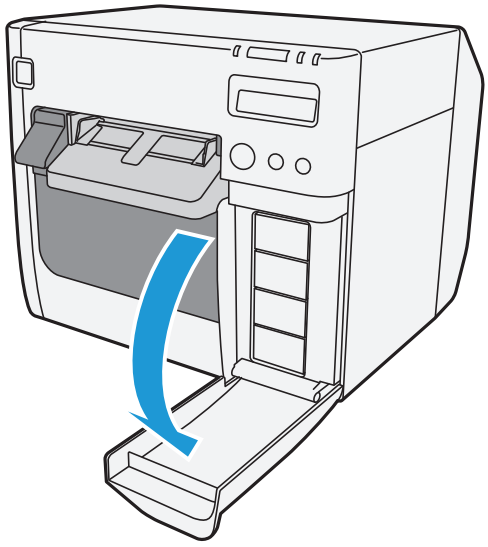
インクカートリッジの交換

インク LED が点灯したら、インクカートリッジの交換時期です。以下の手順に従って、インクカートリッジを交換してください。

1 プリンターの電源をONし、インクLEDが点灯していることを確認します。LCDの表示からどのインクカートリッジが該当するか確認します。

2 インクカートリッジカバーを開け、内部の動作が停止するまで 4 秒以上待ちます。

> **注意**　インクカートリッジカバーを開けてから 4 秒以内にインクを取り出してしまった場合、インクが漏れ出ることがあります。

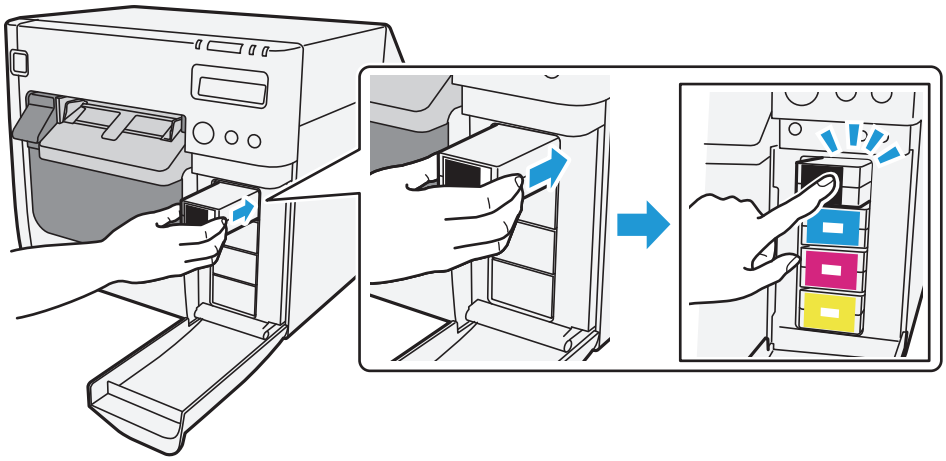


3 交換が必要なインクカートリッジをゆっくり押し、ロックを外します。ロックを解除後、インクカートリッジを手前に引き抜きます。

4 新しいインクカートリッジを３～４回振り、袋から取り出します。

> **参考**　インクカートリッジは強く振らないでください。強く振ったり振り回したり、側面を強く押したりすると、カートリッジからインクが漏れるおそれがあります。

5 ラベル添付面を上にして新しいインクカートリッジを差し込み、音がするまで静かにインクカートリッジを押し込みます。



6 インクカートリッジカバーを閉じます。

7 インクカートリッジの交換が終了すると、インク LED が消灯し、印刷が可能になります。

インクカートリッジ使用における注意事項

- ❏ インクカートリッジの IC チップには触らないでください。正常に動作・印刷できなくなるおそれがあります。
- ❏ 本製品のインクカートリッジは、IC チップでインク残量などの情報を管理しているため、使用途中に取り外しても再装着して使用できます。ただし、インクが残り少なくなったインクカートリッジを取り外すと、再装着しても使用できないことがあります。また、再装着の際は、プリンターの信頼性を確保するためにインクが消費されることがあります。
- ❏ インクカートリッジは、全色セットしてください。全色セットしないと印刷できません。
- ❏ 本製品はプリントヘッドの品質を維持するため、インクが完全になくなる前に動作を停止するように設計されており、使用済みインクカートリッジ内に多少のインクが残ります。
- ❏ プリントヘッドを良好な状態に保つため、印刷時以外にもインクカートリッジ交換時・ヘッドクリーニング時などのメンテナンス動作で全色のインクが消費されます。
- ❏ モノクロ画像を印刷した場合でも、印刷、およびプリントヘッドを良好な状態に保つための動作で全色のインクが使われます。
- ❏ 古くなったインクカートリッジを使用すると印刷品質が低下します。開封後は 6ヵ月以内に使い切ってください。未開封の推奨使用期限は、インクカートリッジの個装箱をご覧ください。
- ❏ 取り外したインクカートリッジはインク供給孔部にインクが付いていることがありますので、周囲を汚さないようにご注意ください。
- ❏ 交換時以外はインクカートリッジを取り外さないでください。
- ❏ インクカートリッジの袋は、本体に取り付ける直前まで開封しないでください。
- ❏ インクカートリッジホルダーに異物を入れたり落としたりしないでください。印刷できなくなるおそれがあります。落としてしまったときは、内部に傷をつけないように取り除いてください。
- ❏ 購入直後のインク初期充てんでは、プリントヘッドノズル（インクの吐出孔）の先端部分までインクを満たして印刷できる状態にするため、その分インクを消費します。そのため、初回は 2 回目以降に取り付けるインクカートリッジよりも印刷できる枚数が少なくなることがあります。

❏ 純正インクカートリッジのお勧め
プリンター性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のインクカートリッジを使用することをお勧めします。純正品以外のものをご使用になりますと、プリンター本体や印刷品質に悪影響が出るなど、プリンター本来の性能を発揮できない場合があります。純正品以外の品質や信頼性については保証できません。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。

❏ 本製品のプリンタードライバーは純正インクカートリッジを前提に色調整されています。純正品以外を使用すると、印刷品質が低下することがあります。インクカートリッジは純正品のご使用をお勧めします。

❏ インクカートリッジは、子どもの手の届かない場所に保管してください。

❏ インクカートリッジは冷暗所で保管することをお勧めします。

❏ インクカートリッジを寒い所に長時間保管していたときは、3 時間以上室温で放置してからお使いください。

❏ 本製品を保存、または輸送するときは、本製品からインクカートリッジを取り外さないでください。

❏ エプソンは使用済み純正インクカートリッジの回収活動を通じ、地球環境保全と教育助成活動を推進しています。より身近に活動に参加いただけるように、店頭回収ポストに加え、郵便局や学校での回収活動を推進しています。使用済みのエプソン純正インクカートリッジを、最寄りの「回収箱設置の郵便局」や「ベルマークのカートリッジ回収活動に参加している学校」にお持ちください。回収サービスの詳細は、エプソンのホームページをご覧ください。< http://www.epson.jp/recycle/ >

❏ 環境保全の一環として、使用済みインクカートリッジの回収ポストをエプソン製品取扱店に設置しています。回収されたインクカートリッジは、原材料に再生し、リサイクルしています。最寄りの回収ポスト設置店舗はエプソンのホームページでご案内しています。< http://www.epson.jp/ >

❏ インクカートリッジの廃棄
一般家庭でお使いの場合は、ポリ袋などに入れて、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。事業所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

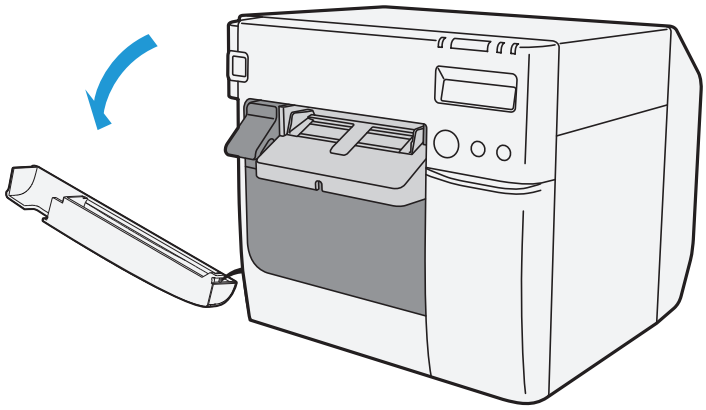
メンテナンスボックスの交換

注意	• メンテナンスボックスは分解しないでください。 • IC チップには触れないでください。 • 子供の手の届かないところに保管してください。また付着した液体は飲まないでください。 • 使用可能なメンテナンスボックスを取り外して長期放置を行った場合、再使用はしないでください。
参考	メンテナンスボックスの回収について 環境保全の一環として、使用済みメンテナンスボックスの回収ポストをエプソン製品取扱店に設置しています。回収されたメンテナンスボックスは、原材料に再生し、リサイクルしています。最寄りの回収ポスト設置店舗はエプソンのホームページでご案内しています。 ＜ http://www.epson.jp/ ＞

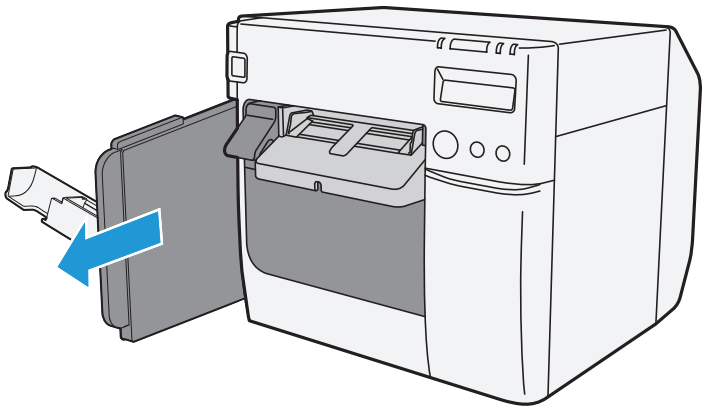
以下の手順でメンテナンスボックスを交換します。

1 プリンターの電源を OFF します。

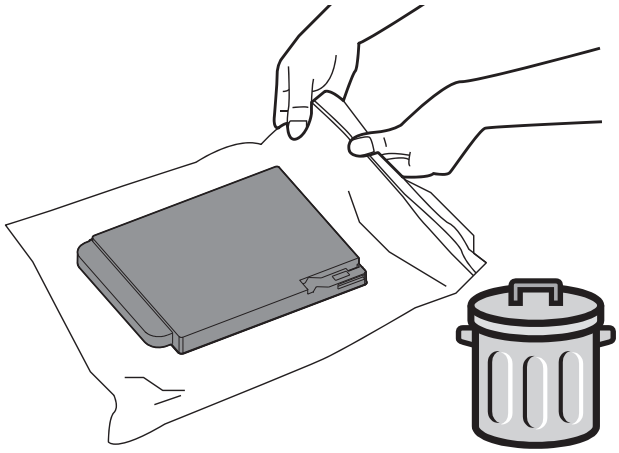
2 カバーを外します。



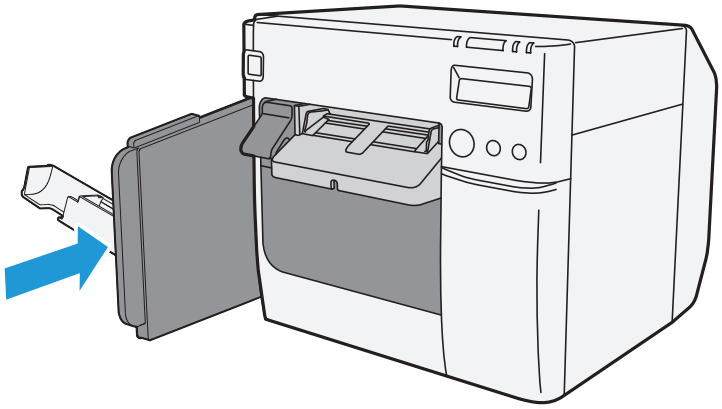
3 プリンターからメンテナンスボックスを取り外します。



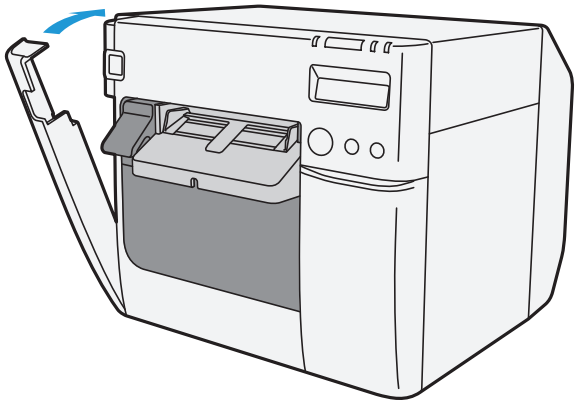
4 メンテナンスボックスを使用済みメンテナンスボックス廃棄用ビニール袋に入れます。



5 プリンターにメンテナンスボックスを取り付けます。



6 カバーを付けます。

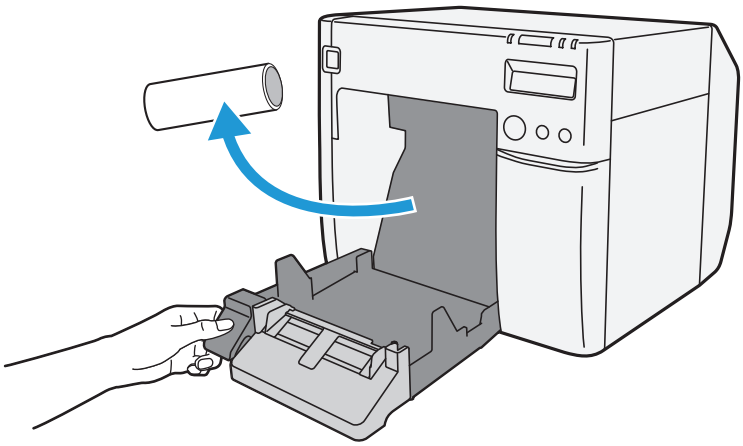


参考　メンテナンスボックスを交換した場合、プラテンのクリーニングをお勧めします。
（146 ページ「プラテンのクリーニング」参照）

ロール紙からファンフォールド紙に交換

以下の手順でロール紙からファンフォールド紙に交換します。

1 リリースレバーを手前に引き、ロール紙カバーを開けます。
ロール紙またはロール芯があれば、取り出します。

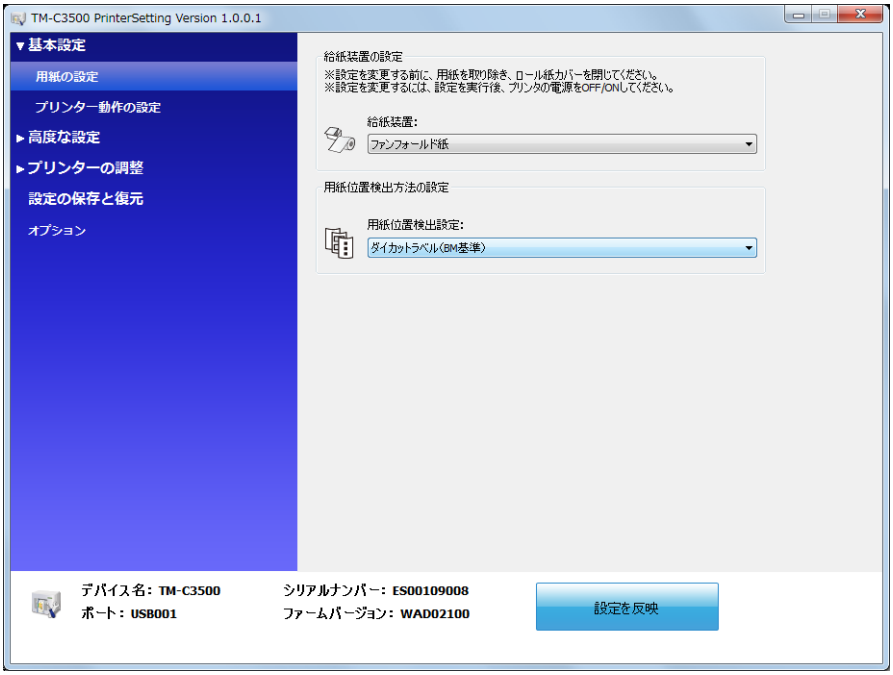


2 プリンターの電源を ON します。

3 プリンタードライバーを表示させます。（プリンタードライバーの表示方法は、71 ページ「プリンタードライバーの表示方法」参照）

4 TM-C3500 PrinterSetting を表示させます。[プリンターユーティリティー] タブを選択し、[プリンター設定] - [プリンターの設定] をクリックします。

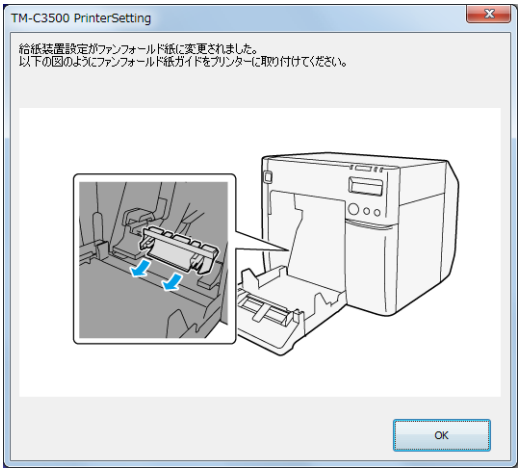
5 TM-C3500 PrinterSetting で、給紙装置と用紙位置検出方法を設定します。
設定後、[設定を反映] をクリックします。
[給紙装置] の設定をした後、[用紙位置検出方法] を設定してください。



項目	説明
給紙装置	[ファンフォールド紙] を選択します。
用紙位置検出設定	用紙の種類を選択します。 [ダイカット ラベル（BM 基準）] [ブラックマーク連続紙]

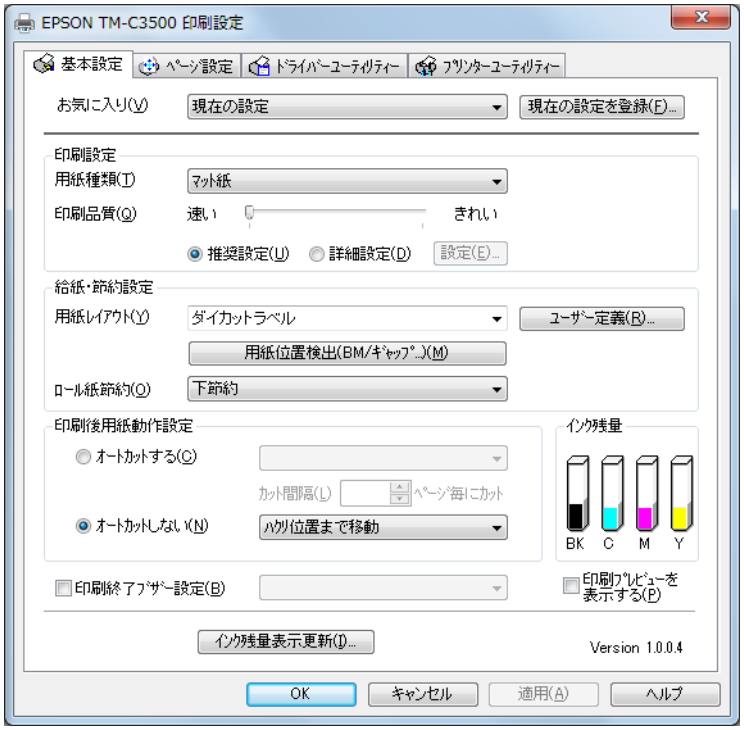
6 確認画面が表示されます。[はい] をクリックすると、設定がプリンターに送られます。

7 以下の画面が表示されます。[OK] をクリックします。



8 完了画面が表示されます。[OK] をクリックします。

9 プリンタードライバーの [基本設定] タブを選択します。用紙の設定をし、[OK] をクリックします。

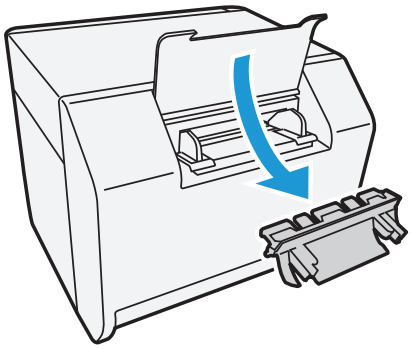


項目	項目	説明
印刷設定	用紙種類	用紙の種類を選択します。
	印刷品質	印刷品質を選択します。
給紙・節約設定	用紙レイアウト	用紙レイアウトを選択します。 リストの中に交換する用紙のレイアウトが無い場合、新規で用紙レイアウトを作成します。 72 ページ「用紙レイアウトの登録」を参照
印刷後用紙動作設定	オートカットする	印刷後オートカットする場合、選択します。
	オートカットしない	印刷後オートカットしない場合、選択します。

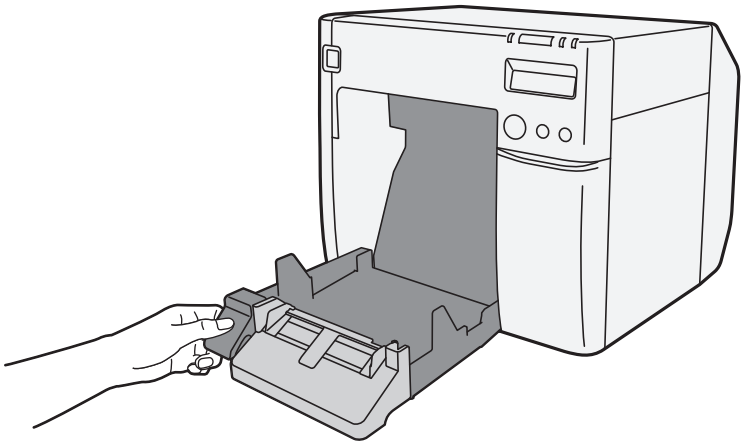
10 プリンターの電源を OFF します。

> **注意** 用紙位置検出設定の変更内容は、プリンターの電源を OFF したときにプリンターの内部メモリーに保存されます。設定を有効にするため、必ずプリンターの電源を OFF してください。

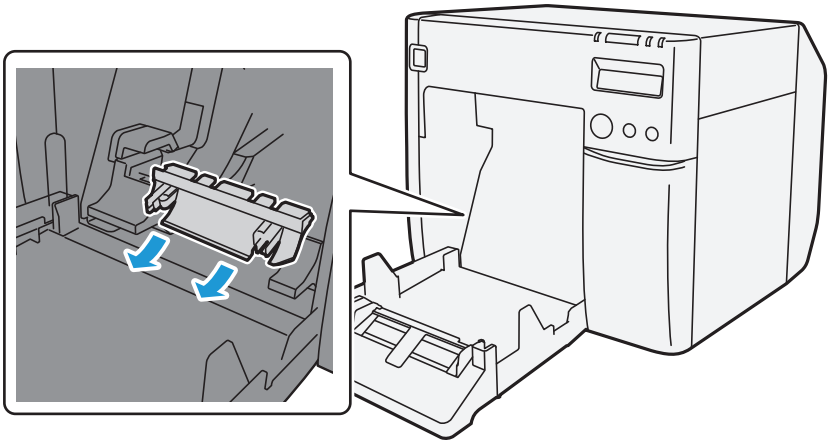
11 ファンフォールド紙カバーを開け、紙送りガイドを取り出します。



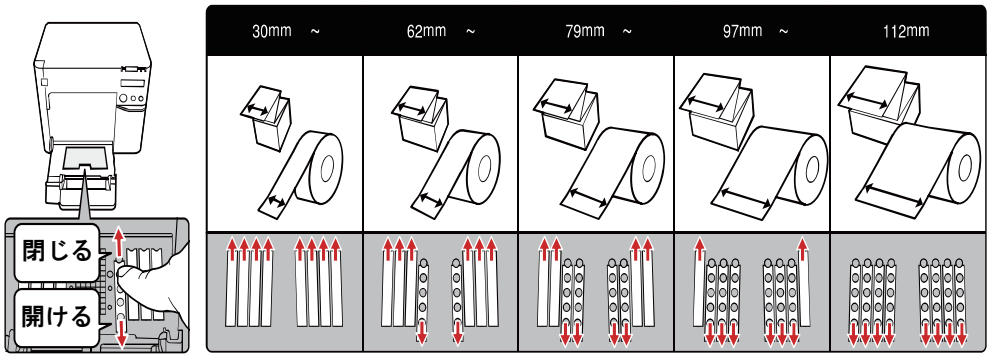
12 リリースレバーを手前に引き、ロール紙カバーを開けます。



13 紙送りガイドを、ロール紙カバー内側の溝に差し込み、取り付けます。

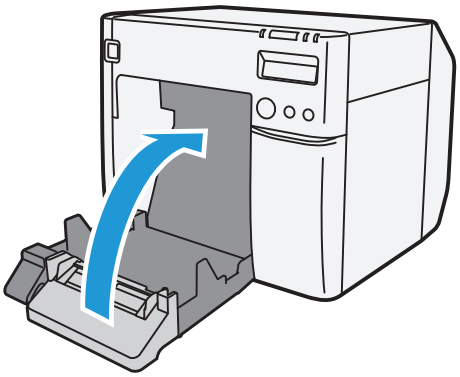


14 プリンター天面のシャッター調整方法のラベルを参照し、プラテン上のシャッターをファンフォールド紙の幅に合わせて開閉します。シャッターが正しく設定されていない場合、用紙詰まり、用紙汚れが発生する場合があります。

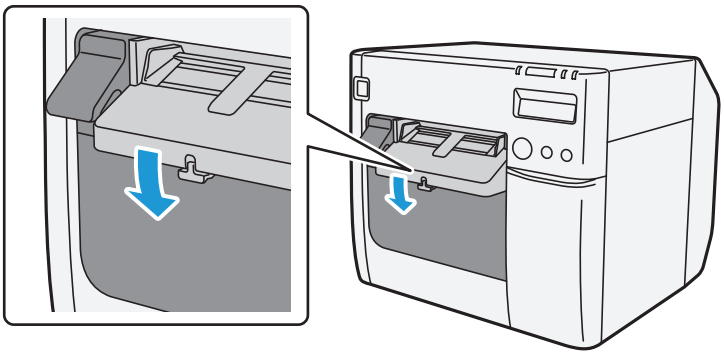


用紙幅、台紙幅 (mm)	シャッターの開閉状態
30mm 以上 62mm 未満	すべてのシャッターを閉じる。
62mm 以上 79mm 未満	内側のシャッターのみ開ける。
79mm 以上 97mm 未満	内側 2 列のシャッターのみ開ける。
97mm 以上 112mm 未満	内側 3 列のシャッターのみ開ける。
112mm	すべてのシャッターを開ける。

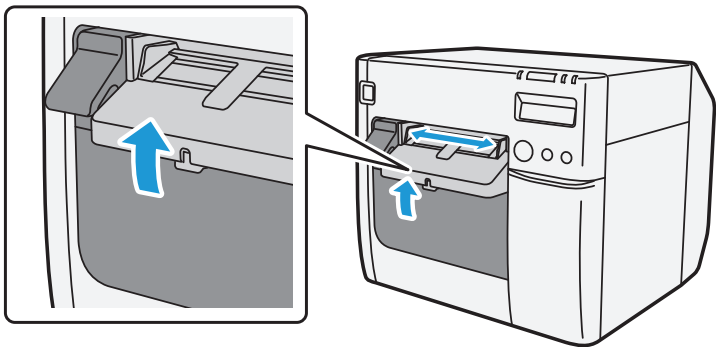
15 ロール紙カバーを閉めます。



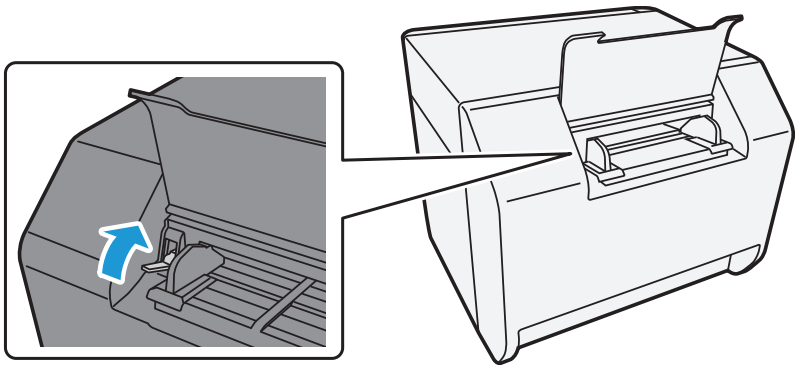
16 排紙ガイドのロックを、先の細いもので解除します。



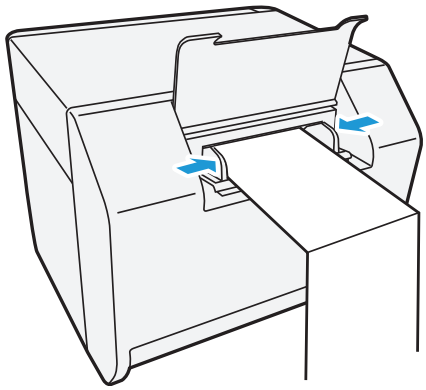
17 排紙ガイドを外側にスライドさせ、排出ガイドをロックします。



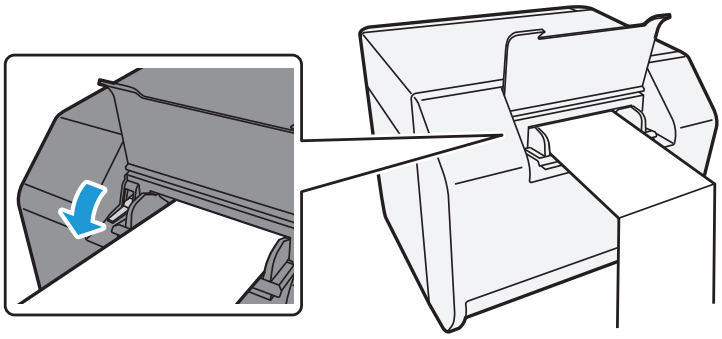
18 ファンフォールド紙カバーを開け、ファンフォールド紙ガイドのロックを解除します。



19 ファンフォールド紙ガイドをファンフォールド紙の幅に合わせます。



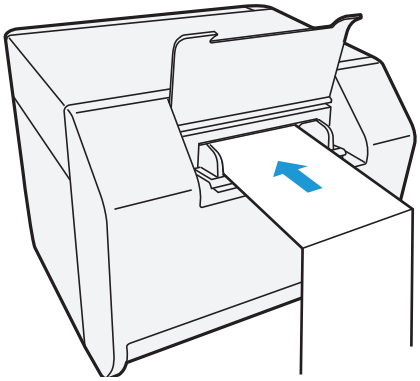
20 ファンフォールド紙ガイドをロックします。



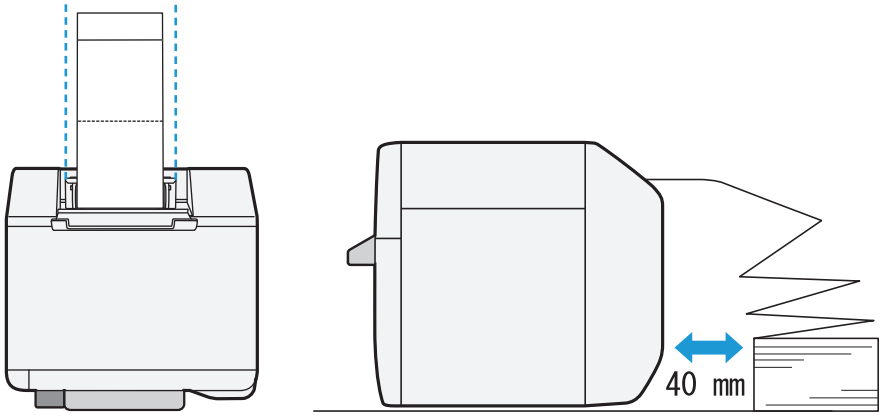
21 プリンターの電源を ON します。

22 Power LED が点滅から点灯に変わったら、印刷面を上にして、ファンフォールド紙を挿入します。引き込まれるまで (約 100 mm) 用紙を挿入すると、プリンターがファンフォールド紙先端を検出し、プリンター内部に用紙を引き込み、用紙頭出し動作を開始します。

> **参考** 用紙カバークローズ時の用紙頭出し動作を「カット あり」に設定している と、用紙が送られた後、オート カット されます。(133 ページ「用紙頭出し動作設定」参照)



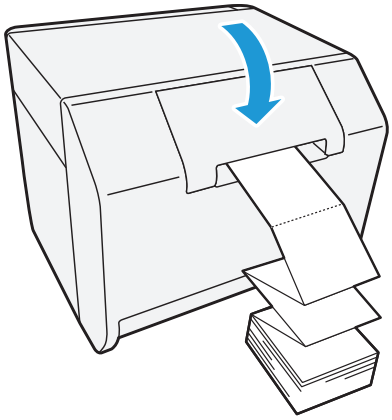
23 プリンター背面から 40 mm 以上離して、用紙をまっすぐに置きます。



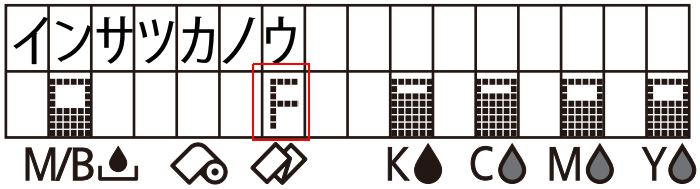
24 ファンフォールド紙カバーを閉めます。

注意

- 液体や埃がプリンター内部に侵入するのを防ぐため、使用時にはファンフォールド紙カバーを閉じてください。
- 紙詰まりの発生を防止するため、ファンフォールド紙の挿入はロール紙カバーを閉じた状態で、プリンター背面のファンフォールド紙挿入口より挿入します。



25 LCD 表示が F になっていることを確認します。

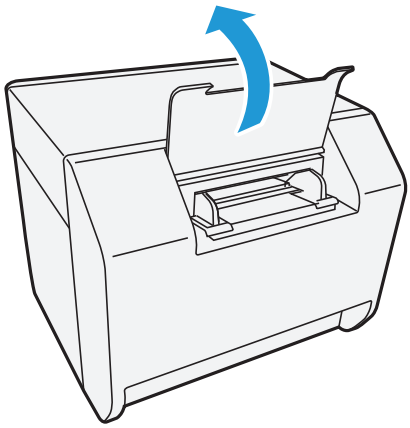


以上で、ファンフォールド紙のセットは終了です。

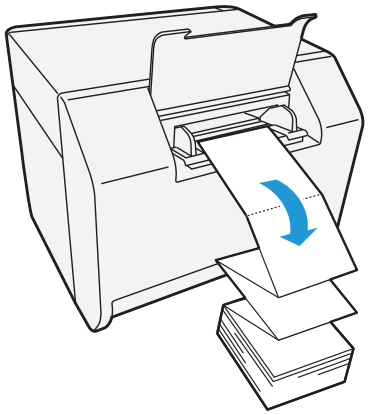
ファンフォールド紙からロール紙に交換

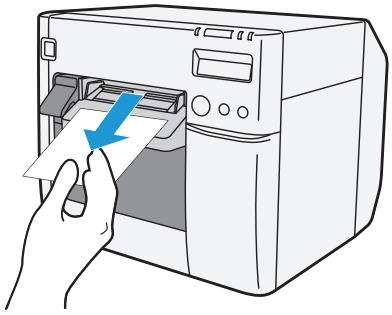
以下の手順でファンフォールド紙からロール紙に交換します。

1 ファンフォールド紙カバーを開けます。



2 残っている紙を取り除きます。



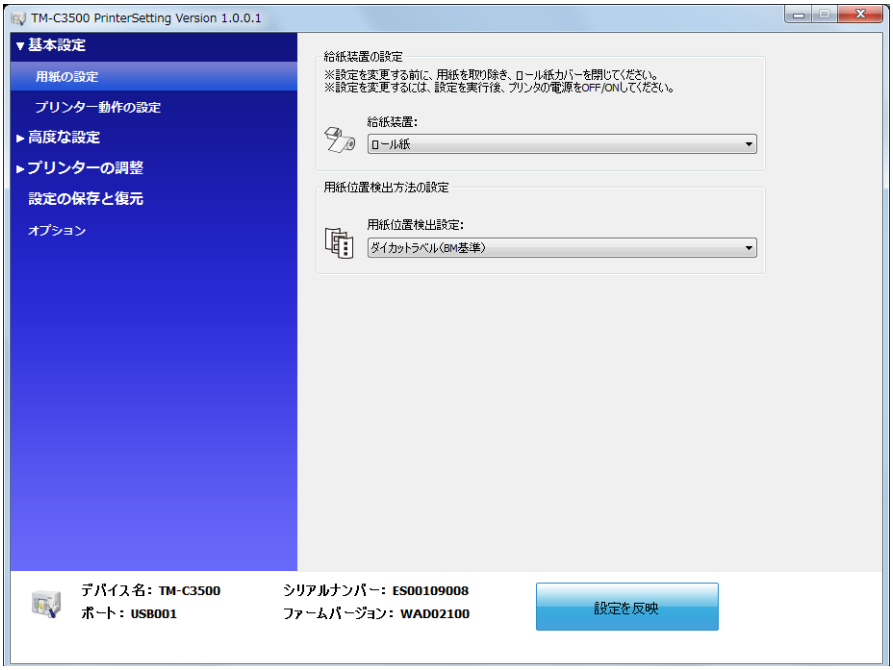


3 プリンターの電源を ON します。

4 プリンタードライバーを表示させます。（プリンタードライバーの表示方法は、71 ページ「プリンタードライバーの表示方法」参照）

5 TM-C3500 PrinterSetting を表示させます。[プリンターユーティリティー] タブを選択し、[プリンター設定] - [プリンターの設定] をクリックします。

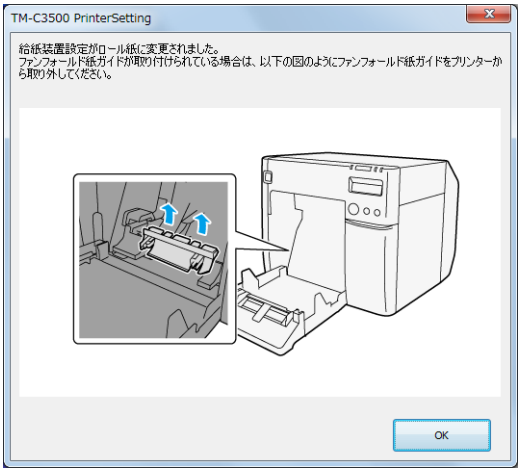
6 TM-C3500 PrinterSetting で、給紙装置と用紙位置検出方法を設定します。
設定後、[設定を反映] をクリックします。
[給紙装置] の設定をした後、[用紙位置検出方法] を設定してください。



項目	説明
給紙装置	[ロール紙] を選択します。
用紙位置検出設定	用紙の種類を選択します。 [全面ラベル / 連続紙 / 透明台紙全面ラベル] [ダイカット ラベル（BM 基準）] [ブラックマーク連続紙] [ダイカット ラベル（ギャップ基準） / 透明台紙ダイカット ラベル]

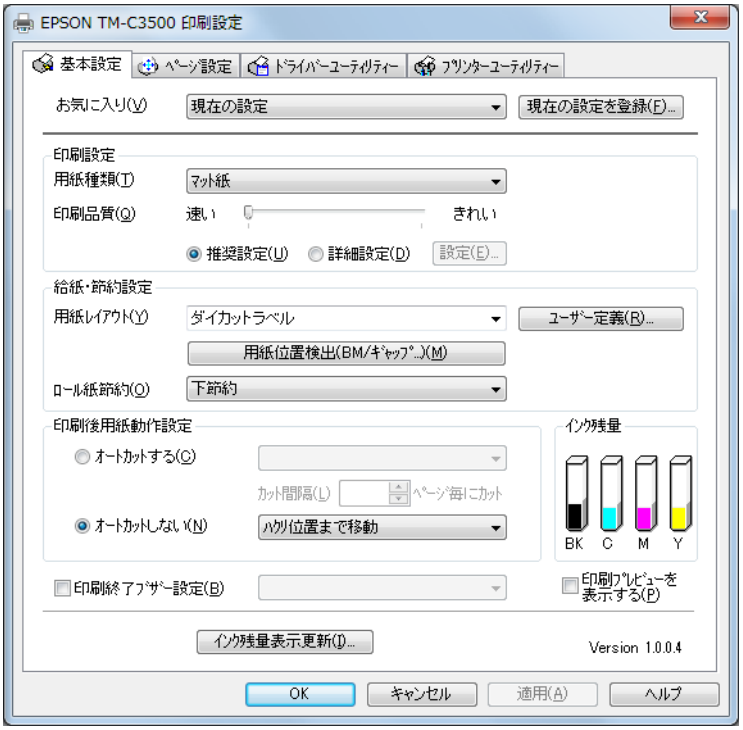
7 確認画面が表示されます。[はい] をクリックすると、設定がプリンターに送られます。

8 以下の画面が表示されます。[OK] をクリックします。



9 完了画面が表示されます。[OK] をクリックします。

10 プリンタードライバーの [基本設定] タブを選択します。用紙の設定をし、[OK] をクリックします。

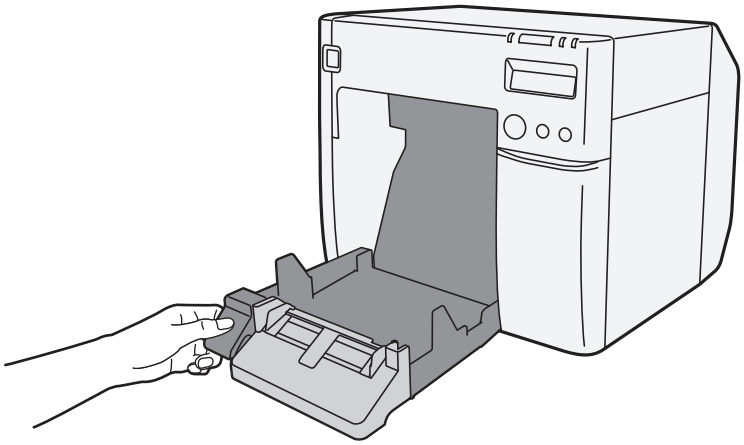


項目	項目	説明
印刷設定	用紙種類	用紙の種類を選択します。
	印刷品質	印刷品質を選択します。
給紙・節約設定	用紙レイアウト	用紙レイアウトを選択します。 リストの中に交換する用紙のレイアウトが無い場合、新規で用紙レイアウトを作成します。 72 ページ「用紙レイアウトの登録」を参照
印刷後用紙動作設定	オートカットする	印刷後オートカットする場合、選択します。
	オートカットしない	印刷後オートカットしない場合、選択します。

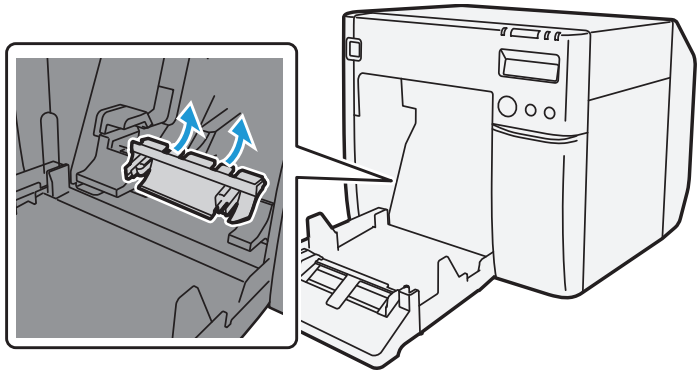
11 プリンターの電源を OFF します。

> **注意** 用紙位置検出設定の変更内容は、プリンターの電源を OFF したときにプリンターの内部メモリーに保存されます。設定を有効にするため、必ずプリンターの電源を OFF してください。

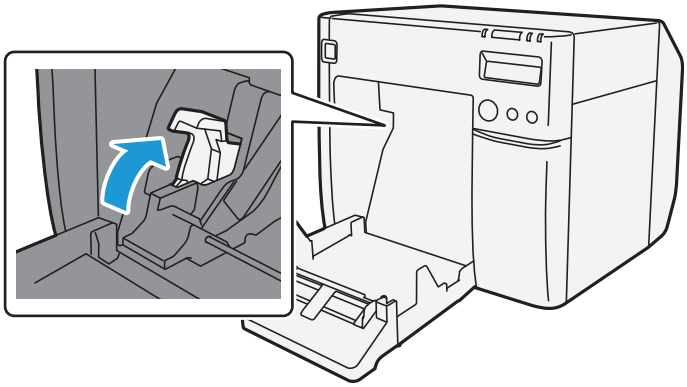
12 リリースレバーを手前に引き、ロール紙カバーを開けます。



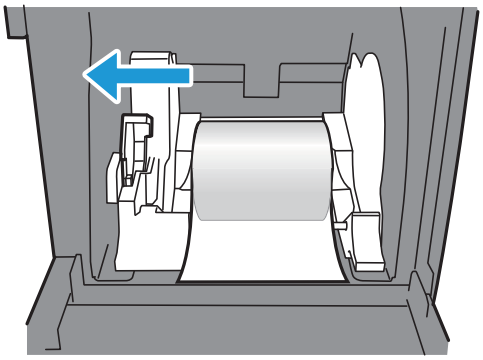
13 紙送りガイドを取り外します。



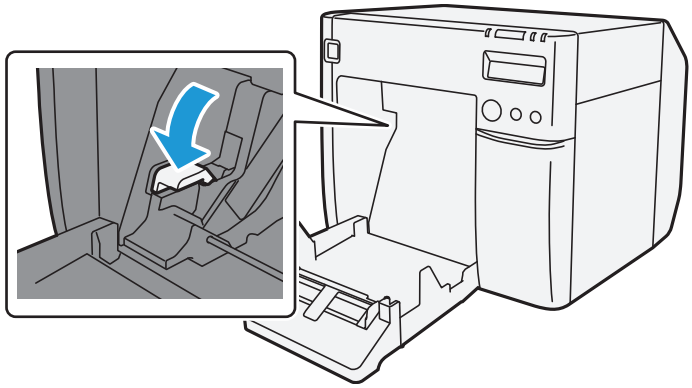
14 ロール紙ガイドのロックを解除します。



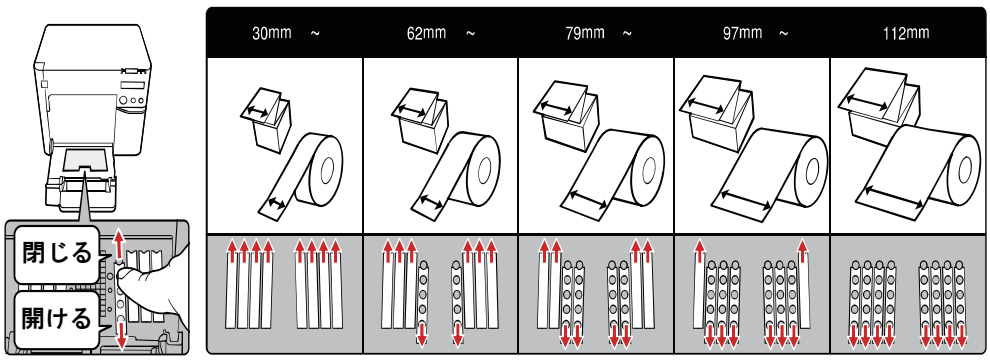
15 左側の紙ガイドを矢印方向に押し広げ、印刷面を上にしてロール紙を奥まで挿入します。



16 ロール紙ガイドをロックします。

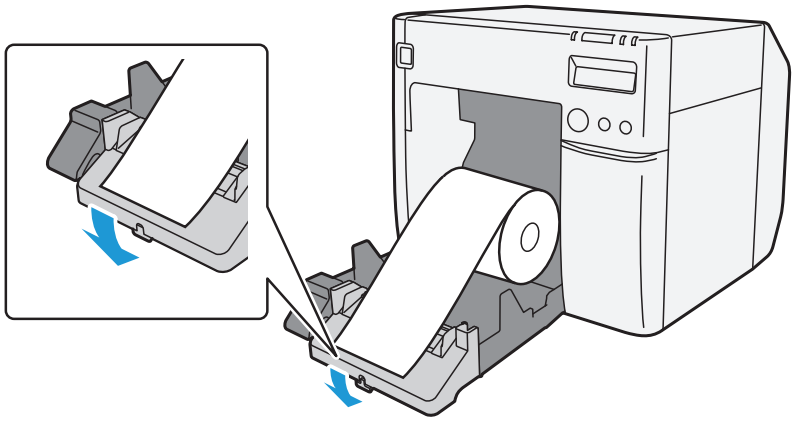


17 プリンター天面のシャッター調整方法のラベルを参照し、プラテン上のシャッターをロール紙の幅に合わせて開閉します。シャッターが正しく設定されていない場合、用紙詰まり、用紙汚れが発生する場合があります。

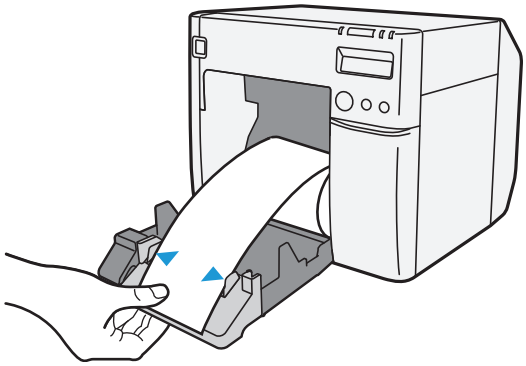


用紙幅、台紙幅 (mm)	シャッターの開閉状態
30mm 以上 62mm 未満	すべてのシャッターを閉じる。
62mm 以上 79mm 未満	内側のシャッターのみ開ける。
79mm 以上 97mm 未満	内側 2 列のシャッターのみ開ける。
97mm 以上 112mm 未満	内側 3 列のシャッターのみ開ける。
112mm	すべてのシャッターを開ける。

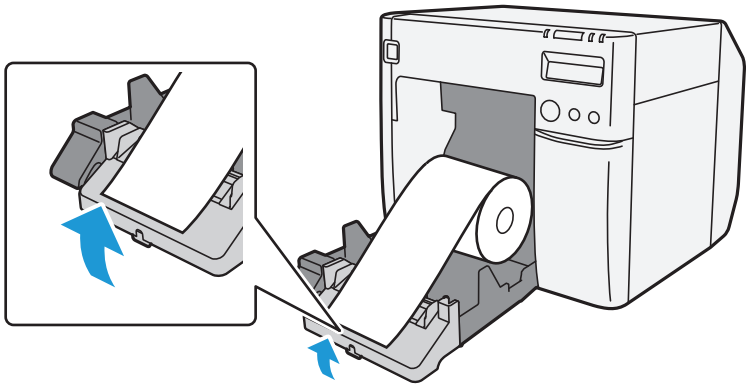
18 排紙ガイドのロックを、先の細いもので解除します。



19 排紙ガイドをロール紙の幅に合わせます。

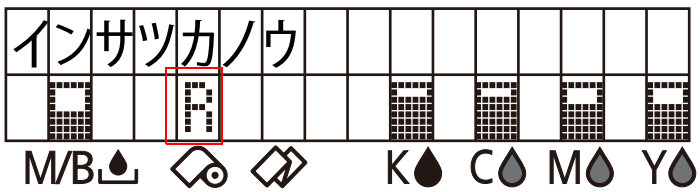


20 排紙ガイドをロックします。



21 プリンターの電源を ON します。自動的に用紙が送られます。

22 LCD 表示が R になっていることを確認します。



以上で、ロール紙のセットは終了です。

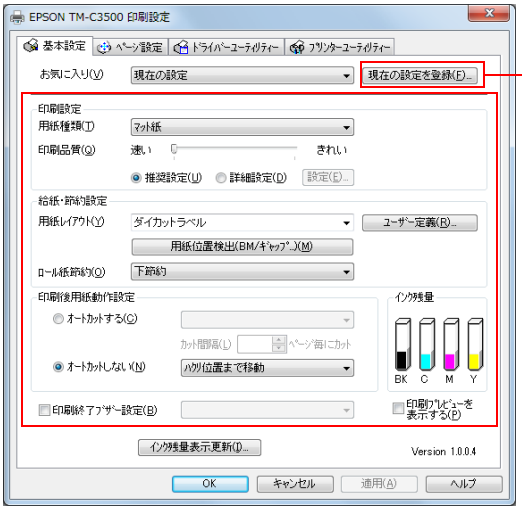
プリンタードライバーの設定

お気に入り

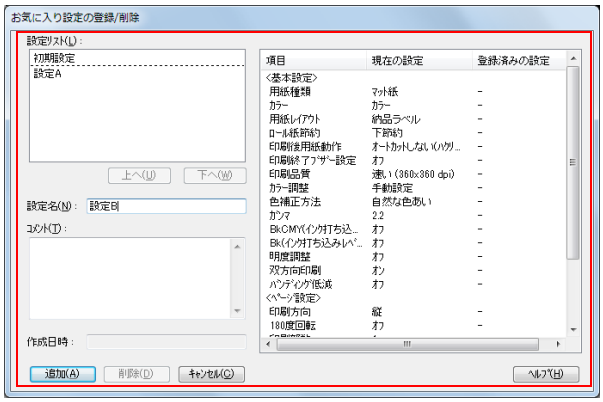
「お気に入り」とは、プリンタードライバーの印刷設定を 1 まとめにして管理できる機能です。

印刷設定は、[基本設定] タブと [ページ設定] タブの内容です。用紙の種類、用紙レイアウト (ユーザー定義用紙を含む) などがあります。

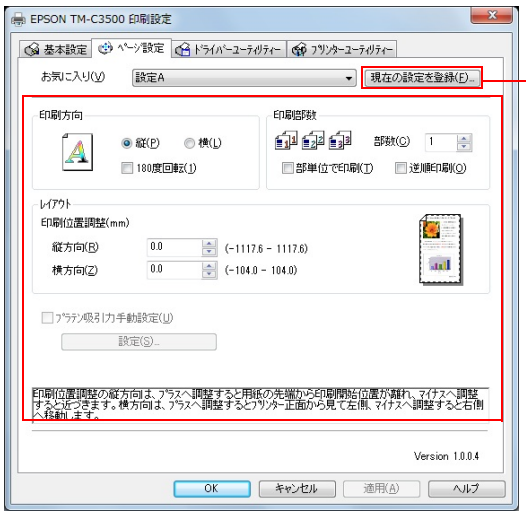
[基本設定]タブ



お気に入り



[ページ設定] タブ



特徴

- アプリケーションから印刷する場合、「お気に入り」で登録した印刷設定を初期値で選択できます。
  そのため、印刷設定をしたら [現在の設定を登録] をクリックし、お気に入りに登録することをお勧めします。
- 「お気に入り」には、幾つもの印刷設定を登録できます。
  例えば帳票ごとに印刷設定を「お気に入り」登録すると、帳票を変更した場合、「お気に入り」の変更をするだけで印刷設定が完了します。用紙の変更に伴う様々な設定を間違えずにできます。
  (帳票を変更した場合、プリンターの用紙位置検出設定を変更する必要がある場合があります。)

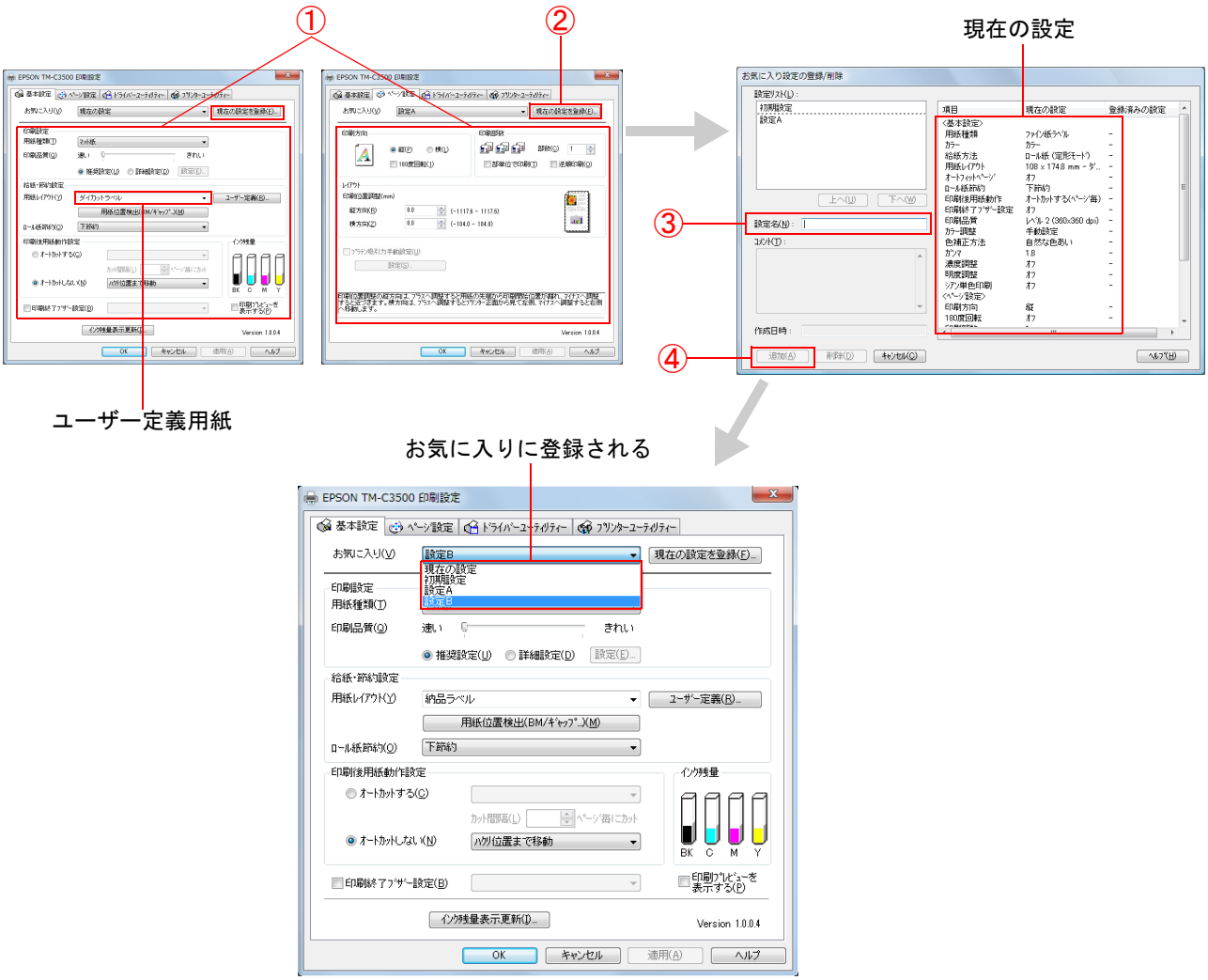
印刷設定を「お気に入り」に登録

1 印刷する用紙などに合わせてプリンタードライバーを設定します。
[基本設定] タブと [ページ設定] タブを設定します。ユーザー定義した用紙を設定する場合、[基本設定] の用紙レイアウトから選択します。

2 [現在の設定を登録] をクリックします。「お気に入り設定の登録 / 削除」画面が表示されます。
現在の設定が右側のリストに表示されます。

3 印刷設定名を入力します。

4 [追加] をクリックします。
印刷設定が、「お気に入り」に登録されます。



「お気に入り」には、以下の設定があります。

- 初期設定：　プリンタードライバーインストール時の初期値です。
- 現在の設定：　[基本設定] タブと [ページ設定] タブに設定されている内容です。
  この内容は「現在の設定一覧」画面と、「お気に入り設定の登録 / 削除」画面の現在の設定に表示されます。
- ユーザーが定義した設定：　ユーザーが定義した印刷設定です。

ユーザー定義情報

ユーザー定義情報には以下のものが含まれます。

- ユーザー定義用紙
- バーコードフォントの登録
- .NET 環境のフォント置き換え

ユーザー定義情報は、クライアントコンピューターごとに 1 つ設定されます。1 台のコンピューターに複数の TM-C3500 プリンタードライバーがインストールされている場合、これらは共通で使用できます。

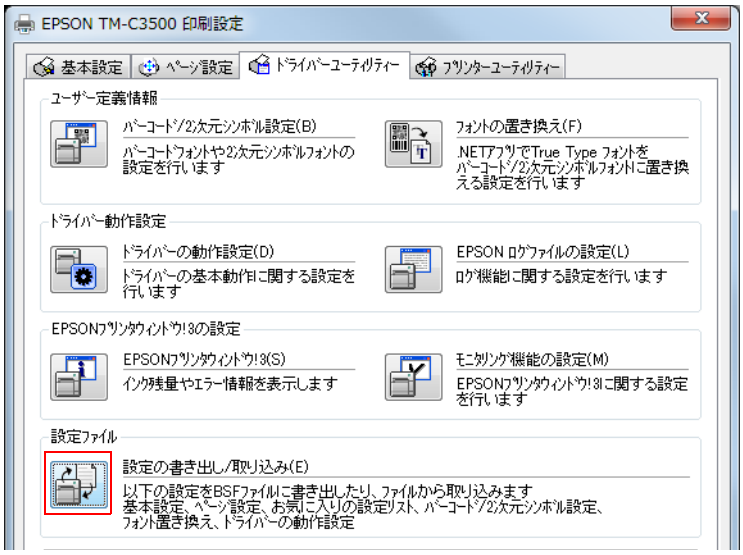
プリンタードライバー設定の書き出し / 取り込み

印刷設定、お気に入り設定、ユーザー定義情報、プリンタードライバーの動作設定を BSF ファイル (拡張子 .BSF) に書き出すことができます。また、BSF ファイルから設定を取り込んでプリンタードライバーを設定することもできます。

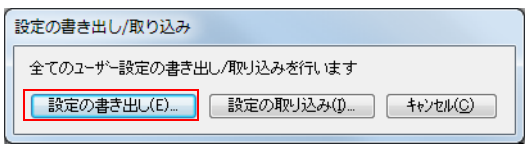
設定の書き出し

以下の手順で、設定を書き出します。

1 [ドライバーユーティリティー] タブを選択します。[設定の書き出し / 取り込み] をクリックします。



2 ″設定の書き出し / 取り込み″ 画面が表示されます。[設定の書き出し] をクリックします。



3 ファイルの保存画面が表示されます。名前をつけて BSF ファイルを保存します。

4 処理の完了画面が表示されます。[OK] をクリックします。

設定の取り込み

以下の手順で、設定を取り込みます。

1 [ドライバーユーティリティー] タブを選択します。[設定の書き出し / 取り込み] をクリックします。

2 〝設定の書き出し / 取り込み〟画面が表示されます。[設定の取り込み] をクリックします。

3 確認画面が表示されます。[OK] をクリックします。

4 開く画面が表示されます。取り込むファイルを選択します。

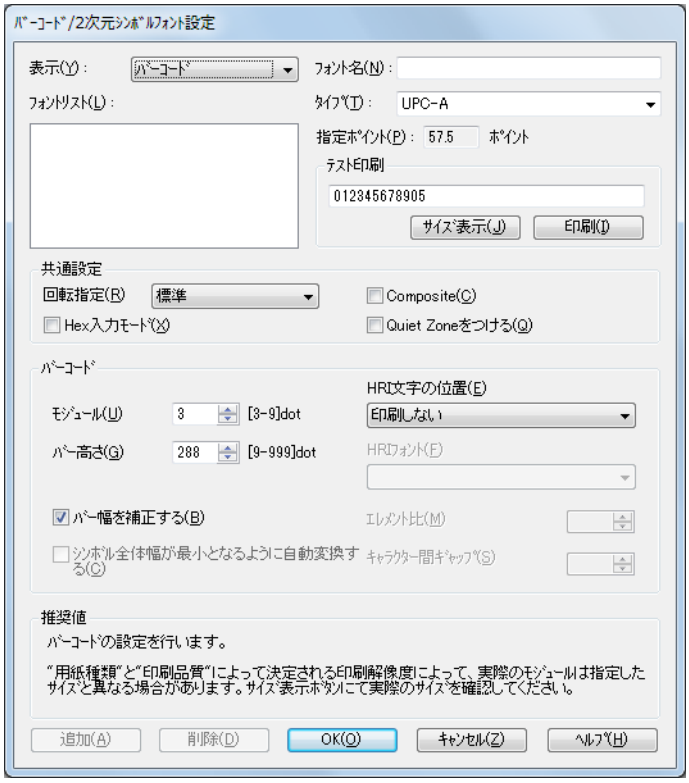
5 処理の完了画面が表示されます。[OK] をクリックします。

バーコード印刷

プリンタードライバーは、バーコードフォントを内蔵しています。アプリケーション側でバーコードを生成しなくても、バーコードを印刷できます。

バーコードフォントの設定

バーコードの印刷設定は、[**ドライバーユーティリティー**] タブの [**バーコード / 2 次元シンボル設定**] で行います。



1 以下の設定を行います。

- 表示： [**バーコード**] を選択します。
- フォント名： 任意の文字列を入力します。これがバーコードフォント名になります。入力できる文字は ASCII のみです。
- タイプ： バーコードの種類を選択します。選択したタイプにより、表示される設定項目が切り替わります。以下の種類から選択できます。

UPC-A	UPC-E	JAN13(EAN)
JAN8(EAN)	Code39	ITF
Codabar	Code93	Code128
GS1-128M	GS1-128	GS1 DataBar オムニディレクショナル
GS1 DataBar トランケート	GS1 DataBar エクスパンデッド M	GS1 DataBar エクスパンデッド
GS1 DataBar リミテッド		

- 回転指定：　　バーコードを回転させて印刷するときに選択します。
- Hex 入力モード：　　バーコードにするデータを Hex 入力モードで指定するときは、チェックします。
- Composite：　　コンポジットシンボル付きのバーコードを印刷するときは、チェックします。

> **参考**
> コンポジット シンボルに指定するデータとバーコードに指定するデータは、「\|」または「|\」で区切ります。データは、コンポジット シンボル、バーコードの順に記載します。
> 入力例：1234567890\|012345678905

- Quiet Zone をつける：　　バーコードの左右に、バーコードの読み込みに必要な空白を作るときは、チェックします。

> **参考**
> バーコードの印刷位置は、余白の量だけ移動します。

- モジュール：　　バーコードの細いエレメントの幅をドットで設定します。

用紙種類	画像解像度（横×縦）（dpi）	印刷方向 *1	ﾊﾞｰ幅補正 *2	上段：最小モジュール[360dpi 単位] 下段 ：最小エレメント比		
				ANSI グレード D 以上	ANSI グレード C 以上	ANSI グレード B 以上
普通紙 普通紙ラベル	360x360	フェンス	あり	4 dot 2.5	-	-
		ラダー		6 dot 2.5	-	-
合成紙ラベル マット紙 マット紙ラベル リストバンド 光沢紙ラベル	360x360	フェンス		3 dot 2.7	4 dot 2.5	
		ラダー		6 dot 2.5 *3	-*3	-
	720x360	フェンス		3 dot 2.7	4 dot 2.5	
		ラダー		6 dot 2.5 *3	-*3	-

-：保証外

*1：ラダーバーコードの場合、ドット抜け、インク滴の曲がりによって、ANSI グレード F となり、バーコードリーダーで読めない場合がります。このため、フェンスバーコードの使用を推奨します。ラダーバーコードを使用する場合、HRI 文字を印刷するなど工夫してください。

*2：インクの特性上、用紙にインクが染み込み印刷したバーコードのバー部分が太くなることがあります。バーコードのバー部分のデータを１ピクセル分減らし、空白部分を１ピクセル分増やす補正（バー幅補正）をしてください。２次元シンボルは補正をしないでください。

*3：特定の用紙種類、バーコードの場合、以下の推奨値になります。

リストバンド、Code128 の場合 ： ５ドットモジュール、ANSI グレード D

リストバンド、Codabar の場合 ： ４ドットモジュール、最小エレメント比 2.5、ANSI グレード C

> **注意**
> エレメント 幅を奇数の値に設定した場合、[用紙種類] や [印刷品質] を変更して解像度が変わると、印刷されるバーコードの大きさが異なってしまうことがあります。
> バーコードの大きさは、[サイズ表示] ボタンで確認できます。

- バー高さ：　エレメントの高さをドットで設定します。指定したドットは、印刷されたときの実寸法で表示されます。
- バー幅を補正する：　エレメントの幅を狭くして印刷します。印刷されたバーコードがにじんで読み取れない場合に設定してください。
- HRI 文字の位置：　HRI 文字の印刷位置を指定します。印刷しないときは、[**印刷しない**] を選択します。

> **参考**
> タイプによっては、印刷位置の指定が限定されるものがあります。

- HRI フォント：　HRI 文字のフォントサイズを設定します。
- エレメント比：　太いエレメント幅を、細いエレメント幅に対する比率で設定します。
- キャラクタ間ギャップ：　キャラクタ間ギャップ (間隔) を、細いエレメント幅に対する比率で設定します。
- シンボル全体幅が最小となるように自動変換する：
  CODE128 の場合に選択できます。与えられたデータ文字列を表現するために必要なシンボルキャラクタ数を最小限に抑える機能です。

2 [追加] をクリックします。

設定したバーコードフォントが登録され、フォントリストにフォント名が追加されます。

> **参考**
> - バーコードフォント は、30 個まで登録できます。
> - フォント リスト のフォント 名を選択し、設定を変更してから [保存] をクリック すると、設定したバーコード フォント の設定を 上書き保存できます。
> - フォント リスト のフォント 名を選択し、[削除] をクリック すると、設定したバーコード フォント を削除できます。
> - [テスト 印刷] の入力ボックス にテキスト を入力し、[印刷] をクリック すると、設定内容に従ってテスト 印刷が行われます。

バーコードデータの指定方法

バーコードデータは以下を参照して指定してください。

コンポジットシンボルについて：

コンポジットコンポーネントの種類は、データの桁数に応じて自動選択されます。
(CC-C は、GS1-128 の場合だけ選択されます。)

コンポジットコンポーネントの種類	エンコード許容桁数
CC-A	1 ～ 56 桁
CC-B	1 ～ 338 桁
CC-C	1 ～ 2361 桁

HRI 文字について：

HRI 文字列がバーコードの全体幅よりも大きくなった場合、HRI 文字列の全体幅がバーコードの幅になります。

UPC-A

❏ ノーマル

- 11 ～ 12 桁のデータを指定してください。
- 1 桁目はナンバーシステムキャラクタですが、チェックはしていません。
- 11 桁の場合、チェックディジットが自動的に付加されます。
- 12 桁の場合、12 桁目をチェックディジットとして扱いますが、検算されません。

❏ コンポジット（ノーマルとの違い）

- 12 桁の場合、12 桁目を無視してチェックディジットが自動的に付加されます。

UPC-E

❏ ノーマル

- データは６～8、11 ～ 12 桁で指定してください。
- 6 桁の場合、指定されたデータはそのままで、チェックディジットが自動的に付加されます。
- 7 桁の場合、２～７桁がデータキャラクタとなり、チェックディジットが自動的に付加されます。
- 8 桁の場合、２～７桁がデータキャラクタとなり、８桁目のデータをチェックディジットとして扱いますが、検算されません。
- 11 桁の場合、チェックディジットが自動的に付加されます。
- 12 桁の場合、12 桁目をチェックディジットとして扱いますが、検算されません。
- 7 桁以上の場合、1 桁目をナンバーシステムキャラクタとして処理するため、0 を指定してください。

❏ コンポジット（ノーマルとの違い）

- 8 桁の場合、８桁目を無視してチェックディジットが自動的に付加されます。
- 12 桁の場合、12 桁目を無視してチェックディジットが自動的に付加されます。

JAN13(EAN)

❏ ノーマル

- 12 ～ 13 桁のデータを指定してください。
- 12 桁の場合、チェックディジットが自動的に付加されます。
- 13 桁の場合、13 桁目をチェックディジットとして扱いますが、検算されません。

❏ コンポジット（ノーマルとの違い）

- 13 桁の場合、13 桁目を無視してチェックディジットが自動的に付加されます。

JAN8(EAN)

❏ ノーマル

- ７～８桁のデータを指定してください。
- ７桁の場合、チェックディジットが自動的に付加されます。
- ８桁の場合、８桁目をチェックディジットとして扱いますが、検算されません。

❏ コンポジット（ノーマルとの違い）

- ８桁の場合、８桁目を無視してチェックディジットを自動的に付加されます。

Code39

❏ データは最大 256 桁まで指定できます。

❏ スタート・ストップコード（'*'）を両方または片方指定しなかった場合、自動的に付加されます。

ITF

❏ データは最大 256 桁まで指定できます。

❏ 奇数桁のデータを指定した場合、自動的に先頭に 0 を付加されます。

Codabar

❏ データは最大 256 桁まで指定できます。

❏ スタートコードが指定していない場合、自動的に 'A' をスタートコードとして付加されます。

❏ ストップコードが指定していない場合、自動的にスタートコードと同じものをストップコードとして付加されます。

❏ スタート・ストップコードを小文字で入力した場合、自動的に大文字に変換されます。

Code93

- ❏ 1 ～ 255 桁のデータを指定してください。
- ❏ スタートコード、2 つのチェックディジット、ストップコードは自動的に付加されます。
- ❏ HRI 文字の先頭には、スタートコードを示す文字（□）を印字されます。
- ❏ HRI 文字の末尾には、ストップコードを示す文字（□）を印字されます。
- ❏ 制御キャラクタ（00h ～ 1Fh、7Fh）の HRI 文字は、■とアルファベット 1 文字を組み合わせて印字されます。

制御キャラクタ		HRI 文字	制御キャラクタ		HRI 文字	制御キャラクタ		HRI 文字
ASCII	16 進数		ASCII	16 進数		ASCII	16 進数	
NULL	00	■ U	VT	0B	■ K	SYN	16	■ V
SOH	01	■ A	FF	0C	■ L	ETB	17	■ W
STX	02	■ B	CR	0D	■ M	CAN	18	■ X
ETX	03	■ C	SO	0E	■ N	EM	19	■ Y
EOT	04	■ D	SI	0F	■ O	SUB	1A	■ Z
ENQ	05	■ E	DLE	10	■ P	ESC	1B	■ A
ACK	06	■ F	DC1	11	■ Q	FS	1C	■ B
BEL	07	■ G	DC2	12	■ R	GS	1D	■ C
BS	08	■ H	DC3	13	■ S	RS	1E	■ D
HT	09	■ I	DC4	14	■ T	US	1F	■ E
LF	0A	■ J	NAK	15	■ U	DEL	7F	■ F

Code128

- ❏ 2 ～ 255 桁のデータを指定してください。
- ❏ 先頭の 2 桁はスタートコードで、コード選択キャラクタ（CODE A、CODE B、CODE C）のいずれかを指定してください。
- ❏ 特殊キャラクタは、'{' と直後の 1 文字を組み合わせて表現されます。
- ❏ [シンボル全体幅が最小となるように自動変換する]にチェックを付けると、Code128シンボルの全体幅が最小となるよう、自動的に変換します。この機能を使うと、コードセットを指定する必要はなく、シンボルにしたいデータを入力するだけでバーコードが印刷されます。
  チェックを付けない場合は、コードセットを手動で指定する必要があります。
  コードセット C を指定する場合は、生成する 2 桁の数字を ASCII 文字の 10 進数と見なし、該当する ASCII 文字を指定します。
  例）「37」:「%」と指定します。
  「65」:「A」と指定します。
  「979899」:「abc」と指定します。
- ❏ データが '{' で、直後のデータが以下に該当しない場合、エラーになります。

制御キャラクタ	ASCII	制御キャラクタ	ASCII	制御キャラクタ	ASCII
SHIFT	{S	CODE C	{C	FNC3	{3
CODE A	{A	FNC1	{1	FNC4	{4

制御キャラクタ	ASCII	制御キャラクタ	ASCII	制御キャラクタ	ASCII
CODE B	{B	FNC2	{2	'{'	{{

❏ 特殊キャラクタの HRI 文字は、以下ように表現されます。

制御キャラクタ	HRI 文字
SHIFT	印字しない
CODE A/B/C	印字しない
FNC1 ～ 4	スペースを印字
制御キャラクタ（00h ～ 1Fh, 7Fh）	スペースを印字

GS1-128

❏ 2 ～ 255 桁のデータを指定してください。

❏ アプリケーション識別子の区切りを()で区別します。(HRI文字として印字されますが、エンコードはされません。)

❏ スタートコード（CODE A、CODE B、CODE C)、ストップコードは自動的に付加されます。

❏ スタートコードの次のシンボルキャラクタ FNC1 は自動的に付加されます。

❏ '*' を指定すると、チェックディジットを自動計算して '*' に置き換えられます。

❏ アプリケーション識別子は、連続した 2 桁の数値を指定する必要があります。正しく指定されていない場合、エラーになります。

❏ アプリケーション識別子が (01) の場合、データの 14 桁目はチェックディジットになりますが、チェックディジットが指定された場合は検算されません。14 桁目が '*' の場合、チェックディジットを自動計算して '*' に置き換えられます。

❏ 特殊キャラクタは '{' と直後の 1 文字を組み合わせて表現されます。

❏ データが '{' で、直後のデータが以下に該当しない場合、エラーになります。

制御キャラクタ	ASCII	HRI 文字
制御文字（00h ～ 1Fh および 7Fh）		スペースを印字
FNC1	{1	スペースを印字
FNC3	{3	スペースを印字
'{'	{{	{ を印字
'('	{(	(を印字
')'	{)	) を印字
'*'	{*	* を印字
アプリケーション識別子の左カッコ	(	(を印字
アプリケーション識別子の右カッコ	)	) を印字
チェックディジット位置	*	チェックディジットを印字

GS1-128M

- ❏ 38 ～ 66 桁のデータを指定してください。
- ❏ アプリケーション識別子の区切りを()で区別します。(HRI文字として印字されますが、エンコードはされません。)
- ❏ スタートコード（CODE A、CODE B、CODE C)、ストップコードは自動的に付加されます。
- ❏ スタートコードの次のシンボルキャラクタ FNC1 は自動的に付加されます。
- ❏ アプリケーション識別子 (30) に続くデータの最後に FNC1 が存在しない場合、FNC1 自動的に付加されます。
- ❏ アプリケーション識別子 (10) または (21) に続くデータの最後に、FNC1 は不要なため、FNC1 が存在した場合はエラーになります。
- ❏ アプリケーション識別子が (01) の場合、データ部の 14 桁目はチェックディジットになりますが、チェックディジットが指定された場合、検算されません。14 桁目が '*' の場合、チェックディジットを自動計算し、'*' に置き換えられます。
- ❏ データが { で直後のデータが 1 でない場合、エラーになります。
- ❏ 特殊キャラクタは以下の形式で指定してください。

制御キャラクタ	ASCII	HRI 文字
FNC1	{1	スペースを印字
アプリケーション識別子の左カッコ	(	(を印字
アプリケーション識別子の右カッコ	)	) を印字
チェックディジット 位置	*	チェックディジット を印字

- ❏ 以下のフォーマットに従っていない場合はエラーになります。

アプリケーション識別子	フォーマット
01	数字 14 桁
10	英数字 1 ～ 20 桁
17	数字 6 桁 (YYMMDD)
21	英数字 1 ～ 20 桁
30	数字 1 ～ 8 桁

GS1 DataBar オムニディレクショナル / GS1 DataBar トランケート / GS1 DataBar リミテッド

- ❏ 先頭のアプリケーション識別子 01 はデータに含めません。
- ❏ HRI 文字印刷時に、先頭のアプリケーション識別子 01 は、梱包識別コードの前に ″(01)″ と印字されます。
- ❏ チェックディジットをバーコードデータに付加する必要はありません。
- ❏ HRI 文字印刷時に、チェックディジットは商品コードの後に印字されます。
- ❏ GS1 DataBar リミテッドの場合、先頭 1 桁は '0' か '1' を指定してください。

GS1 DataBar エクスバンデッド M

- 38 ～ 66 桁（'*' を含まない数）のデータを指定してください。
- アプリケーション識別子の区切りを()で区別します。(HRI文字として印字されますが、エンコードはされません。)
- アプリケーション識別子 (10) あるいは (21) の前に FNC1 が存在しない場合、FNC1 が自動的に付加されます。
- アプリケーション識別子 (30) に続くデータの最後に FNC1 が存在しない場合、FNC1 が自動的に付加されます。
- アプリケーション識別子 (10) または (21) に続くデータの最後に FNC1 は不要なため、FNC1 が存在した場合、エラーになります。
- アプリケーション識別子が (01) の場合、データ部の 14 桁目はチェックディジットになりますが、チェックディジットが正しくない場合はエラーになります。
  (GS1-128 とは異なり、'*' によるチェックディジットの自動計算と付加はされません。)
- '*' は読み飛ばします。
- データが { で直後のデータが 1 でない場合、エラーになります。
- 特殊キャラクタは以下の形式で指定してください。

制御キャラクタ	ASCII	HRI 文字
FNC1	{1	印字しない
'('	{(	(を印字
')'	{)	) を印字
アプリケーション識別子の左カッコ	(	(を印字
アプリケーション識別子の右カッコ	)	) を印字
'*'	{*	* を印字
読み飛ばし文字	*	印字しない

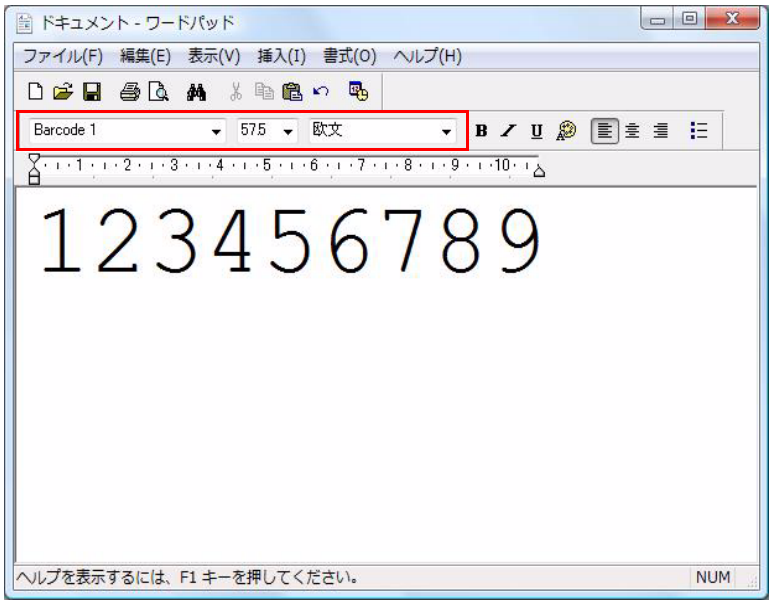
GS1 DataBar エクスバンデッド

- 2 ～ 255 桁のデータを指定してください。
- アプリケーション識別子の区切りを()で区別します。(HRI文字として印字されますが、エンコードはされません。)
- データに必ず、すべてのアプリケーション識別子を含めてください。
- 指定されたデータから、アプリケーション識別子、左カッコ、右カッコ、'*' を削除した最初データが 01 の場合、01 の次から数えて 14 桁目をチェックディジットとしてチェックされます。正しくない場合、エラーになります。
- 01 の次からのデータが 14 桁未満の場合、チェックディジットをチェックされません。
  (GS1-128 とは異なり、文字 '*' によるチェックディジットの自動計算と付加はされません。'*' を指定した場合、'*' は無視され、以降のデータは 1 桁ずつシフトされます。)
- 特殊キャラクタは以下の形式で指定してください。

制御キャラクタ	ASCII	HRI 文字
FNC1	{1	印字しない
アプリケーション識別子の左カッコ	(	(を印字
アプリケーション識別子の右カッコ	)	) を印字
'*'	{*	エラー
読み飛ばし文字	*	印字しない

印刷方法

印刷データに、設定したバーコードフォント、指定ポイント、言語を指定し、印刷します。



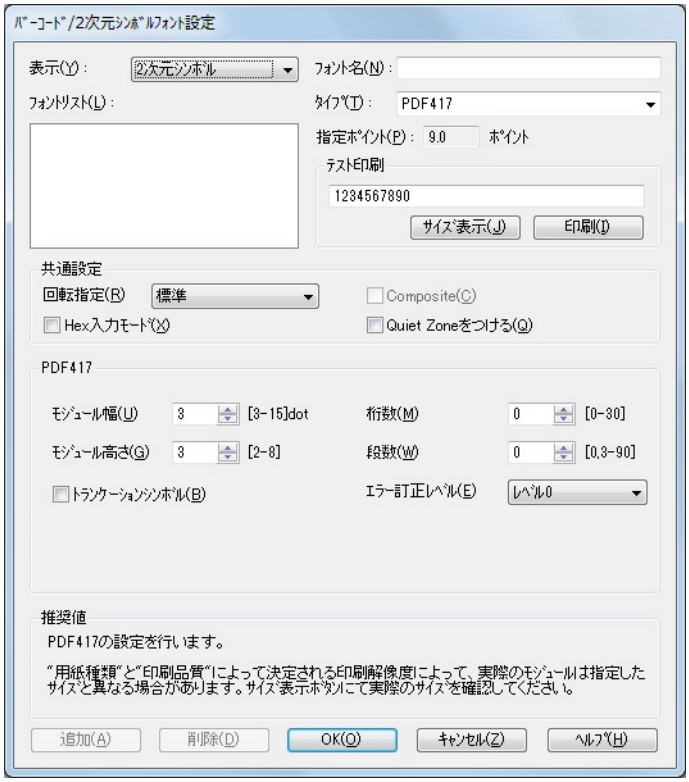
注意　バーコードのフォント サイズは、[指定ポイント]の値から変更できません。それ以外の値を指定すると、バーコードは印刷されません。

2 次元シンボル印刷

プリンタードライバーは、2 次元シンボルフォントを内蔵しています。アプリケーション側で 2 次元シンボルを生成しなくても、2 次元シンボルを印刷できます。

2 次元シンボルフォントの設定

2次元シンボルの印刷設定は、[**ドライバーユーティリティー**]タブの[**バーコード / 2次元シンボル設定**]で行います。



1 以下の設定を行います。

- 表示： [**2 次元シンボル**] を選択します。
- フォント名： 任意の文字列を入力します。これが 2 次元シンボルフォントのフォント名になります。入力できる文字は ASCII のみです。
- タイプ： 2 次元シンボルのタイプを選択します。選択したタイプにより、表示される設定項目が切り替わります。
- 回転指定： 2 次元シンボルを回転させて印刷するときに選択します。
- Hex 入力モード： 2 次元シンボルにするデータを Hex 入力モードで指定するときは、チェックします。
- Composite： コンポジットシンボル付きの 2 次元シンボルを印刷するときは、チェックします。

> **参考**
> コンポジット シンボルに指定するデータと 2 次元シンボルに指定するデータは、「\|」または「|\」で区切ります。データは、コンポジット シンボル、2 次元シンボルの順に記載します。
> 入力例：1234567890\|012345678905

- Quiet Zone をつける： 2 次元シンボルの左右に、2 次元シンボルの読み込みに必要な空白を作るときは、チェックします。

> **参考**　2 次元シンボルの印刷位置は、余白の量だけ移動します。

2　選択した [**タイプ**] により、設定をします。

- PDF417
  *桁数 :PDF417 の桁数を入力します。
  *モジュール幅 :PDF417 のモジュール幅を設定します。
  *モジュール高さ :PDF417 のモジュール高さを、モジュール幅に対する比率で設定します。
  *トランケーションシンボル:PDF417 のストップコードを省いたシンボルを作成するときは、チェックします。
  *エラー訂正レベル:PDF417のエラー訂正レベルを選択します。シンボルの一部が破損してもデータを読み取ることができ、数字が大きいほど復元率が高くなります。
- QRCode
  *モデル:QRCode モデルを選択します。
  *エラー訂正レベル:QRCodeのエラー訂正レベルを選択します。シンボルの一部が破損してもデータを読み取ることができ、レベルL、M、Q、Hの順に復元率が高くなります。
  *モジュール:QRCode モデルのセル(モジュール)の設定をします。
  *バージョン :QRCodeのバージョンを指定します。QRCodeのバージョンによって2次元シンボルにできる文字数が異なります。
  *文字数：QRCode の桁数を入力します。
- MaxiCode
  *モード :MaxiCode のモードを選択します。[**モード 2**]、[**モード 3**]を選択する場合、[**Hex 入力モード**]をチェックします。
- GS1 DataBar の設定
  *モジュール:GS1 DataBar のモジュール幅を設定します。
  *キャラクター数 :GS1 DataBar の最大幅を設定します。
- AztecCode の設定
  *タイプ :AztecCode のタイプを選択します。
  *レイヤーの数 :AztecCode のレイヤー数を指定します。
  [**最小化する**] : 自動的に最小のレイヤー数に最適化します。
  [**サイズを指定する**] : 入力ボックスで指定したレイヤー数にします。
  *セルのサイズ :AztecCode のセル(モジュール)のサイズを設定します。
  *エラー訂正領域 :AztecCode　のエラー訂正領域を以下のどちらかで指定します。シンボルの一部が破損してもデータを読み取ることができ、数字が大きいほど復元率が高くなります。
  [**デフォルト 値**] : デフォルト 値は 23%+3 コードワードです。
  [**パーセンテージで指定する**] : エラー訂正領域を入力ボックスに入力したパーセンテージで指定します。
- DataMatrix の設定
  *セルのサイズ :DataMatrix のセル(モジュール)のサイズを設定します。
  *セルの数 :DataMatrix のセルの数を指定します。
  [**最小化する**] : 自動的に最小のセルの数に最適化します。
  [**サイズを指定する**] : 選択したサイズに設定します。
- DataMatrix（長方形）の設定
  *セルのサイズ :DataMatrix のセル(モジュール)のサイズを設定します。
  *縦方向のセルの数 :DataMatrix の縦方向のセルの数を指定します。
  *横方向のセルの数 :DataMatrix の横方向のセルの数を指定します。
  [**最小化する**] : 自動的に最小のセルの数に最適化します。
  [**サイズを指定する**] : 選択したサイズに設定します。

❏ 以下は、２次元シンボルのモジュールの推奨値です。

- バーコード / ２次元シンボルフォント設定の推奨値（スタック型２次元シンボル）
  （シンボル：PDF417, GS1 DataBar ｽﾀｯｸ, GS1 DataBar ｽﾀｯｸ・ｵﾑﾆﾃﾞｨﾚｸｼｮﾅﾙ, GS1 DataBar ｴｸｽﾊﾟﾝﾃﾞｯﾄﾞ・ｽﾀｯｸ）

用紙種類	画像解像度（横×縦）（dpi）	印刷状況（*1）	モジュール高さ（*2）	最小ﾓｼﾞｭｰﾙ [360 dpi 単位]		
				ANSI グレード D 以上	ANSI グレード C 以上	ANSI グレード B 以上
普通紙 普通紙ラベル	360x360	紙送りをまたがない場合	3	6 dot	-	-
		紙送りをまたぐ場合		6 dot	-	-
合成紙ラベル マット紙 マット紙ラベル リストバンド 光沢紙ラベル	360x360	紙送りをまたがない場合		4 dot	-	-
		紙送りをまたぐ場合		4 dot	-	-
	720x360	紙送りをまたがない場合		4 dot	-	-
		紙送りをまたぐ場合		4 dot	-	-

-：保証外

*1：２次元シンボルが紙送りをまたぐかまたがないかは、印刷プレビュー機能の［ **紙送り位置表示** ］-［ **印刷プレビューに表示する** ］で確認できます。印刷プレビュー機能については、126 ページ「印刷プレビュー」を参照してください。

*2：PDF417 を使用する場合の推奨値。

•バーコード / 2 次元シンボルフォント設定の推奨値（マトリックス型 2 次元シンボル）
（シンボル：QR Code, DataMatrix）

用紙種類	画像解像度（横×縦）（dpi）	印刷状況（*1）	最小ｾﾙｻｲｽﾞ[360 dpi 単位]		
			ANSI グレード D 以上	ANSI グレード C 以上	ANSI グレード B 以上
普通紙 普通紙ラベル	360x360	紙送りをまたがない場合	6 dot	-	-
		紙送りをまたぐ場合	8 dot	-	-
合成紙ラベル マット紙 マット紙ラベル リストバンド 光沢紙ラベル	360x360	紙送りをまたがない場合	5 dot	6 dot（*2）	
		紙送りをまたぐ場合	6 dot	7 dot	-
	720x360	紙送りをまたがない場合	5 dot	6 dot（*2）	
		紙送りをまたぐ場合	6 dot	7 dot	-

-：保証外

*1：2 次元シンボルが紙送りをまたぐかまたがないかは、印刷プレビュー機能の［ **紙送り位置表示** ］-［ **印刷プレビューに表示する** ］で確認できます。印刷プレビュー機能については、126 ページ「印刷プレビュー」を参照してください。

*2：QR Code のみ。

3 ［追加］をクリックします。

設定した 2 次元シンボルフォントが登録され、フォントリストにフォント名が追加されます。

参考

- 2 次元シンボルフォントは、30 個まで登録できます。
- フォントリストのフォント名を選択し、設定を変更してから［保存］をクリックすると、設定した 2 次元シンボルフォントの設定を上書き保存できます。
- フォントリストのフォント名を選択し、［削除］をクリックすると、設定した 2 次元シンボルフォントを削除できます。
- ［テスト印刷］の入力ボックスにテキストを入力し、［印刷］をクリックすると、設定内容に従ってテスト印刷が行われます。

2 次元シンボルデータの指定方法

2 次元シンボルデータは以下を参照して指定してください。

> **参考** コンポジット シンボルと HRI 文字については、111 ページ「バーコードデータの指定方法」を参照してください。

PDF417

- ❏ 桁数と段数が 0 の場合、自動計算されます。
- ❏ 0 以外を指定する場合、桁数と段数の積が 928 以下になるように指定してください。

QRCode

- ❏ 指定されたバージョンよってサイズが決定されます。指定されたバージョンに収まらない場合、収まるバージョンに自動的に変更されます。

MaxiCode

- ❏ モード 2 か 3 の場合のヘッダー、2 次メッセージは省略可能です。
- ❏ 特殊キャラクタは以下の形式で指定してください。

制御キャラクタ	16 進数表記
SHIFT	0x7B,0x53
CODE B	0x7B,0x42
CODE C	0x7B,0x43
FNC1	0x7B,0x31
FNC2	0x7B,0x32
FNC3	0x7B,0x33
FNC4	0x7B,0x34

GS1 DataBar スタック / GS1 DataBar スタック・オムニディレクショナル

- ❏ データは 13 桁まで指定できます。
- ❏ データの先頭にアプリケーション識別子 01 を含めないでください。
- ❏ データにチェックディジットを付加する必要はありません。

GS1 DataBar エクスバンデッド・スタック

- ❏ GS1 DataBar エクスバンデッドを多段シンボルにしたものです。データの指定方法は GS1 DataBar エクスバンデッドと同じです。（詳細は 116 ページ「GS1 DataBar エクスバンデッド」を参照）

AztecCode

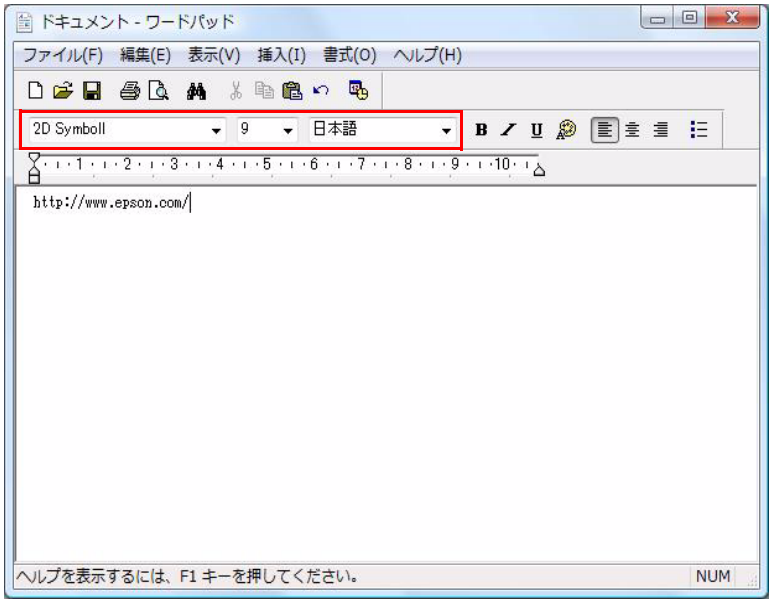
- ❏ フルレンジモードとコンパクトモードをサポートしています。

DataMatrix

- ❏ ECC200 バージョンの正方形および長方形をサポートしています。

印刷方法

印刷データに、設定した 2 次元シンボルフォント、指定ポイント、言語を指定し、印刷します。



注意

2 次元シンボルのフォント サイズは、[指定ポイント] の値から変更できません。それ以外の値を指定すると、2 次元シンボルは印刷されません。

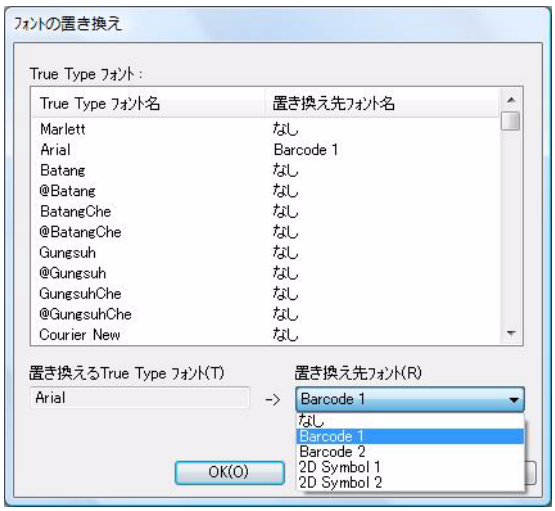
.NET 環境でバーコード /2 次元シンボル印刷

.NET Framework は、True Type フォントと Open Type フォントだけをサポートしているため、アプリケーションから、プリンタードライバーに登録されたバーコード /2 次元シンボルフォントを印刷できません。このため、プリンタードライバーのフォント置き換え機能を使って、True Type フォントをバーコード /2 次元シンボルフォントに置き換えます。これにより .NET Framework 環境のアプリケーションからでも、バーコード /2 次元シンボルフォントを印刷できます。

アプリケーションの印刷データはTrueType フォント名ですが、印刷するとバーコード/2次元シンボルになります。

フォントの置き換え

フォントの置き換えは、[**ドライバーユーティリティー**] タブの [**フォントの置き換え**] で行います。



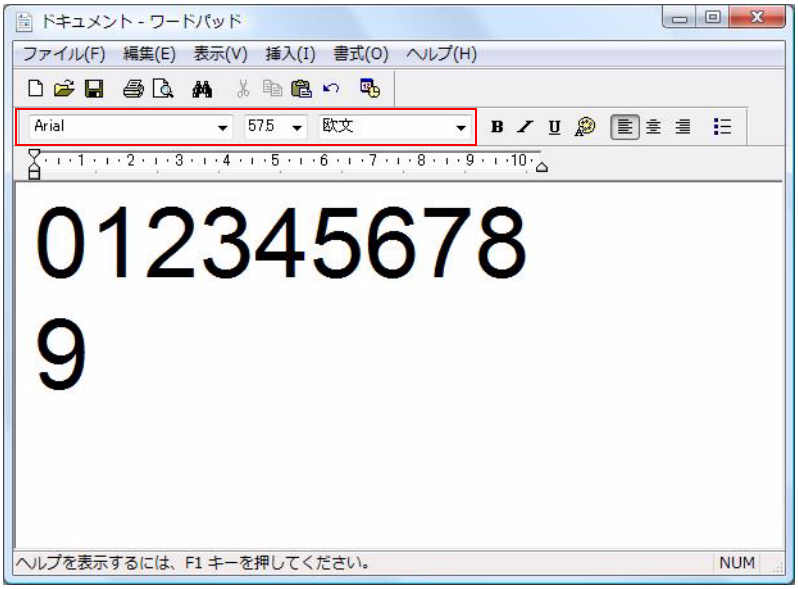
1 以下の設定を行います。

- 置き換える TrueType フォント
  *置き換え元の [TrueType フォント] を選択します。
- 置き換え先フォント
  *置き換える先のバーコード /2 次元シンボルを選択します。

2 [OK] をクリックします。
TrueType フォントが、バーコード /2 次元シンボルに置き換えられます。

バーコード /2 次元シンボルの印刷

印刷データに、バーコード /2 次元シンボルフォントに置き換えた TureType フォント、指定されたポイント数 、言語を指定します。



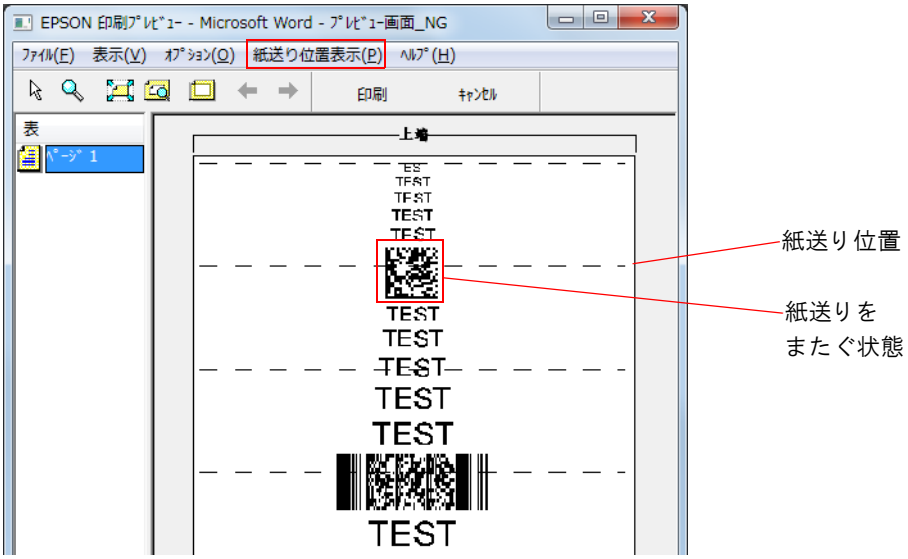
参考

- バーコード /2 次元シンボルのポイント 数は決められています。
  [ドライバーユーティリティー]-[バーコード /2 次元シンボル設定] で確認してください。それ以外の値を指定すると、バーコード /2 次元シンボルは印刷しません。
- 置き換え元の TrueType フォント は、バーコード /2 次元シンボルの指定以外は使用できません。このフォント でほかの文字を指定しても印刷しません。そのため、置き換えフォント には印刷に使用しないフォント を選択してください。

印刷プレビュー

[基本設定] タブの [印刷プレビュー] をチェックすると、アプリケーションから印刷したときに印刷プレビュー画面が表示され、印刷前に印刷結果のイメージを確認できます。
二次元シンボルを印刷する場合などに、紙送り位置をまたぐかどうかを確認できます。

> **参考**
> 二次元シンボルの読み取り率向上のため、二次元シンボルが紙送り位置をまたがないように印刷することをお勧めします。



「紙送り位置表示」では、以下の設定ができます。

項目		説明
紙送り位置表示	紙送り位置の表示	紙送り位置を印刷プレビュー画面に表示します。 初期値は「表示」します。
	紙送り位置を印刷	紙送り位置を印刷します。 初期値は「しない」です。

通知設定

以下の通知設定をします。

- エラー発生時のブザー通知設定
  エラーが発生したとき、ブザーを鳴らすか / 鳴らさないか設定します。（初期設定は [鳴らす] になっています。初期設定で使用する場合、設定の必要はありません）
- インク残量少 LED 通知設定
  インク残量が少なくなったとき、LED を点灯させる /LED を点灯させないか設定します。（初期設定は [LED を点灯させる] になっています。初期設定で使用する場合、設定の必要はありません）
- 用紙違い通知設定
  用紙サイズエラーを検出するか設定します。エラーを検出すると、Error LED と Paper LED を点灯させ、EPSON プリンタウィンドウ !3 を起動している場合、エラー通知します。（初期設定は [エラー通知しない] になっています。初期設定で使用する場合、設定の必要はありません）

設定方法は以下のとおりです。

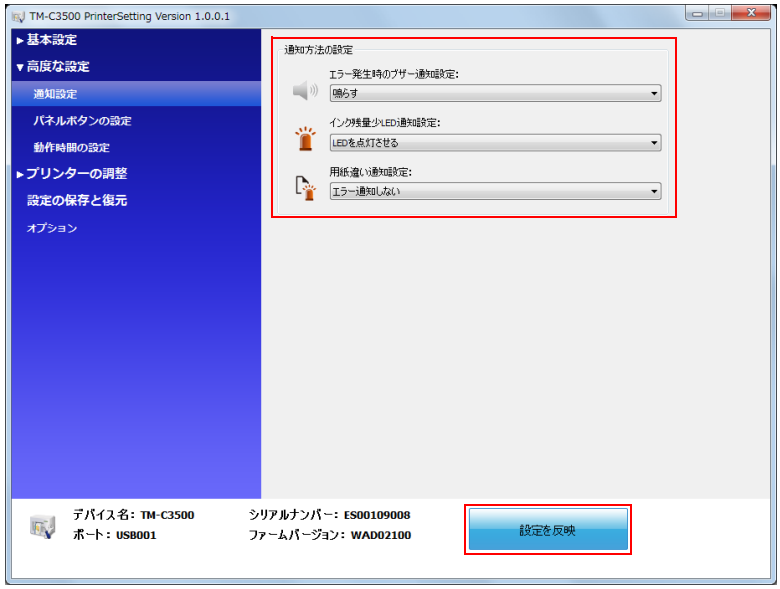
1 プリンターの電源を ON します。

2 プリンタードライバーを表示します。
（ プリンタードライバーの表示方法は、104 ページ「プリンタードライバーの設定」を参照してください）

3 [プリンターユーティリティー] タブを選択し、[プリンター設定] の [プリンターの設定] をクリックします。

4 TM-C3500 PrinterSetting 画面が表示されます。[高度な設定]-[通知設定] を選択します。

5 〝通知設定〟画面が表示されます。各項目を設定します。設定後、[設定を反映] をクリックします。



6 確認画面が表示されます。[はい] をクリックすると、設定がプリンターに送られます。

パネルボタンの設定

本プリンターのパネルボタンの有効 / 無効を設定します。

パネルボタン	パネルボタン操作時の動作	設定
紙送り ボタン	紙送り	有効 / 無効
カット ボタン	用紙のカット	有効 / 無効
クリーニングボタン	ヘッドクリーニング	有効（印字中も有効）/ 有効（印字中は無効）/ 無効

設定方法は以下のとおりです。

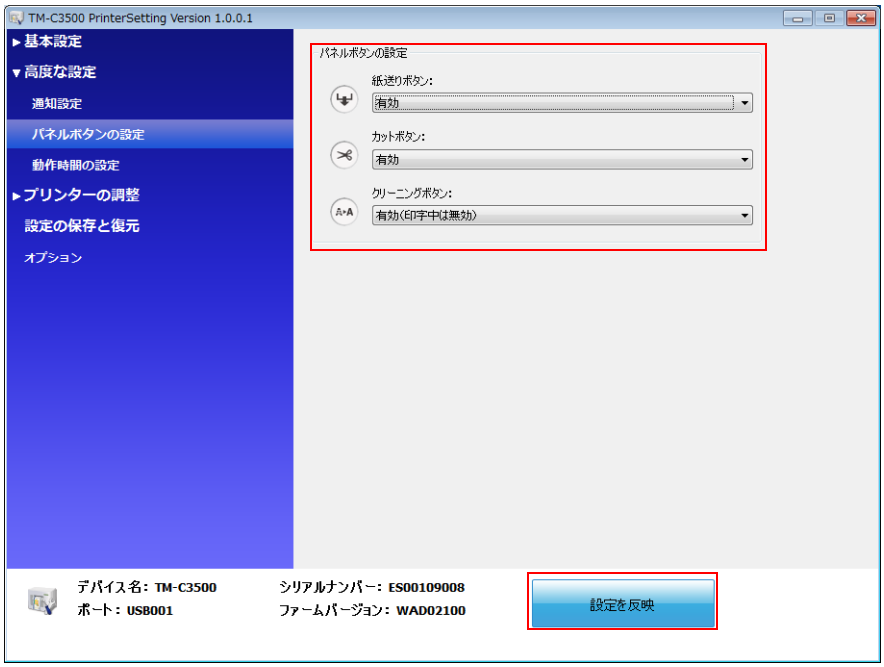
1 プリンターの電源を ON します。

2 プリンタードライバーを表示します。
（プリンタードライバーの表示方法は、104 ページ「プリンタードライバーの設定」を参照してください）

3 [プリンターユーティリティー] タブを選択し、[プリンター設定] の [プリンターの設定] をクリックします。

4 TM-C3500 PrinterSetting 画面が表示されます。[高度な設定]-[パネルボタンの設定] を選択します。

5 〝パネルボタンの設定〟画面が表示されます。各項目を設定します。設定後、[設定を反映] をクリックします。



6 確認画面が表示されます。[はい] をクリックすると、設定がプリンターに送られます。

センサーの調整

使用する用紙の、ラベル間ギャップやブラックマークセンサーを検出できないときに、センサーの閾値を調整することができます。設定方法は以下のとおりです。

1 設定する用紙を、プリンターにセットします。

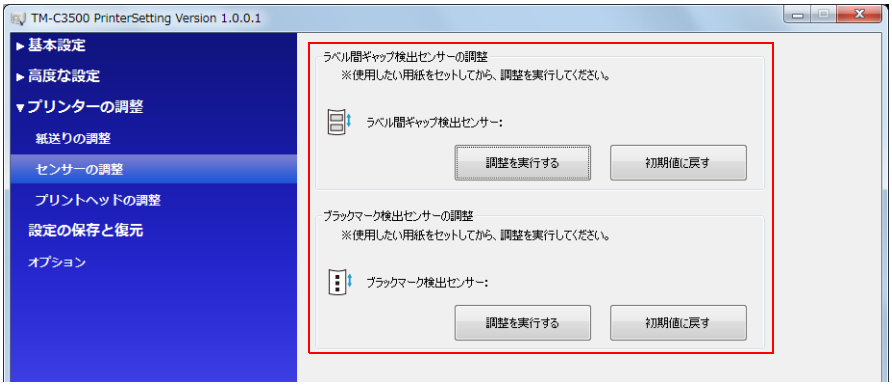
2 プリンターの電源を ON します。

3 プリンタードライバーを表示します。
（プリンタードライバーの表示方法は、104 ページ「プリンタードライバーの設定」を参照してください）

4 [プリンターユーティリティー] タブを選択し、[プリンター設定] の [プリンターの設定] をクリックします。

5 TM-C3500 PrinterSetting 画面が表示されます。[プリンターの調整]-[センサーの調整] を選択します。

6 ″センサーの調整″画面が表示されます。調整するセンサーの[調整を実行する]のボタンをクリックします。



7 確認画面が表示されます。[はい] をクリックすると、センサーが調整されます。

プリンターの設定

用紙位置検出設定

本プリンターは、4 種類の [用紙位置検出設定] ができます。[給紙装置設定] と [用紙位置検出設定] には以下の関係があります。

❏ 全面ラベル／連続紙／透明台紙全面ラベル
用紙の有無のみを検出します。用紙に対する位置合わせは行ないません。

❏ ダイカットラベル（BM 基準）
ブラックマーク付きダイカットラベルをブラックマーク基準で位置合わせを行う際に、ブラックマーク上端位置に対して、印刷位置、オートカット位置合わせを行います。

❏ ブラックマーク連続紙
ブラックマーク付き連続紙をブラックマーク基準で位置合わせを行う際に、ブラックマーク上端位置に対して、印刷位置、オートカット位置合わせを行います。

❏ ダイカットラベル（ギャップ基準）／透明台紙ダイカットラベル
ダイカットラベル紙をギャップ基準で位置合わせを行う際に、ラベル上端位置に対して、印刷位置、オートカット位置合わせを行います。

用紙位置検出設定	給紙装置設定	
	ロール紙	フ ァンフォールド紙
全面ラベ ル／ 連続紙 ／ 透明台紙全面ラベ ル	有効	無効
ダイカット ラベ ル（BM 基準）	有効	有効
ブラックマーク連続紙	有効	有効
ダイカット ラベ ル（ギャップ基準）／ 透明台紙ダイカット ラベ ル	有効	無効

印刷動作モードの設定

印刷動作モードの設定には以下のモードがあります。（初期設定では [誤読防止モード] に設定されています。初期設定で使用する場合、設定の必要はありません）

- ドット抜け防止モード
- 誤読防止モード
- 誤色防止モード
- ドット抜け検出なしモード

（各モードの詳細は 20 ページ「自動ノズルチェックシステム」を参照してください）

モードの設定方法

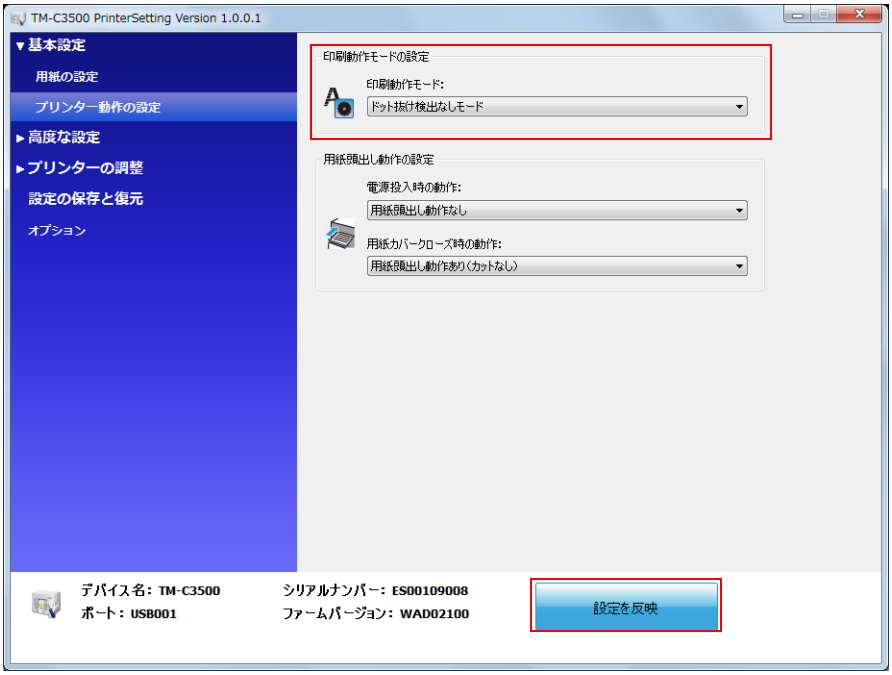
1 プリンターの電源を ON します。

2 プリンタードライバーを表示します。
（プリンタードライバーの表示方法は、104 ページ「プリンタードライバーの設定」を参照してください）

3 [プリンターユーティリティー] タブを選択し、[プリンター設定] の [プリンターの設定] をクリックします。

4 TM-C3500 PrinterSetting 画面が表示されます。
[基本設定]-[プリンター動作の設定] を選択します。

5 〝プリンター動作の設定〟画面が表示されます。[印刷動作モードの設定] の [印刷動作モード] を設定します。[設定を反映] をクリックします。



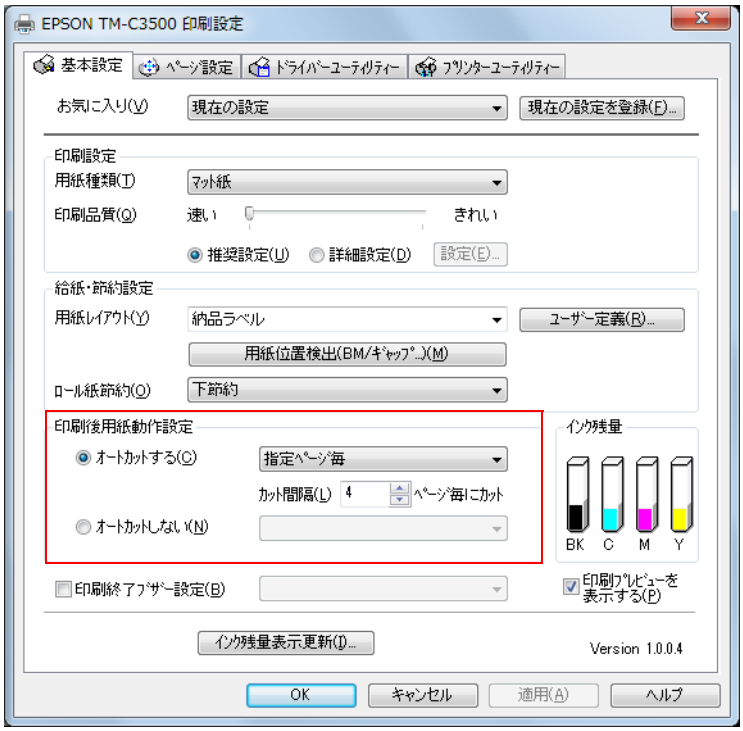
6 確認画面が表示されます。[はい] をクリックすると、設定がプリンターに送られます。

印刷後用紙動作設定

印刷後のオートカットの有無や、紙送りの設定をします。

1 プリンタードライバーを表示します。
（プリンタードライバーの表示方法は、104 ページ「プリンタードライバーの設定」を参照してください）

2 [基本設定] タブの [印刷後用紙動作設定] の設定をします。



設定		説明
オート カット する	ページ毎	印刷終了後、オート カット が可能な位置まで紙送りを行い、毎ページごとにオート カット します。 次の印刷開始時には逆方向紙送りによる頭出しを行い、印刷を開始します。
	最終ページのみ	印刷終了後、オート カット が可能な位置まで紙送りを行い、最終ページのみオート カット します。 次の印刷開始時には逆方向紙送りによる頭出しを行い、印刷を開始します。
	指定ページ毎	カット 間隔を設定します。 印刷終了後、オート カット が可能な位置まで紙送りを行い、設定されたカット 間隔でオート カット します。 次の印刷開始時には逆方向紙送りによる頭出しを行い、印刷を開始します。

設定		説明
オート カット し ない	カット 位置まで移動	印刷終了後に オート カット が可能な位置まで紙送りを行い停止します。オート カット は行いません。カット ボタンによる用紙カット は可能です。 次の印刷開始時には逆方向紙送りによる頭出しを行い、印刷を開始します。
	ハクリ 位置まで移動	印刷終了後にダイカット ラベルが ハクリ 可能な位置まで紙送りを行い、停止します。カット ボタンによる用紙カット は可能です。 次の印刷開始時には、逆方向紙送りによる頭だしを行い、印刷を開始します。

3 [OK] をクリックします。
印刷後の用紙動作設定が適用、保存されます。

用紙頭出し動作設定

プリンターの電源 ON 時 / 用紙カバークローズ時の、用紙頭出し動作の設定をします。
プリンターの電源 ON 時 / 用紙カバークローズ時の、用紙頭出し動作には以下の種類があります。（初期設定は [用紙頭出し動作あり（カットあり）] になっています。初期設定で使用する場合、設定の必要はありません）

電源投入時の動作

設定	内容
用紙頭出し 動作あり（カット あり）	用紙位置検出設定 : [ダイカット ラベル(BM 基準)], [ブラックマーク連続紙], [ダイカット ラベル（ギャップ基準）/ 透明台紙ダイカット ラベル] ブラックマーク検出器、もしくはラベル検出器により、ブラックマーク上端 /ラベル上端を検出し、頭出しをします。紙送り終了後にオート カット を行い、待機状態になります。 用紙位置検出設定 : [全面ラベル/ 連続紙 / 透明台紙全面ラベル] 一定量の紙送りを行います。紙送り終了後にオート カット を行い、待機状態になります。
用紙頭出し 動作あり（カット なし）	用紙位置検出設定 : [ダイカット ラベル(BM 基準)], [ブラックマーク連続紙], [ダイカット ラベル（ギャップ基準）/ 透明台紙ダイカット ラベル] ブラックマーク検出器、もしくはラベル検出器により、ブラックマーク上端 /ラベル上端を検出し、頭出しをします。紙送り終了後にオート カット せず、待機状態になります。 用紙位置検出設定 : [全面ラベル/ 連続紙 / 透明台紙全面ラベル] 一定量の紙送りを行います。紙送り終了後にオート カット せず、待機状態になります。
用紙頭出し 動作なし	頭出し動作、紙送りしません。

用紙カバークローズ時の動作

設定	内容
用紙頭出し動作あり（カット あり）	用紙位置検出設定：[ダイカット ラベル(BM 基準)], [ブラックマーク連続紙], [ダイカット ラベル（ギャップ基準）/ 透明台紙ダイカット ラベル] ブラックマーク検出器、もしくはラベル検出器により、ブラックマーク上端 /ラベル上端を検出し、頭出しをします。紙送り終了後にオート カットを行い、待機状態になります。 用紙位置検出設定：[全面ラベル/ 連続紙 / 透明台紙全面ラベル] 一定量の紙送りを行います。紙送り終了後にオート カットを行い、待機状態になります。
用紙頭出し動作あり（カット なし）	用紙位置検出設定：[ダイカット ラベル(BM 基準)], [ブラックマーク連続紙], [ダイカット ラベル（ギャップ基準）/ 透明台紙ダイカット ラベル] ブラックマーク検出器、もしくはラベル検出器により、ブラックマーク上端 /ラベル上端を検出し、頭出しをします。紙送り終了後にオート カット せず、待機状態になります。 用紙位置検出設定：[全面ラベル/ 連続紙 / 透明台紙全面ラベル] 一定量の紙送りを行います。紙送り終了後にオート カット せず、待機状態になります。

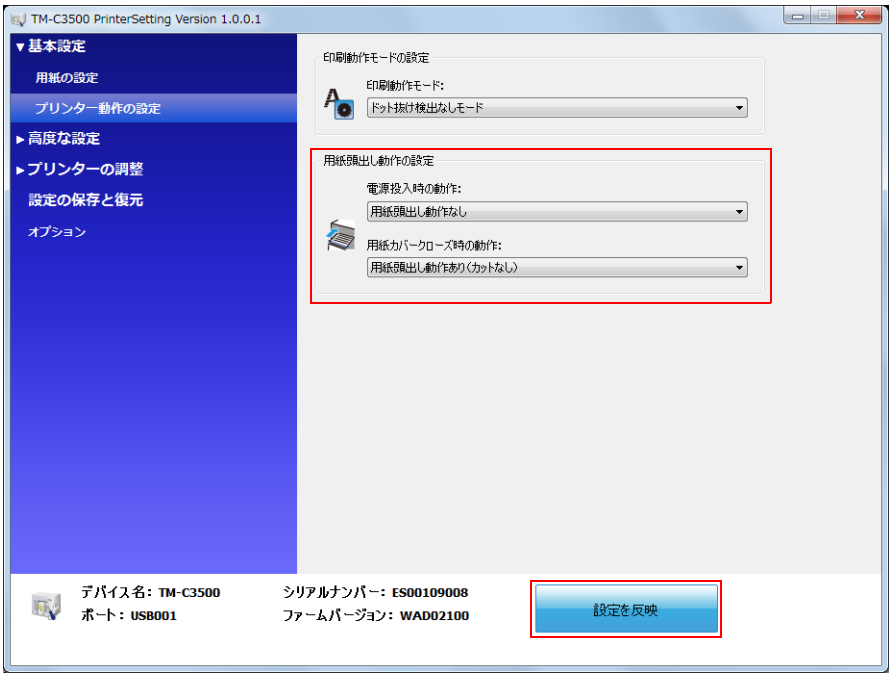
1 プリンターの電源を ON します。

2 プリンタードライバーを表示します。
（プリンタードライバーの表示方法は、104 ページ「プリンタードライバーの設定」を参照してください）

3 [プリンターユーティリティー] タブを選択し、[プリンター設定] の [プリンターの設定] をクリックします。

4 TM-C3500 PrinterSetting 画面が表示されます。
[基本設定]-[プリンター動作の設定] を選択します。

5 ″プリンター動作の設定″画面が表示されます。[用紙頭出し動作の設定]の各項目を設定します。[設定を反映] をクリックします。



6 確認画面が表示されます。[はい] をクリックすると、設定がプリンターに送られます。

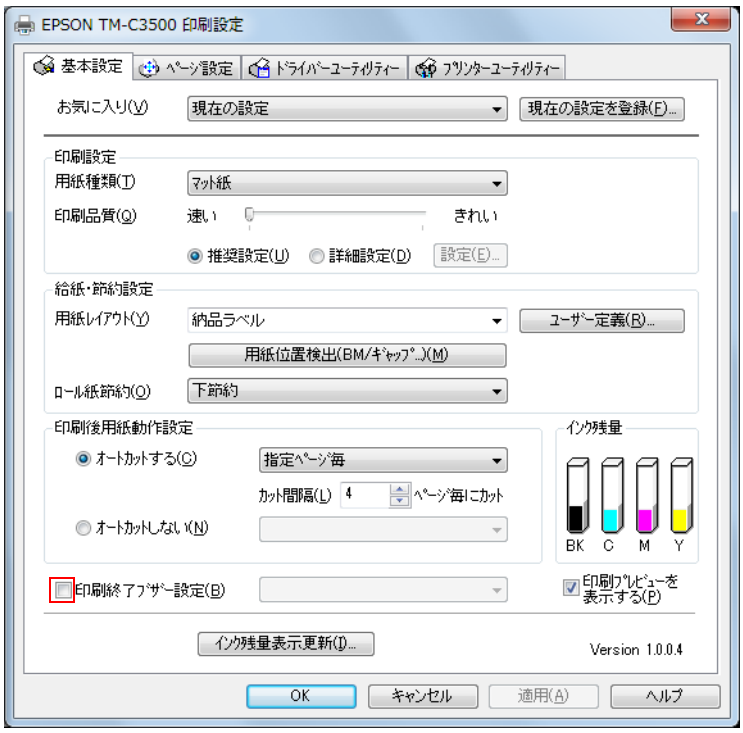
ブザー

印刷後のブザー鳴動の有無や、鳴動のタイミングを設定します。

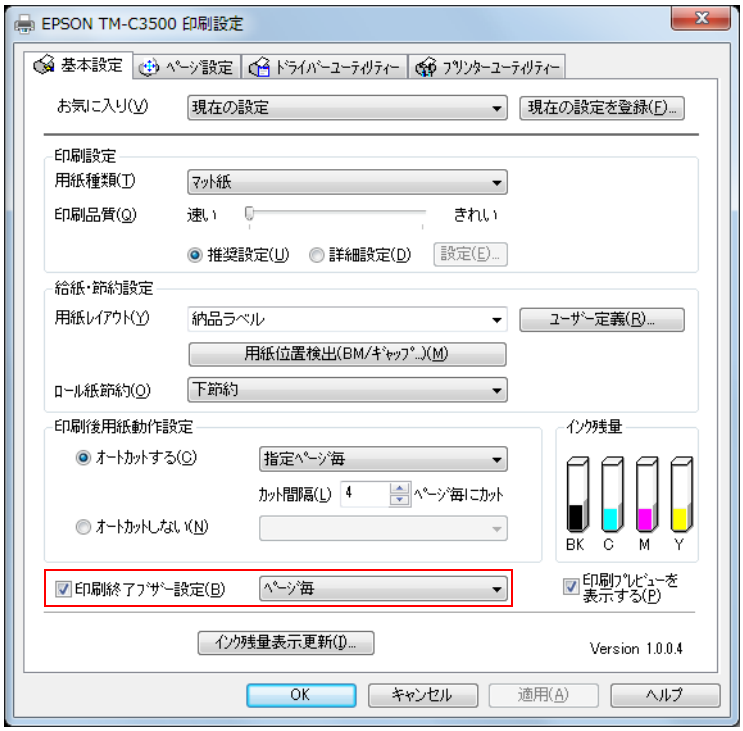
1 プリンタードライバーを表示します。
（プリンタードライバーの表示方法は、104 ページ「プリンタードライバーの設定」を参照してください）

ブザーを鳴らさない	手順 2 へ進んでください。
ブザーを鳴らす	手順 3 へ進んでください。

2 [基本設定] タブの [印刷終了ブザー] のチェックを外します。
手順 4 へ進みます。



3 [印刷終了ブザー] にチェックを入れ、ブザー鳴動のタイミングを選択します。
手順 4 へ進みます。



設定	説明
ページ毎	各ページ印刷終了後、ブザーを鳴動します。
最終ページのみ	最終ページ印刷終了後、ブザーを鳴動します。

4 [OK] をクリックします。
ブザー鳴動の設定が適用、保存されます。

ネットワークインターフェイス

本プリンターの Ethernet インターフェイスの情報は以下のとおりです。

工場出荷時設定

本プリンターの工場出荷時設定は以下の通りです。

項目	初期値
IP アドレス設定モード	手動
IP アドレス	192.168.192.168
Hostname	EPSONxxxxxx （xxxxxx には、MAC アドレスの回 6 桁が入ります。）
Domain name	設定なし

工場出荷時設定への初期化

本プリンターの Ethernet インターフェイスは、以下の手順で初期化します。

1 本プリンターの電源が入っていない事を確認します。

2 ステータスシートボタンを押したまま電源を投入し、そのまま 10 秒以上押し続けます。

トラブルシューティング

エラー時の対処方法

エラー時の対処方法は以下のとおりです。

LCD 表示	エラー内容	対処方法
ﾖｳｼｹｲﾀｲｴﾗｰ	「用紙位置検出設定」に対してセットされた用紙形態が異なります。	• 用紙位置検出設定に合った用紙を使用してください。 • 用紙にあわせて用紙位置検出設定を設定してください。
ﾖｳｼｻｲｽﾞｴﾗｰ	印刷データの大きさに対して用紙サイズが異なります。	• 印刷領域のサイズに合った用紙をセットしてください。 • 用紙サイズに合わせて印刷領域を設定してください。
ﾖｳｼﾂﾞﾏﾘｴﾗｰ ## ##: 59	ファンフォールド紙設定のプリンターでロール紙をセットしました。	給紙装置に合った用紙をセットしてください。 用紙のセット方法は、90 ページ「ロール紙からファンフォールド紙に交換」または 98 ページ「ファンフォールド紙からロール紙に交換」を参照してください。
ﾖｳｼﾂﾞﾏﾘｴﾗｰ ## ##: 01 ～ 0E, 44, 55 ～ 5C, 80	用紙詰まりが発生しました。	紙詰まりを取り除いた後、用紙をセットしてください。 用紙のセット方法は、90 ページ「ロール紙からファンフォールド紙に交換」または 98 ページ「ファンフォールド紙からロール紙に交換」を参照してください。
ﾖｳｼｼﾞｮｷｮｴﾗｰ	プリンター内にファンフォールド紙が残っている状態で、ファンフォールド紙が挿入されました。	紙出口部にある用紙を取り除いた後、用紙をセットしてください。
ﾖｳｼﾅｼ	用紙がありません。	用紙をセットしてください。 用紙のセット方法は、90 ページ「ロール紙からファンフォールド紙に交換」または 98 ページ「ファンフォールド紙からロール紙に交換」を参照してください。
ﾖｳｼﾅｼｴﾗｰ	用紙がありません。	
ﾛｰﾙｼｶﾊﾞｰｵｰﾌﾟﾝ	ロール紙カバーが開いています。	ロール紙カバーを閉じてください。
ｲﾝｸｶﾊﾞｰｵｰﾌﾟﾝ	インクカートリッジカバーが開いています。	インクカートリッジカバーを閉じてください。
ｲﾝｸｶｰﾄﾘｯｼﾞﾅｼ	インクカートリッジが装着されていません。	十分な残量のあるインクカートリッジを取り付けてください。 取り付け方法は 85 ページ「インクカートリッジの交換」を参照してください。
ｲﾝｸｶｰﾄﾘｯｼﾞｴﾗｰ	インクカートリッジの情報が読み取れません。	• インクカートリッジを取り付けなおしてください。 • 再度エラーが発生する場合は、新しいインクカートリッジに交換してください。 取り付け方法は 85 ページ「インクカートリッジの交換」を参照してください。

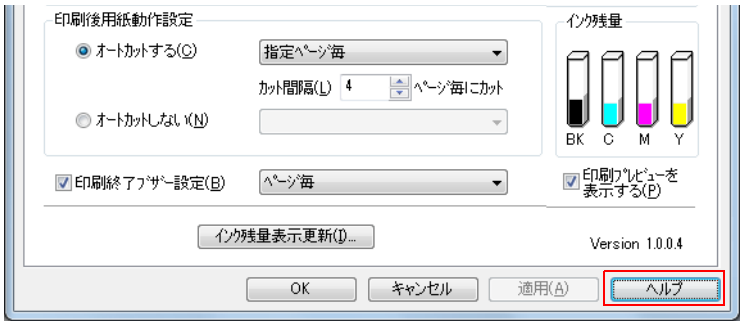
LCD 表示	エラー内容	対処方法
ﾒﾝﾃﾅﾝｽｶﾊﾞｰｵｰﾌﾟﾝ	メンテナンスボックスカバーが開いています。	メンテナンスボックスカバーを閉じてください。
ﾒﾝﾃﾅﾝｽﾎﾞｯｸｽﾅｼ	メンテナンスボックスが装着されていません。	十分な残量のあるメンテナンスボックスを取り付けてください。 取り付け方法は、88 ページ「メンテナンスボックスの交換」を参照してください。
ﾒﾝﾃﾅﾝｽﾎﾞｯｸｽｴﾗｰ	メンテナンスボックスの情報が読み取れません。	• メンテナンスボックスを取り付けなおしてください。 • 再度エラーが発生する場合は、新しいメンテナンスボックスに交換してください。 取り付け方法は、88 ページ「メンテナンスボックスの交換」を参照してください。
ｲﾝｸｶｰﾄﾘｯｼﾞｺｳｶﾝ	インクカートリッジが交換時期です。	十分な残量のあるインクカートリッジに交換してください。 取り付け方法は 85 ページ「インクカートリッジの交換」を参照してください。
ﾒﾝﾃﾅﾝｽﾎﾞｯｸｽｺｳｶﾝ	メンテナンスボックスが交換時期です。	十分な残量のあるメンテナンスボックスに交換してください。 取り付け方法は、88 ページ「メンテナンスボックスの交換」を参照してください。
ﾉｽﾞﾙﾂﾏﾘｱﾘ	回復できないノズル詰まりが発生しています。	印刷結果を確認し、印刷結果に満足出来ない場合は修理してください。
ｶｯﾄﾄﾞｳｻﾌｶｼﾞｮｳﾀｲ	用紙が同じ位置のまま、二度以上オートカットを実行しようとしています。	紙片の発生を防止するため、間に紙送りなしにオートカットを二度以上実行しません。オートカットは不要です。
ｻｰﾋﾞｽｺｰﾙﾏｼﾞｶ ##	寿命超過が間近です。	プリンター内部品の寿命超過が間近であるため、プリンターの交換や交換用プリンターを準備してください。
ﾌﾟﾘﾝﾀｰｴﾗｰ ## ##：7B, 7C	環境温度が仕様外です。	環境温度が低すぎるか（7B）、または高すぎる（7C）。 環境温度を 10 ℃以上 35 ℃以下にし、電源を入れなおしてください。
ﾌﾟﾘﾝﾀｰｴﾗｰ ## ##:20 ～ 54, 64 ～ 75, A9, B0 ～ DA	紙詰まり オートカット動作不良 異常環境温度 故障	1. 電源を OFF します。 2. ロール紙カバーを開けます。 3. 紙詰まりがないか確認します。紙詰まりがある場合は、紙を取り除きます。 4. 用紙をセットし直します。 5. 電源を ON します。 再度エラーが発生する場合、修理を行ってください。
ｻｰﾋﾞｽｺｰﾙ ##	寿命超過	修理をしてください。
ｱｯﾌﾟﾃﾞｰﾄﾁｭｳ	ファームウェアアップデートに失敗しました。	電源を OFF/ON し、再度エラーが発生する場合、修理をしてください。

ドライバーのヘルプ

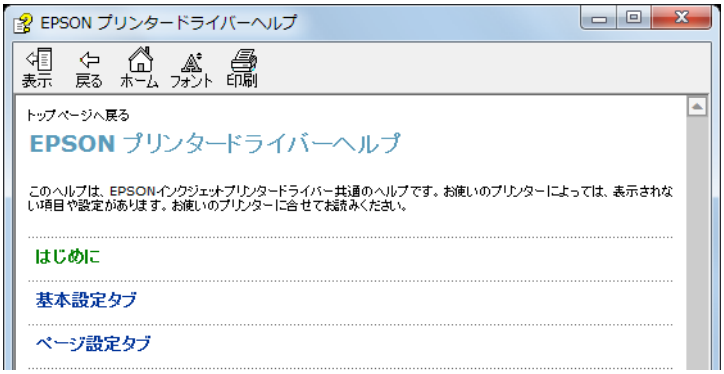
ドライバーのヘルプを参照して、エラーに対処することができます。
ドライバーの ＬＣＤ 表示に対するトラブルシューティングの表示方法は以下のとおりです。

1 プリンタードライバーを表示します。
（プリンタードライバーの表示方法は、104 ページ「プリンタードライバーの設定」を参照してください）

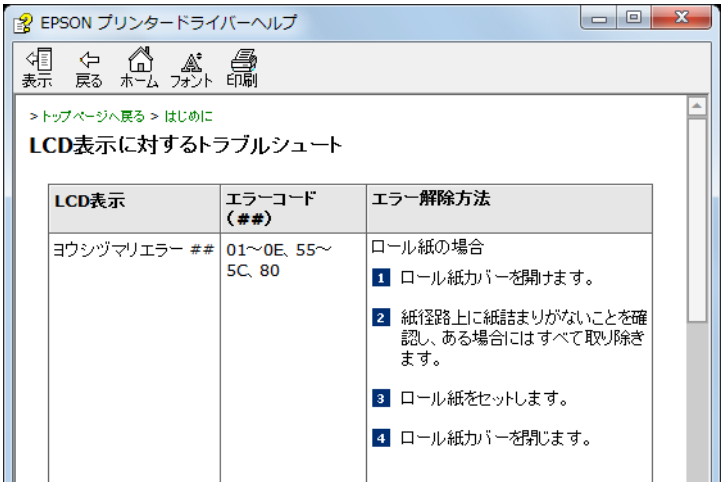
2 画面の右下の [ヘルプ] をクリックします。



3 ″EPSON プリンタードライバーヘルプ″ 画面が表示されます。トップページから [はじめに]-[LCD 表示に対するトラブルシューティング] を選択します。
[ホーム] ボタンをクリックするとトップページに移動します。



4 ″LCD 表示に対するトラブルシューティング″ が表示されます。



印刷テスト

プリンターの各種設定状態を確認するために、通常印字のほかにセルフテストとステータスシートの印刷を行うことができます。

セルフテスト

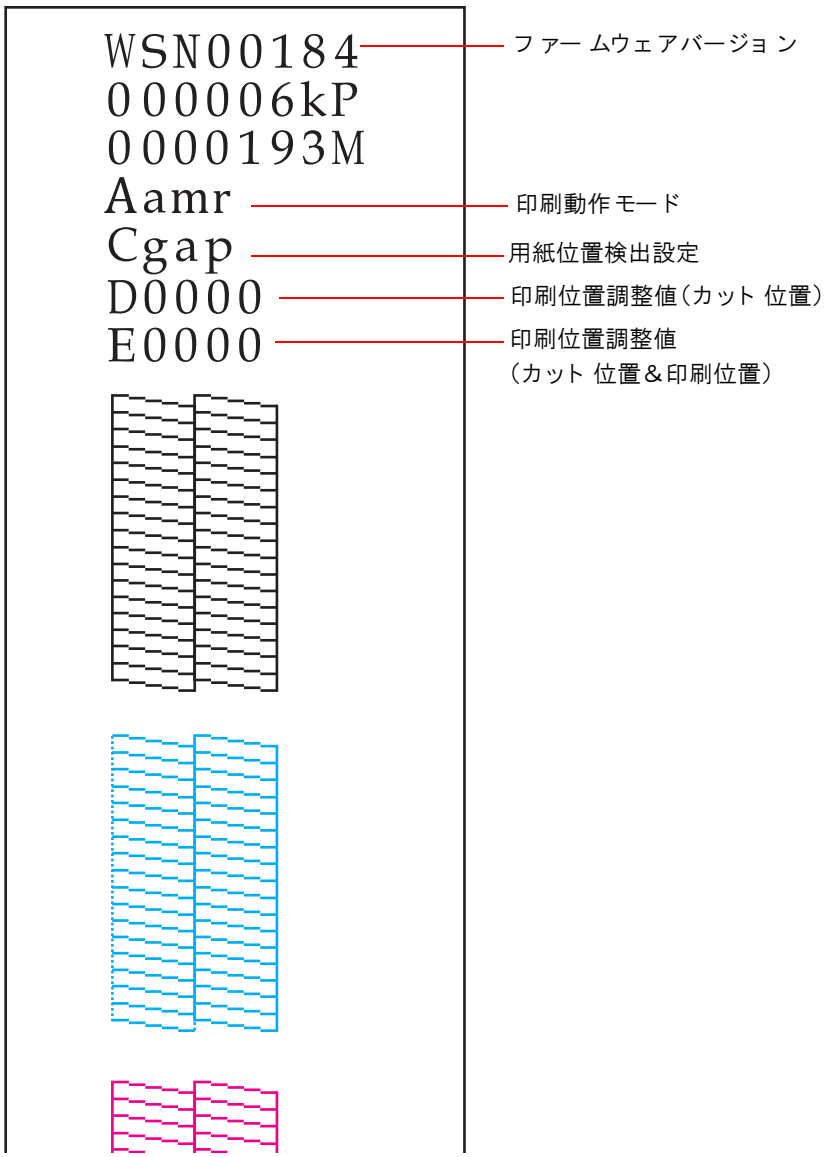
セルフテストを行い、ドット抜けなどの印字不良が発生していないか確認できます。また、ファームウェアのバージョン、印刷動作モード、用紙位置検出設定を確認できます。

セルフテストの方法は以下のとおりです。

1 長さ 90 mm 以上のダイカットラベル、連続紙、または全面ラベルをセットします。

2 紙送りボタンを押しながら電源スイッチをオンにします。(電源 LED が点滅を始めるまで電源スイッチを離さないでください。)

以下のテストパターンが印刷されます。



ステータス		説明
印刷動作 モード	Aamd	ドット 抜け防止 モード
	Aamr	誤読防止 モード
	Aamc	誤色防止 モード
	Anod	ドット 抜け検出なし モード
用紙位置検出設定	Cnod	全面 ラベ ル／連続紙 ／透明台紙全面 ラベ ル
	Cbmd	ダイカット ラベ ル（BM 基準）
	Cbmc	ブラック マーク連続紙
	Cgap	ダイカット ラベ ル（ギャップ基準）／ 透明台紙ダイカット ラベ ル

ステータスシート の印刷

ステータスシートの印刷を行い、ネットワークの設定状態を確認できます。
プリンター背面のステータスシートボタンを押すと、以下のステータスシートが印刷されます。

> **参考** ステータスシート ボタンを押しながら、プリンターの電源を ON し、ボタンを押した状態で 20 秒ほど待つとネット ワーク設定が初期値に戻ります。

EPSON Network Status Sheet

1. MAC Address	XX : XX : XX : XX : XX : XX	
2. HW/SW Version	XX . XX/XX . XX	
3. Network Status	Auto (100Base Full)	Auto (10Base Full/10Base Half/100Base Full/100 Base Half)/10Base Full/10Base Half/100Base Full/100 Base Half
4. Port Type	Auto	Auto/MDI/MDI-X
5. Get IP Address	Manual	Auto/Manual
6. IP Address	XXX . XXX . XXX . XXX	
7. Subnet Mask	XXX . XXX . XXX . XXX	
8. Default Gateway	XXX . XXX . XXX . XXX	
9. APIPA	Disable	Enable/Disable
10. Set using PING	Disable	Enable/Disable
11. DNS Address	Disable	Enable/Disable
	XXX . XXX . XXX . XXX	
	XXX . XXX . XXX . XXX	
	XXX . XXX . XXX . XXX	
12. UPnP	Disable	Enable/Disable
13. Bonjour	Disable	Enable/Disable
14. Port Control LPR	Enable	Enable/Disable
Port 9100	Enable	Enable/Disable
15. Printing Control	Disable	Enable/Disable
16. Time Server	Disable	Enable/Disable
17. Idle Timeout LPR	XXXX sec	
Port 9100	XXXX sec	

プリンターのリセット

プリンターは以下の場合、ハードウェアリセットを行います。

- ❏　リセットスイッチにより初期化機能を実行した場合
- ❏　ファームウェアのアップデートを実行した場合

プリンターのクリーニング

プラテンのクリーニング

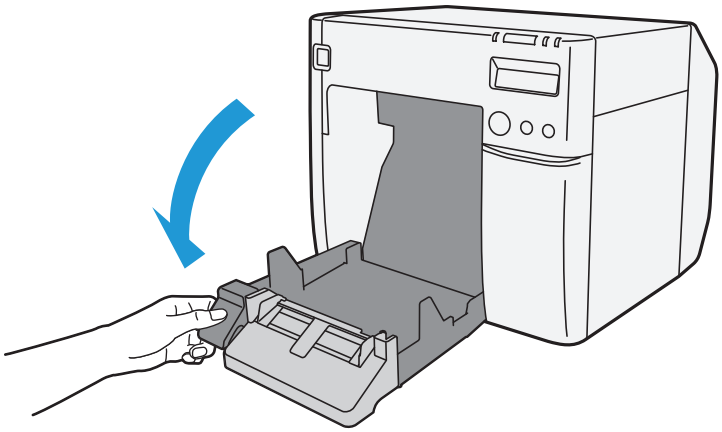
メンテナンスボックス交換時に、メンテナンスボックスに同梱された不織布および綿棒を使用し、以下の手順でプラテンをクリーニングします。

注意

- 水やアルコールは使用しないでください。
- プラテン上のシャッターの位置が変化しないようにしてください。シャッターを正しく開閉しないと、用紙詰まりや用紙汚れの原因となります。
- 3 つの検出器を、変形または破損させないよう注意してください。

1 プリンターの電源を OFF し、AC ケーブルをコンセントから取り外します。

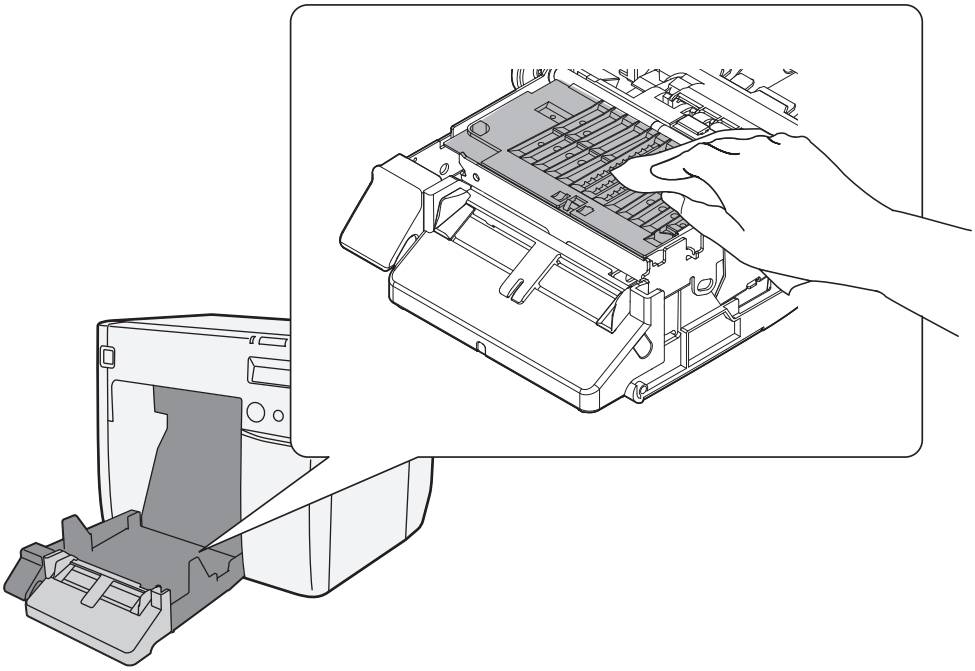
2 リリースレバーを手前に引き、ロール紙カバーを開けます。



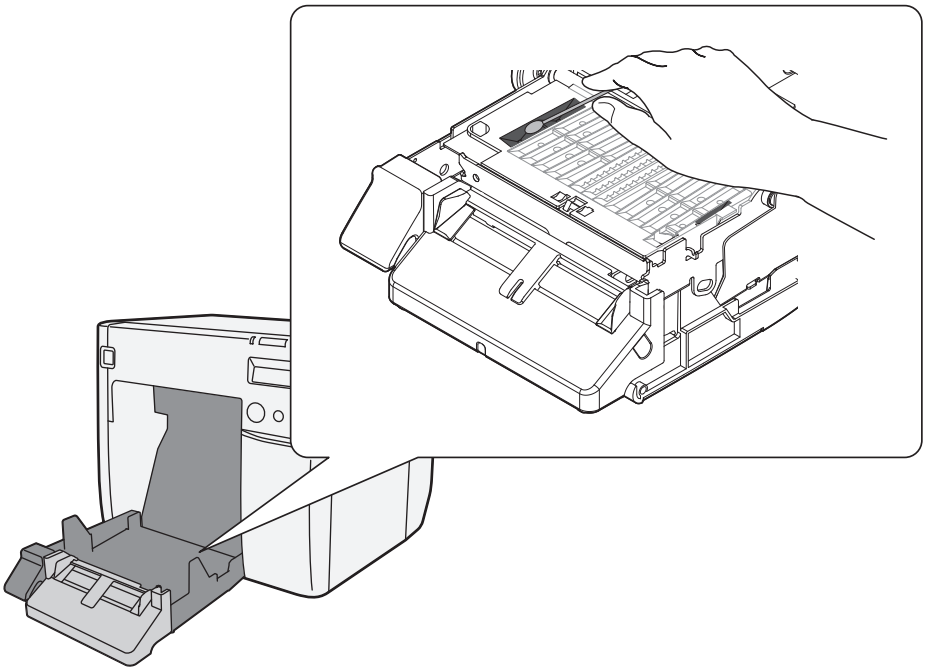
3 ロール紙または、ファンフォールド紙を取り出します。

4 プラテンクリーニング用不織布を使用し、プラテンをクリーニングします。

> **参考**　プラテンにインクが付着していると、手や用紙が汚れる原因となります。また、プラテン上の穴（3か所）が汚れで塞がっていると、プリンター内にインク汚れが発生することがあります。



5 綿棒を使用し、穴や周囲の汚れをクリーニングします。穴が塞がっている場合は汚れを落として必ず貫通させてください。



6 ロール紙カバーを閉じます。

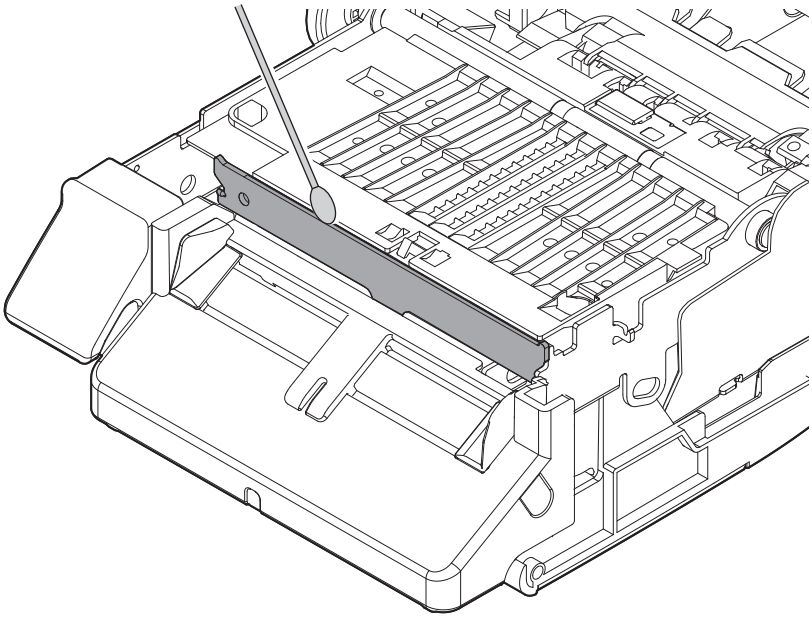
オートカッターのクリーニング

オートカッター固定刃にラベル紙の粘着剤が付着して切れ味が鈍くなる場合があります。
以下の手順でクリーニングしてください。

1 プリンターの電源を OFF し、AC ケーブルをコンセントから取り外します。

2 ロール紙カバーを開き、用紙を取り除きます。

3 ロール紙カバー側のオートカッタ固定刃に付着した粘着物を取り除きます。
アルコールを含ませた綿棒などで取り除いてください。



注意 **オート カッター固定刃の エッジ部分に、指を 直接触れないでく ださい。**
指を けが するおそ れがあり ます。

用紙加工

給紙時に 1 枚目から印刷するための用紙加工

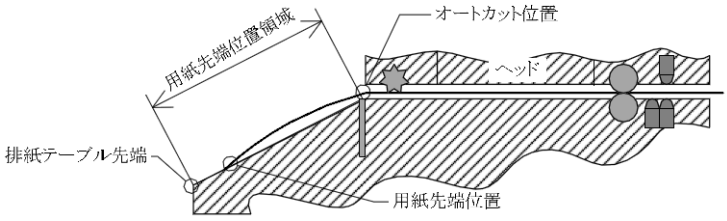
ロール紙

対応可能な用紙形態は以下のとおりです。

- ブラックマーク連続紙
- ダイカットラベル (BM 基準)
- ダイカットラベル (ギャップ基準)
- 透明台紙ダイカットラベル

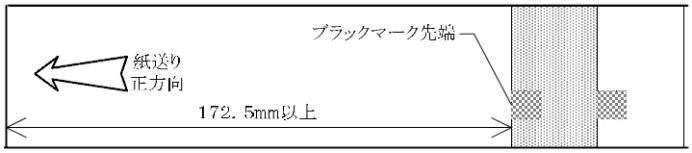
用紙のセット方法

給紙時に、ロール紙の先端がオートカット位置と排出テーブル先端の間にある事を確認し、ロール紙カバーを閉じます。

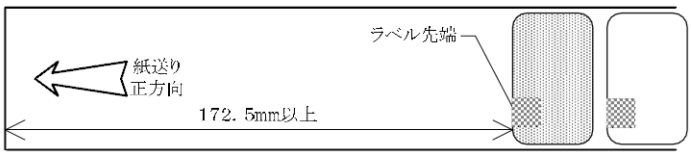


用紙加工方法

- ブラックマーク連続紙
  用紙先端から 172.5mm 以上離れた位置に最初のブラックマーク先端を設けます。
  用紙先端から 172.5mm 未満の位置にはブラックマークを設けないでください。



- ダイカットラベル (BM 基準)、ダイカットラベル (ギャップ基準)、透明台紙ダイカットラベル
  用紙先端から 172.5mm 以上離れた位置に最初のラベル先端を設けます。
  用紙先端から 172.5mm 未満の位置にはラベル、およびブラックマークを設けず、台紙のみの状態としてください。



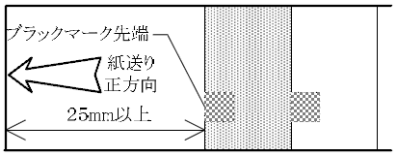
ファンフォールド紙

対応可能な用紙形態は以下のとおりです。

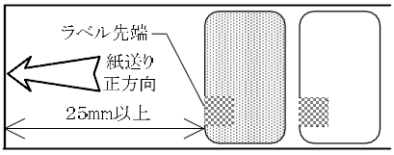
- ブラックマーク連続紙
- ダイカットラベル (BM 基準)

用紙加工方法

- ブラックマーク連続紙
  用紙先端から 25mm 以上離れた位置に最初のブラックマーク先端を設けます。
  用紙先端から 25mm 未満の位置にはブラックマークを設けないでください。



- ダイカットラベル（BM 基準）
  用紙先端から 25 mm 以上離れた位置に最初のラベル先端を設けます。
  用紙先端から 25mm 未満の位置にはラベル、およびブラックマークを設けず、台紙のみの状態としてください。



最後の用紙に印刷するための用紙加工

ロール紙

対応可能な用紙形態は以下のとおりです。

- ブラックマーク連続紙
- ダイカットラベル（BM 基準）
- ダイカットラベル（ギャップ基準）
- 透明台紙ダイカットラベル

用紙巻き始め部と巻き芯とが、糊付けやテープ止めされていないことを確認してください。

印刷後の処理として、〝剥離位置へ移動〟を選択していないことを確認してください。

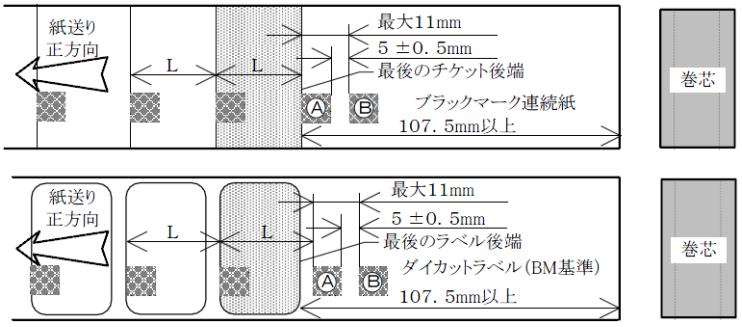
〈ﾌﾟﾘﾝﾀｰﾕｰﾃｨﾘﾃｨ〉ー〈ﾌﾟﾘﾝﾀｰの設定 (P)〉ー〈高度な設定〉ー〈通知の設定〉ー〈用紙違い通知設定〉メニューから〝エラー通知する〟を選択します。

ブラックマーク連続紙、およびダイカットラベル (BM 基準) の場合、〝用紙違い通知設定〟を有効にします。

用紙加工方法

- ブラックマーク連続紙、ダイカットラベル (BM 基準)

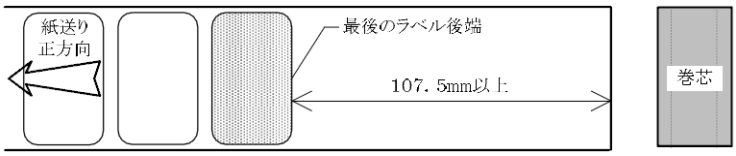
1. 用紙後端と、印刷する最後のチケットやラベルの後端の間に 107.5mm 以上の余白を設けます。
   用紙後端から 107.5mm 未満の位置にはラベルを設けず、台紙のみの状態としてください。
2. 印刷する最後のチケットやラベルの後ろに、ブラックマークを設けます。
   ブラックマークの間隔は、ラベル発行時の間隔と同じです。



3. 手順 2 で設けたブラックマークの後ろに、ブラックマークを設けます。
   ブラックマークの間隔は、手順 2 で設けたブラックマークから 5 ± 0.5 mm、印刷する最後のチケットやラベルの後ろから 11mm 以内の間隔です。

> **注意**　最後のチケット やラベ ルの印刷処理 (オート カット 含む) が正常終了した後、新たな印刷データがプリンターに送信された場合、〝用紙サイズエラー〟が発生し、印刷データを保持した状態でプリンターが停止します。

- ダイカットラベル (ギャップ基準)、透明台紙ダイカットラベル
  用紙後端と、印刷する最後のチケットやラベルの後端の間に 107.5mm 以上の余白を設けます。
  用紙後端から 107.5mm 未満の位置にはラベルを設けず、台紙のみの状態としてください。



注意	最後のチケット やラベルの印刷終了後、″紙なし エラー″が発生し、プリンターが停止します。

ファンフォールド紙

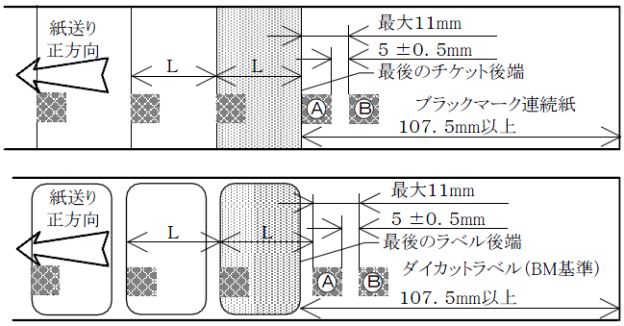
対応可能な用紙形態は以下のとおりです。

- ブラックマーク連続紙
- ダイカットラベル（BM 基準）

印刷後の処理として、″剥離位置へ移動″を選択していないことを確認してください。
〈ﾌﾟﾘﾝﾀｰﾕｰﾃｨﾘﾃｨ〉ー〈ﾌﾟﾘﾝﾀｰの設定 (P)〉ー〈高度な設定〉ー〈通知の設定〉ー〈用紙違い通知設定〉メニューから″エラー通知する″を選択します。
ブラックマーク連続紙、およびダイカットラベル（BM 基準）の場合、″用紙違い通知設定″を有効にします。

用紙加工方法

1. 用紙後端と、印刷する最後のチケットやラベルの後端の間に 107.5 mm 以上の余白を設けます。
   用紙後端から 107.5mm 未満の位置にはラベルを設けず、台紙のみの状態としてください。
2. 印刷する最後のチケットやラベルの後ろに、ブラックマークを設けます。
   ブラックマークの間隔は、ラベル発行時の間隔と同じです。



3. 手順２で設けたブラックマークの後ろに、ブラックマークを設けます。
   ブラックマークの間隔は、手順２で設けたブラックマークから５ ± 0.5 mm、印刷する最後のチケットやラベルの後ろから 11mm 以内の間隔です。

注意	最後のチケット やラベルの印刷処理 (オート カット 含む) が正常終了した後、新たな印刷データがプリンターに送信された場合、″ 用紙サイズエラー ″ が発生し、印刷データを保持した状態でプリンターが停止します。

アプリケーション開発情報

本章では、本プリンターを使用したアプリケーションの開発に必要な情報について説明しています。

概要

本プリンターを使用するために以下のものを提供しています。

- ❏ Windows の専用プリンタードライバーを用意しています。
  プリンタードライバーには、再印刷機能を実装しています。エラー（紙なし、紙ジャム、インクドット抜けなど）が発生した場合でも、プリンタードライバーが自動的に再印刷を行うので、アプリケーションに再印刷機能を実装する必要がありません。
  （プリンタードライバーの使い方の詳細は、104 ページ「プリンタードライバーの設定」を参照してください）
- ❏ 各種ユーティリティーとユーザーズマニュアルを用意しています。
- ❏ TM-C3500 専用サンプルプログラムを用意しています。
  アプリケーション開発の参考にご利用ください。
- ❏ EpsonNet SDK を用意しています。
  これは EPSON 製のネットワークプリンターで使用できます。本プリンターでは、ネットワーク設定を参照するために使用します。また EpsonNet SDK にもサンプルプログラムが用意されていますが、本プリンターでは使用しません。
- ❏ EPDI (EPSON Printer Driver Interface) for TM-C3500 を用意しています。
  ユーザーアプリケーションからプリンタードライバーの印刷設定を変更するための API です。弊社ホームページ（160 ページ「ダウンロード」）からダウンロードしてお使いください。

注意

本プリンターは、弊社が提供する APD、OPOS/JavaPOS を使用できません。

プリンタードライバー

プリンタードライバーでは以下の機能を実装しています。アプリケーションに実装する必要はありません。

❏ バーコードフォント /2 次元シンボルフォントを実装しています。また .NET 環境の場合でも、実装されているフォント置き換え機能を使ってバーコードフォント /2 次元シンボルフォントを印刷できます。
この機能を使うには、事前にプリンタードライバーでバーコードフォント /2 次元シンボルフォントを設定する必要があります。(設定方法の詳細は、108 ページ「バーコード印刷」、118 ページ「2 次元シンボル印刷」を参照してください。)
.NET 環境の場合、フォント置き換え機能でバーコードフォント /2 次元シンボルフォントに置き換える TrueType フォントを指定します。アプリケーションからは、置き換えた TrueType フォントを指定することで、バーコード /2 次元シンボルを印刷できます。(フォント置き換え機能の詳細は、124 ページ「.NET 環境でバーコード / 2 次元シンボル印刷」を参照してください。)

サンプルプログラム

本プリンターを使ったアプリケーションの開発に、TM-C3500 サンプルプログラムを参照してください。

❏ TM-C3500 サンプルプログラムのインストール
c35smp_xxe.msi を実行して、サンプルプログラムをインストールします。

❏ TM-C3500 サンプルプログラム使用条件

- ダイカットラベル (108 x 174.8 mm) を使用してください。
- プリンタードライバーの [用紙位置検出設定] を [ダイカットラベル（ギャップ基準）] に設定してください。
- 一部のサンプルプログラムは、SNMP TRAP を使っています。プリンターの Trap 機能の設定は、EpsonNet SDK によってインストール時に設定します。そのため EpsonNet SDK は、Trap を有効に設定してからインストールしてください。詳細は、157 ページ「EpsonNet SDK」を参照してください。
- TM-C3500 用サンプルプログラムは、C++、C#、VB.NET の言語で用意しています。
- 他のプリンターでは使用できません。

注意

EpsonNet SDK を使用したサンプルプログラムは、動作確認済みですが、EpsonNet SDK は、C# および VB.NET を正式にサポートしていません。各言語との組み合わせにおいて、100%動作保証はしていません。

❏ TM-C3500 サンプルプログラムの構成
TM-C3500 サンプルプログラムの構成、使用できるモデルと開発言語は以下を参照してください。

レベル	プログラム名	内容	言語		
			C++	C#	VB.NET
基本	Step1. 文字を印刷	ラベルを使った印刷をします。	○	-	○
	Step2. バーコードを印刷	事前にバーコードフォントを設定し、それを活用した印刷プログラムです。	○	-	○
	Step3. ビットマップデータを印刷	ビットマップデータを含んだ印刷プログラムです。	○	○	○
	Step4. アプリケーションからプリンターのステータスを確認する	印刷前にプリンターの状態を確認し、エラーハンドリング処理を行うプログラムです。	○	-	○
	Step5. プリンターからステータスをアプリケーションに通知	プリンターの状態が変化した場合に、プリンターがアプリケーションのイベントを発生させ、エラーハンドリング処理を行うプログラムです。	○	-	○
	基本完成	Step1 ～ 5 をまとめたプログラムです。	○	○	○

レベル	プログラム名	内容	言語		
			C++	C#	VB.NET
応用	プリンター状態の監視と印刷ジョブのコントロール	ラベル印刷中にインクカバーが開いた場合、エラーを検出し、印刷ジョブをキャンセルするプログラムです。	○	-	○
	Devmode を使用した、印刷設定の変更	90° 回転と印刷部数変更を、アプリケーションで行うプログラムです。	○	-	○
	プリンターの各種情報取得	プリンターのドライバーバージョン、管理者名、ロケーション、CPU の情報などを取得するプログラムです。	○	-	○
	印刷完了の取得	ラベル印刷完了を取得して、「印刷終了」メッセージを表示するプログラムです。印刷完了を取得できない場合、メッセージを表示しません。	○	○	○

EpsonNet SDK

EpsonNet SDK とは、EPSON ネットワークプリンター用の API です。本プリンターでもサポートしています。
本プリンターの場合、ネットワーク設定を参照できますが、設定はできません。
本プリンターのネットワークを監視するアプリケーションの開発に使用します。

注意

EpsonNet SDK は Win32 環境で動作します。.NET 環境でも動作しますが、保証していません。

EpsonNet SDK の環境設定

EpsonNet SDK の環境設定は、EpsonNet SDK をインストールする前に、EpsonNet SDK の setting.ini を編集する必要があります。以下を参照して編集してください。

設定項目	内容	設定値	初期値
TCPIP	Ethernet で EpsonNet SDK の使用を設定します。	使用する：　1 使用しない：0	1
LOCAL	USB で EpsonNet SDK の使用を設定します。	使用する：　1 使用しない：0	1
SHARE	共有プリンターで EpsonNet SDK の使用を設定します。	使用する：　1 使用しない：0	0
TRAP	SNMP TRAP の使用を設定します。	使用する：　1 使用しない：0	0
EXECTYPE	固定値	TERM	-
SHREAGT	MS 共有印刷でサーバ用通信モジュールの使用を設定します。	使用する：　1 使用しない：0	0
EPSONNETSDK	固定値	0	-
INSTALL	固定値	0	-

注意

プリンターの状態を EpsonNet SDK で通知するためには、Trap 機能を設定する必要があります。

設定方法

すでに EpsonNet SDK がインストールされている場合、EpsonNet SDK をアンインストールしてください。
以下の手順で EpsonNet SDK の設定をして、再度インストールしてください。

1. EpsonNet SDK の Install Disk にある setting.ini を編集します。
2. EpsonNet SDK をインストールします。

ユーティリティーとマニュアル

本製品には、プリンタードライバーのほかに、各種ユーティリティーおよびマニュアルが用意されています。

名称	マニュアル
プリンタードライバー	TM-C3500 詳細取扱説明書
InstallNavi	なし
EpsonNet Config	EpsonNet Config 操作ガイド
EpsonNet SDK for Windows	EpsonNet SDK for Windows リファレンス
USB プリンタークラス デバイス置き換えサービス	なし
サンプルプログラム	なし。 使い方は、サンプルプログラムのメニューページを参照してください。
EPDI for TM-C3500	EPDI for TM-C3500 Reference Manual

Install Navi

プリンタードライバーのインストールとプリンターのセットアップをするユーティリティーです。

画面表示に従って操作することにより、プリンタードライバーのインストールと同時にプリンターのセットアップをすることができます。

EpsonNet Config

ネットワーク内の複数の EPSON プリンターについて、ネットワーク設定の確認と変更が行えます。

> **参考** 一部の EPSON プリンターはサポートしていません。

EpsonNet SDK

ネットワーク環境でプリンターの状態を取得するためのアプリケーション開発パックです。

USB プリンタークラスデバイス置き換えサービス

コンピューターに常駐させるサービスです。TM-C3500 を修理などのために置き換えた場合、プリンターの接続を検知してプリンタードライバーの出力するプリンターを自動的に変更します。

アプリケーション側の設定を変更しないでもプリンターを置き換えられます。（アプリケーションの出力先をポートに指定している場合は置き換えられません。プリンタードライバーを指定している場合に置き換えられます。）

TM-C3500 の USB シリアルナンバーを事前に書き換える必要がありません。

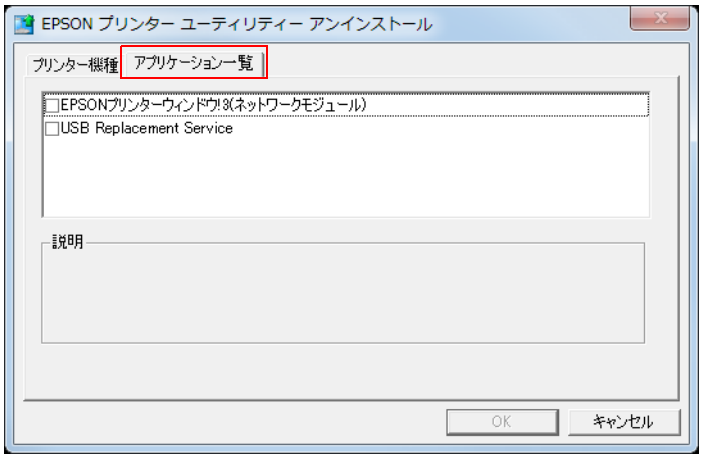
USB プリンタークラス デバイス置き換えサービスのアンインストール

USB プリンタークラス デバイス置き換えサービスは、コントロールパネルのプログラム一覧に表示されません。アンインストールをする場合、以下の手順で行ってください。

1 コンピューター上で起動しているすべてのアプリケーションを終了してください。

2 [スタート] - [コントロールパネル] - [プログラムのアンインストール] - [EPSONプリンタードライバー・ユーティリティー] を選択します。〝アンインストールと変更〟をクリックします。

3 〝EPSON プリンターユーティリティーアンインストール〟画面が表示されます。[アプリケーション一覧] タブを選択します。



4 [USB Replacement Service] の項目をチェックし、[OK] をクリックします。
[OK] をクリックすると、アンインストールが開始されます。

5 アンインストールの完了画面が表示されます。[OK] をクリックします。

USB プリンタークラス デバイス置き換えサービスの制限事項

Windows 8、または Windows Server 2012 で USB プリンタークラス デバイス置き換えサービスを使用する場合、以下の制限があります。

❏ プリンターを置き換えたあと、〝デバイスとプリンター〟画面で [通常使うプリンター] を示す緑色のチェックマークが、プリンターを置き換える前のプリンター上に表示されることがあります。または、チェックマークが表示されないことがあります。この場合には、以下の方法でチェックマークの表示を補正することができます。

- デスクトップ画面に戻り、再度、〝デバイスとプリンター〟画面を開き直してください。
- プリンタードライバーを右クリックして、[通常使うプリンターに設定] を選択してください。
- ユーザーアカウントをログオフしてオペレーティングシステムを再起動してください。

サンプルプログラム

EpsonNet SDK を使った TM-C3500 を活用するためのサンプルプログラム集です。(全プログラムを VB.NET、C++ で用意しています。一部のプログラムは C# でも用意されています。)

EPDI for TM-C3500

お客様のアプリケーションからプリンタードライバーを制御することができるようになります。

ダウンロード

各種ソフトウェアとマニュアルは、弊社ホームページからダウンロードできます。

http://www.epson.jp/support/sd/

お問い合わせ確認

本プリンターについての技術的な質問、疑問あるいは、障害がある場合、以下の情報を確認のうえ、販売店もしくは、弊社開発者向けヘルプデスク (http://www.epson.jp/support/sd/) にお問い合わせください。

注意

- 弊社への技術的な質問、疑問の問い合わせ内容については、弊社のプリンターに関することに限らせていただきます。それ以外の Microsoft Corporation ないしはその他の会社が所有する技術に関する内容については、それを所有する会社にお問い合わせください。
- 障害が発生した場合、お問い合わせの前に、物理的な障害 (接続、電源等の問題) がないかを確認してください。

❏ 問い合わせ分類：障害 / 質問

❏ 日付：

❏ 御社名：

❏ 部署名：

❏ お名前：

❏ お電話 /FAX/Email：

❏ コンピューター情報：

- 製造メーカー
- CPU

❏ OS(サービスパックも含む)：

❏ 対象プリンター機種名：

❏ プリンタードライバー：インストール済み（OS 標準 /EPSON カスタム）/ インストールしていない

❏ 対象プリンター接続形態：USB / Ethernet / MS 共有 (クライアント / サーバ)

❏ インストールプロトコル / サービス：NetBEUI / NetWare Client(Novell(Ver.) / Microsoft (Ver.))
/ TCPIP / OS 標準 SNMP エージェント / その他

❏ 印刷ツール:ローカル (LPT/USB) / OS 標準 Standard TCPIP / OS 添付 LPR / EPSON 製 TCPIP 印刷 (名称)
/ 自社カスタムアプリケーション / その他 (製品名 /Ver)

❏ ファイアウォール：OS 標準 / パーソナル (製品名 /Ver)/ 無し

❏ 御社アプリケーション情報：

- Windows サービス動作 / 通常 EXE 動作

❏ 弊社アプリ動作状況：EpsonNet WebManager / EpsonNet Log Browser / EpsonNet Simple Viewer
/ EpsonNet SDK for Windows / Printer Setting / その他 (名前)

❏ 障害の現象 (or 質問内容)：

❏ システム構成：コンピューター、ネットワークなどハードウェア構成と、ソフトウェアモジュール構成

❏ 障害の再現手順:操作手順、関数実行手順、現象を発生させた関数とその引数の値

❏ 障害の再現性：再現する (　　回中　　回)/ 再現しない